

Net SST G1 / SST G1Lite2

字幕制作システム オペレーションマニュアル



株式会社 カンバス

目次

目次.....	2
はじめに	6
インターフェースの名称.....	7
ビデオ再生方法	8
ツールバー	12
基本操作	14
《プロジェクトの開始(新規)》.....	14
《スポッティング》.....	16
《スポッティングの調整と移動／トラックBにスポッティングをとる》.....	17
《字幕の入力》.....	18
《作業中のプロジェクトファイルを保存する》.....	20
《プロジェクトファイルと映像ファイルをひも付ける》.....	20
《既存のプロジェクトファイル(.sdb)を開く》.....	21
《復旧されたプロジェクトファイルを開く》.....	23
《多重起動》.....	24
原文ウィンドウと台本ウィンドウについて.....	26
《ハコ割り》.....	26
便利機能	27
《全画面表示》.....	27
《コメント機能》.....	28
音声波形ウィンドウ上で編集.....	29
《現字幕を画面の中央に移動する》.....	29
《編集をロックする》.....	29
《字幕の分割》.....	30
《字幕の結合》.....	31
《Bトラックにコピーする》.....	32
《属性を含めてコピー／属性を含めてペースト》.....	33
《Bトラックの字幕と入れ替える》.....	34
《字幕番号の設定》.....	35
《現字幕をエクスポートする》.....	35
《ブックマークの設定／解除》.....	36
《字幕の複数選択》.....	36
字幕ウィンドウ上で編集.....	37
《字幕を削除する》.....	37
《Bトラックにコピーする》.....	37
《属性を含めてコピー／属性を含めてペースト》.....	38
《空のデータをリストの最後に追加》.....	39

《字幕番号の設定》.....	39
《フォーマット情報》.....	40
エフェクト.....	41
《ルビ》.....	41
《イタリック(斜体)》.....	42
《傍点(強調点)》.....	42
《表示位置・行配置(ポジション)》.....	43
《フォント及びエッジの種類、サイズの設定》.....	44
《フォント・エッジの色の設定》.....	44
《カーニング・レディング》.....	45
《文字の自由位置》.....	46
《効果(フェードイン・フェードアウト)》.....	48
《マスク(座布団)を作成する》.....	49
《字幕をマスク(座布団)内に中央揃えする》.....	50
ファイルメニュー.....	51
《レンダリング》.....	51
字幕メニュー.....	52
《ブックマーク》.....	52
《字幕削除》.....	53
《字幕番号の振り直し》.....	55
《字幕移動》.....	55
《字幕情報一括削除》.....	57
《字幕番号ジャンプ》.....	57
《字幕と原文を入れ替える》.....	58
検索等メニュー.....	59
《字幕の検索》.....	59
《フォーマットの検索》.....	60
《字幕の置換》.....	61
《検索属性指定》.....	62
《sdb検索》.....	63
設定メニュー.....	65
《フォーマット設定(全編設定)》.....	65
《フォーマットの設定(範囲設定)》.....	69
《デフォルト・フォーマットリストの作成》.....	70
《フォーマットリストの入れ替え》.....	71
《デフォルト・フォーマットのインポート・エクスポート》.....	72
《タイムコードの基本設定》.....	73
《フレーム落ち情報の設定》.....	74
《設定情報のクリア》.....	74

《フレームタイプの変換》.....	74
《ピッチ調整》.....	75
《画面調整》.....	76
《NetSST G1 画像調整解説》.....	77
ユーザー設定.....	78
《ガイドラインの設定》.....	78
《画面表示の設定》.....	80
《詳細の設定》.....	85
《色の設定》.....	87
《メンテナンスの設定》.....	89
《言語》.....	93
《再生》.....	95
○表示の説明.....	97
《現在の設定をリストに追加》.....	97
《リスト操作》.....	98
《ショートカットキーの設定》.....	99
《ショートカットキーをデフォルトに戻す／削除する》.....	100
《ショートカットキー設定のインポート・エクスポート》.....	100
《文字カウント》.....	101
《輝度設定》.....	104
《再生速度x2.0で音声の高さを維持》.....	104
チェックメニュー.....	105
《最終チェック》.....	105
《Netflix用データチェック》.....	113
インポートメニュー.....	117
《データファイルのインポート》.....	117
《SSTプロジェクトファイル》.....	117
《台本》.....	117
《見直し用リスト(Excel)ファイル》.....	118
エクスポートメニュー.....	121
《データファイルのエクスポート》.....	121
《見直し用リスト(TXT)》.....	122
《見直し用リスト(Excel)》.....	123
《申し送りリスト》.....	125
《Avid Sub Cap》.....	125
《Adobe Encore》.....	125
《Apple DVD Studio Pro》.....	126
《SubRip Text》.....	127
《WebVTT》.....	129

《放送用字幕制作ソフト用ファイル(NAB)》	130
ヘルプメニュー	131
《ドングル設定》.....	131
《ライセンス》.....	134
《バージョン情報》.....	134

※SSTG1Lite2 で存在しない一部の機能は、次回アップデート時に搭載されます。

はじめに

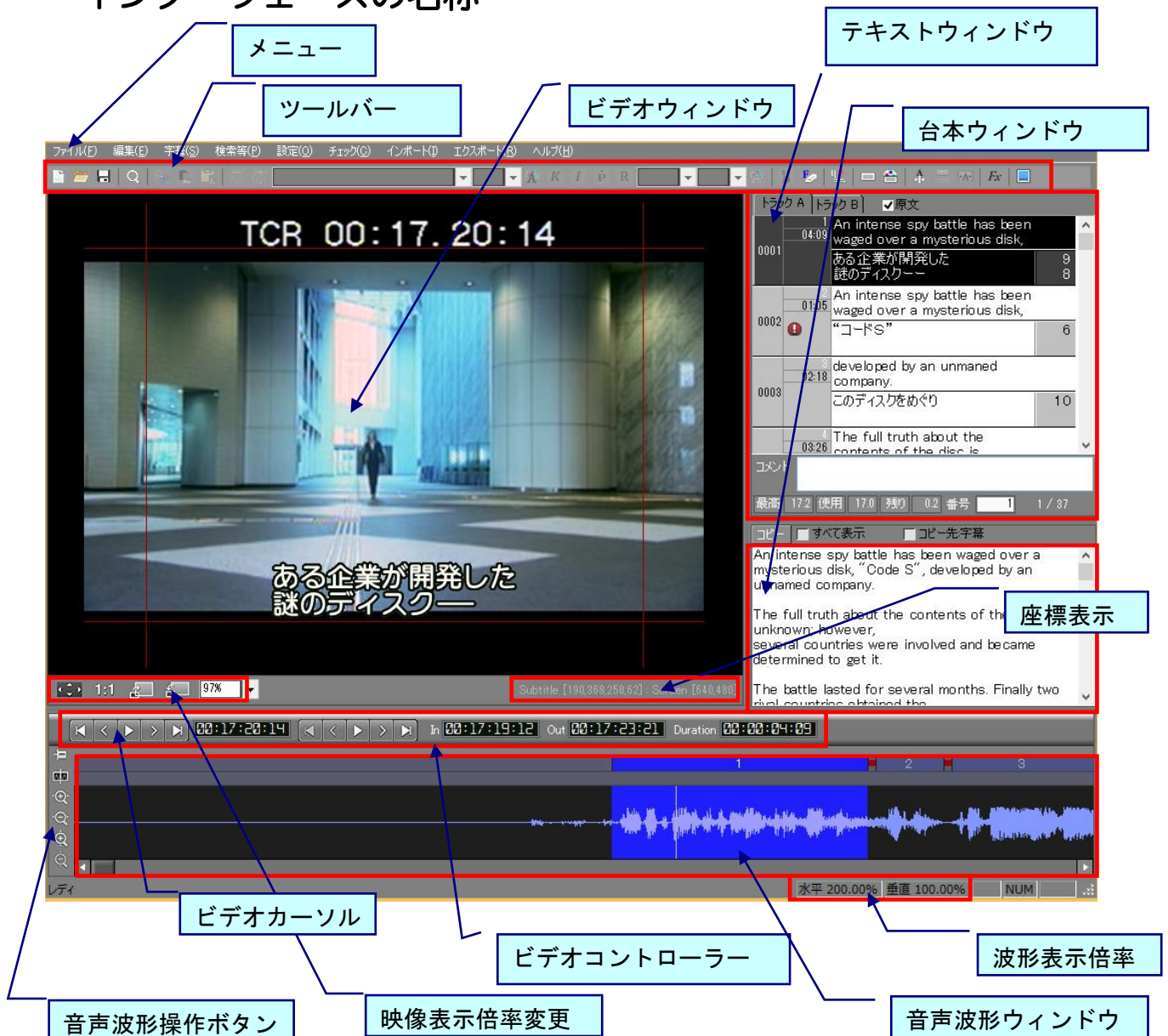
NetSST G1 とは、映像字幕データ（テキスト・タイミング・エフェクト）を作成するソフトウェアアプリケーションです。ハコ割り、スポットティング、翻訳、字幕挿入、および特殊効果（イタリック（斜体）、フォント、表示位置・行配置、ルビ、傍点）が、すべて1つのインターフェースで作業ができ、プレビューしながら演出効果をふまえた高いレベルの作業が可能になります。

NetSST G1 オペレーションマニュアル Ver.3.6

2023 年 12 月

All Rights Reserved, Copyright(c)2014,CANVASs Co,Ltd

インターフェースの名称



○音声波形操作ボタン

- 音声波形を横に拡大します。(カーソルの動きが早くなります)
- 音声波形を横に縮小します。(カーソルの動きが遅くなります)
- 音声波形を縦に拡大します。
- 音声波形を縦に縮小します。

○映像表示倍率変更ボタン

- 映像をビデオウィンドウにフィットさせます。
- 映像を目的モニタと同じ解像度にします。
- 映像を拡大します。
- 映像を縮小します。
- スケールを選択します。

ビデオ再生方法

○キーボードによる操作

『ビデオコントローラー』で作業を行う場合は、次ページを参照してください。この操作は、全画面表示時にも使用できます。



- ・スペースキー：ビデオの再生・停止（『音声波形ウィンドウ』がアクティブで、[ビデオウィンドウ]に字幕が表示されていない場合）
現字幕の再生（『音声波形ウィンドウ』がアクティブで、[ビデオウィンドウ]に字幕が表示されている場合）
- ・F11：ビデオの再生・停止
- ・F12：現字幕の再生・停止
- ・Esc キー：ビデオの停止
- ・右矢印：ビデオの再生（押し続けます）、コマ送り（1回ずつ押します）
- ・左矢印：巻き戻し（押し続けます）、コマ送り（1回ずつ押します）
- ・再生中に上矢印：再生速度を一段階上げる（5倍速再生まで可能）※
- ・再生中に下矢印：再生速度を一段階下げる（0.5 倍速再生まで可能）
- ・Page Up：前の字幕へ移動
- ・Page Down：次の字幕へ移動

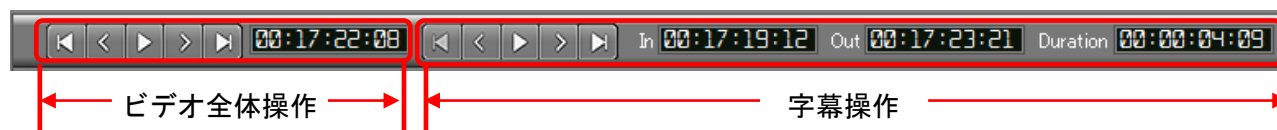
! これらの機能は、コンピュータの仕様によりスムーズに再生されない場合がありますのでご了承ください。

※倍速再生の注意点

- ・SSTG1 モードは×2 倍速再生までしか対応しておりません。
- ・×3、×4、×5 倍速再生は、等倍速再生に対し、正確に3 倍、4 倍、5 倍の速度で再生することを保証するものではありません。

- ・ × 3、× 4、× 5 倍速再生では音声が出ません。
- ・ 高画質映像など、一部の映像では指定の速度に満たないことがあります。
- ・ パソコンのスペックによっては指定の速度に満たないことがあります。
- ・ WMV の映像は新再生モードでは動作保証していないため、本機能も動作保証対象外です。
- ・ インターレースの映像は本機能の動作保証対象外です。

○ビデオコントローラーによる操作



ビデオ全体操作

- ・『ビデオ全体操作』の  ボタンをクリックすると、映像の最初に移動します。
- ・『ビデオ全体操作』の  ボタンをクリックすると、前のフレームに移動します。
- ・『ビデオ全体操作』の  ボタンをクリックすると、映像ファイルを再生します。
(映像を再生すると、 ボタンが  ボタンに変わります)
- ・『ビデオ全体操作』の  ボタンをクリックすると、再生中の映像を停止します。
- ・『ビデオ全体操作』の  ボタンをクリックすると、次のフレームに移動します。
- ・『ビデオ全体操作』の  ボタンをクリックすると、映像の最後に移動します。
- ・『ビデオ全体操作』の時間は、現在表示されている映像の時間を表示しています。

字幕操作

- ・『字幕操作』の  ボタンをクリックすると、最初の字幕に移動します。
- ・『字幕操作』の  ボタンをクリックすると、前の字幕に移動します。
- ・『字幕操作』の  ボタンをクリックすると、現字幕の映像を再生します。
(現字幕を再生すると、 ボタンが  ボタン に変わります)
- ・『字幕操作』の  ボタンをクリックすると、現字幕で再生中の映像を停止します。
- ・『字幕操作』の  ボタンをクリックすると、次の字幕に移動します。
- ・『字幕操作』の  ボタンをクリックすると、最後の字幕に移動します。
- ・「In」は、現字幕の開始時間を表示しています。
- ・「Out」は、現字幕の終了時間を表示しています。
- ・「Duration」は、現字幕のイン点からアウト点の長さを表示しています。

ビデオ再生中の操作

- ・  再生スピードを表示しています。1.0 が通常速、大きいほど早く、小さいほど遅くなります。
- ・  再生音量を表示しています。右にいくほど大きく、左にいくほど小さくなります。

ツールバー



-  新規ファイル…新規にプロジェクトファイルを作成します。
-  開く…NetSSTG1 システムで作成したプロジェクトファイル (.sdb) を開きます。
-  保存…作業中のプロジェクトファイル (.sdb) を保存します。
-  検索…『字幕ウィンドウ』に入力している文字を検索します。
-  切り取り…『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字を切り取ります。
-  コピー…『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字をコピーします。
-  貼り付け…コピーもしくは切り取った文字を貼り付けます。
-  元に戻す…行った作業をもとに戻します。
-  やり直し…元に戻した作業にやり直します。

 フォントの種類…『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字を指定したフォントに変更します。

 フォントのサイズ…『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字を指定したサイズに変更します。

 フォントの色…『字幕ウィンドウ』に表示されている字幕の文字色を変更できます。

 カーニング・レディング調整…カーニングは文字間のスペースを調整し、レディングは行間のスペースを調整します。

 イタリック (斜体) …『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字をイタリック (斜体) にします。

 傍点…『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字に傍点を付けます。

 ルビ …『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字にルビを付けます。

 エッジの種類 …『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字のエッジを指定した形に変更します。

 エッジのサイズ…『字幕ウィンドウ』上で選択されている文字のエッジ幅を指定したサイズに変更します。

 エッジの色…字幕のエッジを指定した色に変更します。

 組み文字…『字幕ウィンドウ』上に表示されている縦字幕の中の、選択した文字や数字を横書きで表示します。

 エフェクト解除…フォーマット設定で指定した設定をデフォルトに戻します。(ルビ以外)

 自由位置設定のみ解除…自由位置設定のみをデフォルトに戻します。

 表示位置・行配置…字幕の表示位置・行配置の設定を指定します。

 マスク (座布団) …マスク (座布団) と作成します。

 マスク (座布団) の色…マスク (座布団) の色を指定します。

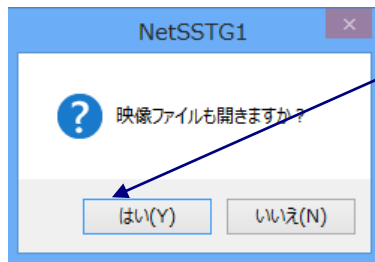
-  自由位置…『ビデオウィンドウ』上に表示されている字幕を移動することができます。
-  マスク（座布団）の位置移動・サイズ変更…マスク（座布団）の位置の移動やサイズを変更することができます。
-  マスク（座布団）の中央揃え…テキストをマスク（座布団）の中央に表示します。
-  フェード効果…フェードイン・フェードアウト、カットイン・カットアウトの設定ができます。
-  申し送り…設定した字幕だけを申し送りリストに出力することができます。《申し送りリスト》参照。
-  コメントジャンプ…コメントがある字幕を AB トラックまたいでタイムコード順にジャンプします。
-  全画面表示…映像を全画面で表示します。

基本操作

《プロジェクトの開始（新規）》

字幕を制作するために基本となる操作です。

1. [ファイル] メニューから [新規]、もしくはツールバーの [新規] ボタンをクリックします。

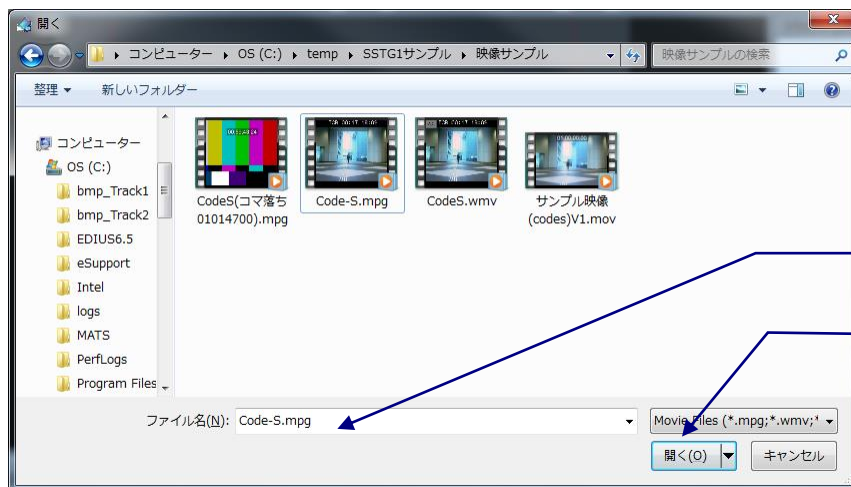


2. [映像ファイルを開きますか?]というメッセージが表示されます。
[はい]をクリックします。

NetSST G1 で取り込める映像ファイルは、

- ・ MPEG-1
- ・ WMV
- ・ MOV(h.264、AAC)
- ・ MP4(h.264、AAC) です。

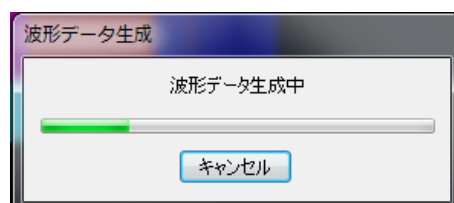
NetSST G1 に初めて取り込む映像の場合、「波形データ生成」と表示されます。



3. 映像を指定します。

4. [開く]をクリックします。

5. 「波形データの生成」が完了すると音声波形が表示されます。

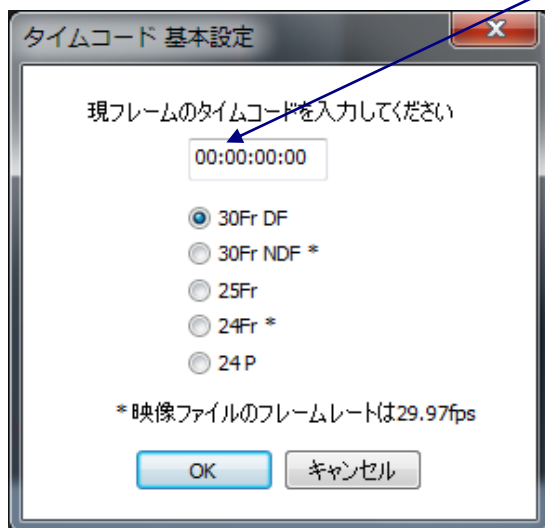


必要に応じて音声波形の大きさを調整してください。
P.6 参照。



・ ここでエラーが発生した場合は、次の事が考えられます。

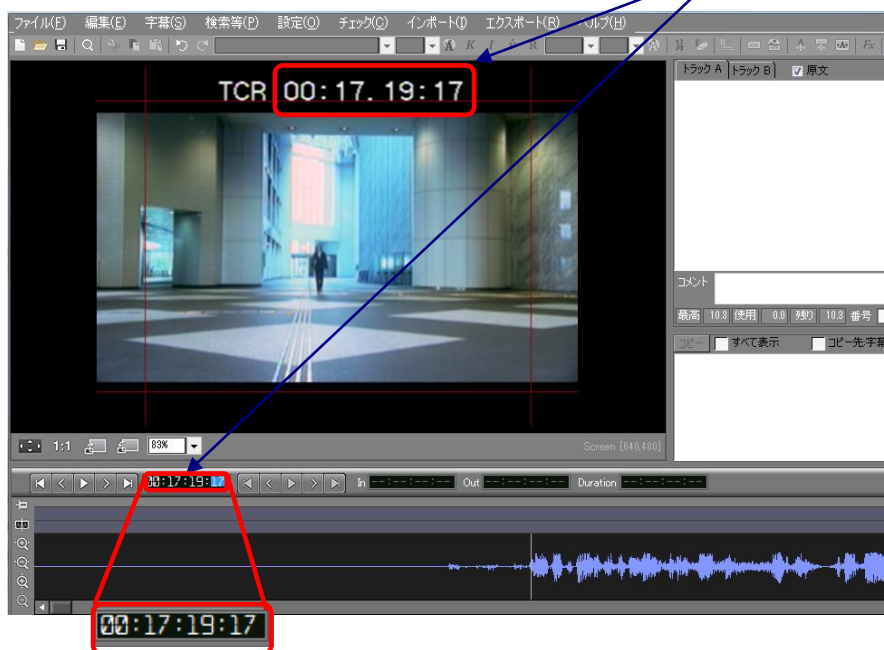
- ①映像ファイルのフォーマットが NetSSTG1 に対応している形式以外ではない。
 - ②映像編集系のバッティングするソフトが入っている。
- ・ 途中でキャンセルした場合、音声波形は途中までしか生成されません。



00:00:00:00
時 分 秒 フレーム

6. 音声波形上にカーソルを合わせ、映像のタイムコードに合わせて入力します。
[設定]メニューから[映像とタイムコードの同期]を選び、[基本設定]でタイムコードを合わせます。P.67 参照。

タイムコードを合わせる時は、カラーバーや黒味の部分ではなく、映像がスタートし、音声波形があるところで合わせてください。



7. 映像のタイムコードとNetSST G1のタイムコードが同期しているかを確認します。

映像の一番最後にカーソルを置き、NetSST G1のタイムコードと同期しているかを再度確認してください。

必要に応じてフォーマット設定をしてください。
設定メニューフォーマット設定参照。

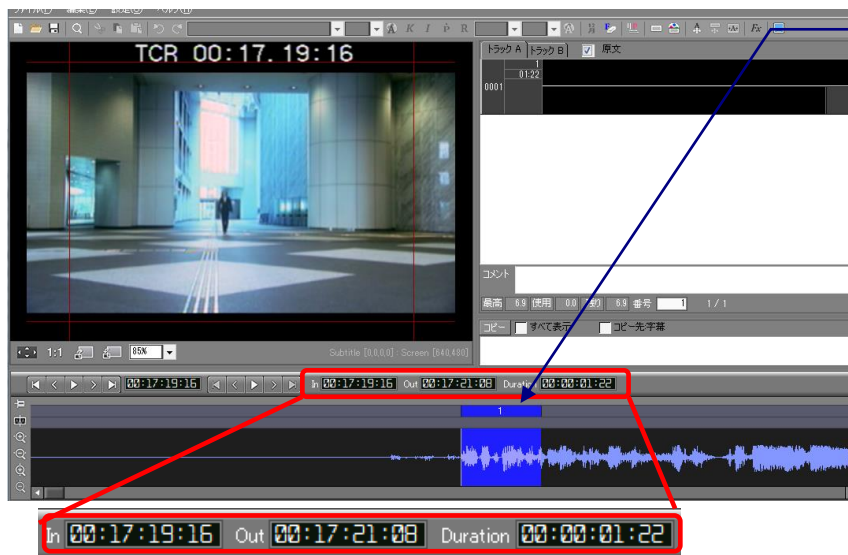
⚠ タイムコード表示のない映像を使用する場合は、映像の先頭を 00:00:00:00 で合わせるか、目印となる場面でタイムコードを設定してください。

《スポッティング》

字幕を表示するタイミングを決めることを「スポッティング」といいます。メインのトラックは、トラック A です。

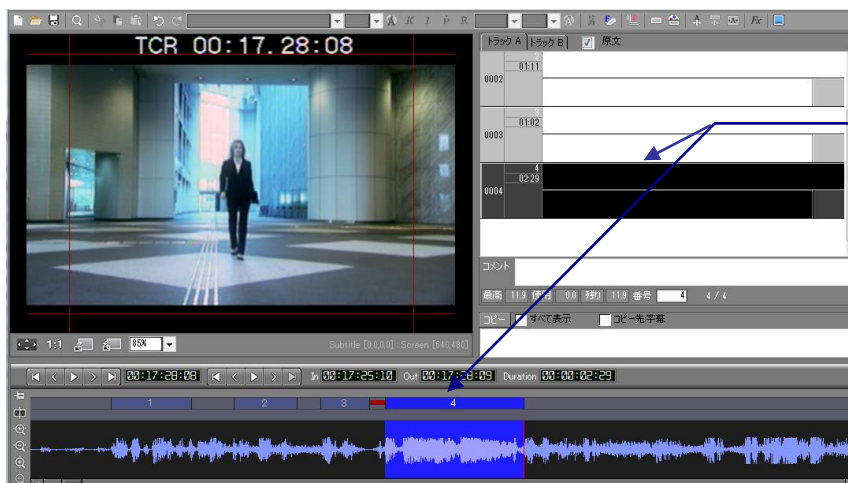
- ・イン点…字幕が表示される最初のフレームです。
- ・アウト点…字幕が消えて無くなった最初のフレームです。

(字幕が表示された最後のフレーム+1 の値になります。)



1. 音声波形をクリックして、音声を聞きながら、話し始めから話し終わりまでをドラッグします。
または、Shift キーを押しながらキーボード上の左右矢印キーを使って指定することもできます。

インジケータにインタイム・アウトタイム・デュレーションが表示されます。



2. 1 の操作を繰り返し行くと、順番に字幕番号が振られると同時に、テキストウィンドウにボックスができます。

○ショートカットキー設定し、キーボードでスポッティングをとります。

- ・ショートカットキーの設定方法

[設定]メニュー → [ショートカットキー設定] → [ビデオ操作] → [インタイム・アウトタイムの設定]を選択し、任意のショートカットキーを入力、[設定]をクリックします。

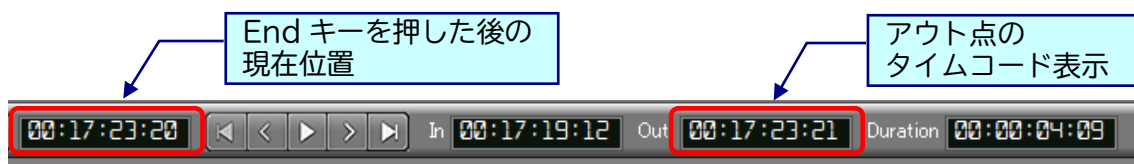
映像再生中に、設定したキーを押すと、イン点がとれます。再度押すとアウト点がとれます。最初にスポッティングを大まかにとり、後で微調整（次ページ参照）する時に便利です。

《スポッティングの調整と移動／トラック B にスポッティングをとる》

○スポッティングの調整について

イン点またはアウト点の調整方法は3つあります。

- ①マウスカーソルを音声波形上のイン点またはアウト点のあたりに移動して、カーソルの表示が双方向矢印の形に変わったらドラッグします。
- ②スポッティングがアクティブになっている時に、Homeキーを押すとビデオカーソルがイン点へ移動します。またはEnd キーを押すとビデオカーソルが当該スポッティングの最後のフレーム（アウト点のタイムコード表示－1 フレームの位置）へ移動します。次に、Shift キーを押しながら左右方向キーを押します。



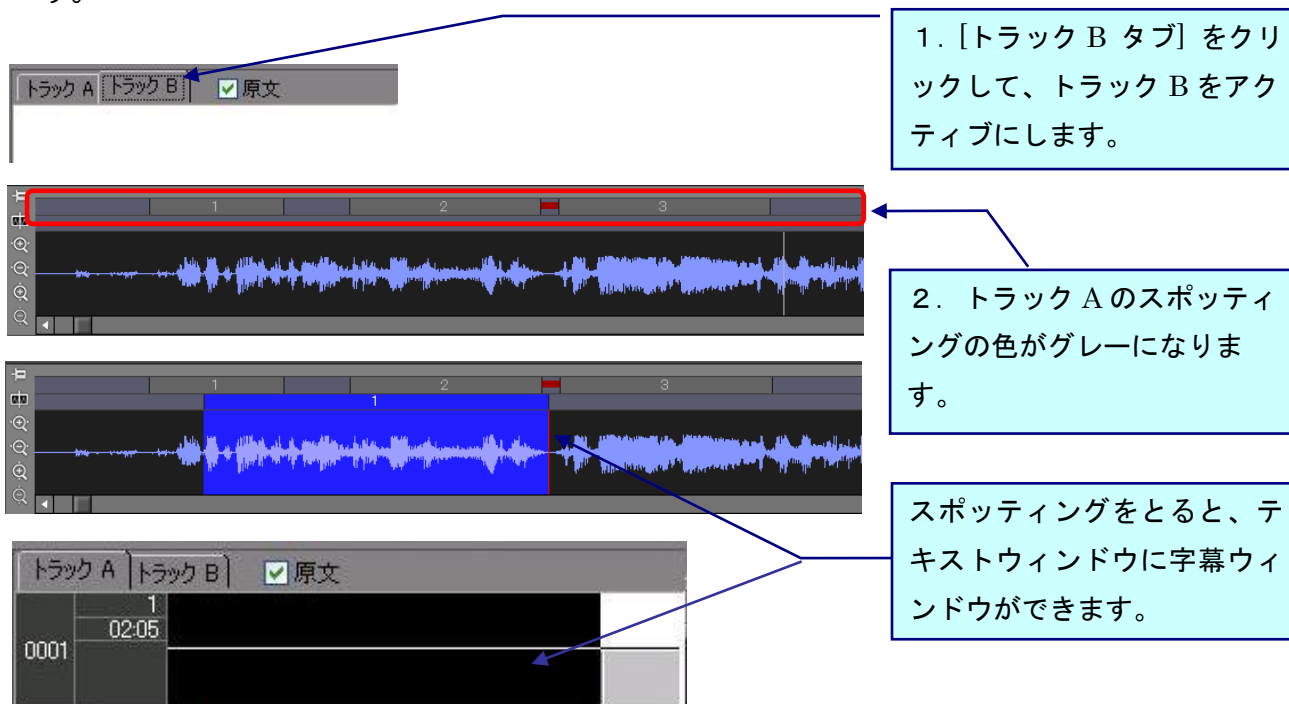
- ③正しいタイムコードを [インタイムインジケータ]、[アウトタイムインジケータ]、または [デュレーションインジケータ] へ直接入力し、Enter を押します。

○スポッティング（現字幕）を移動する方法

マウスカーソルで音声波形上のスポッティングをクリックし、Ctrl キーを押すと、マウスカーソルが四方向矢印の形に変わります。Ctrl キーを押しながらマウスを左右に動かすと、デュレーションを変えずに字幕を移動することができます。

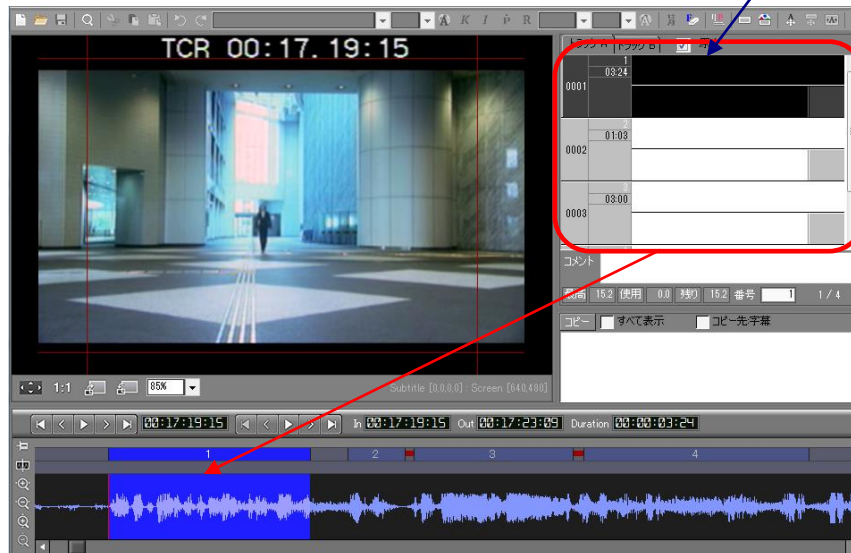
○トラック B にスポッティングをとる（画面上の2ヶ所に字幕を出す場合）

トラック A とトラック B を利用し、画面上の2ヶ所に字幕を題します。メインは A トラックです。

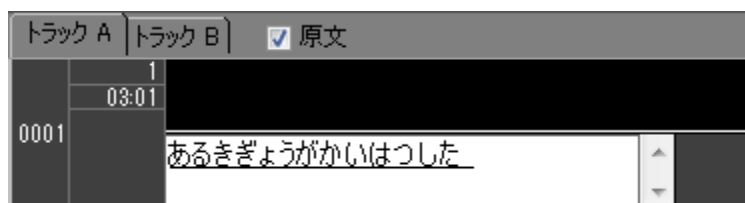


《字幕の入力》

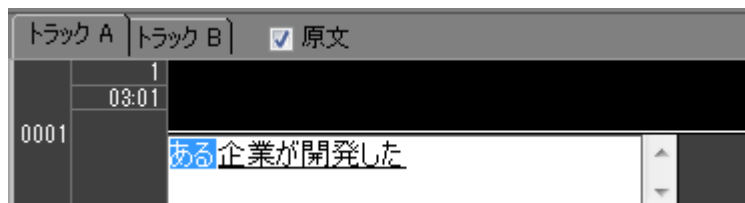
スポッティングをとったら字幕を入力します。



1. テキストウィンドウに字幕ウィンドウができていることを確認し、文字を入力します。

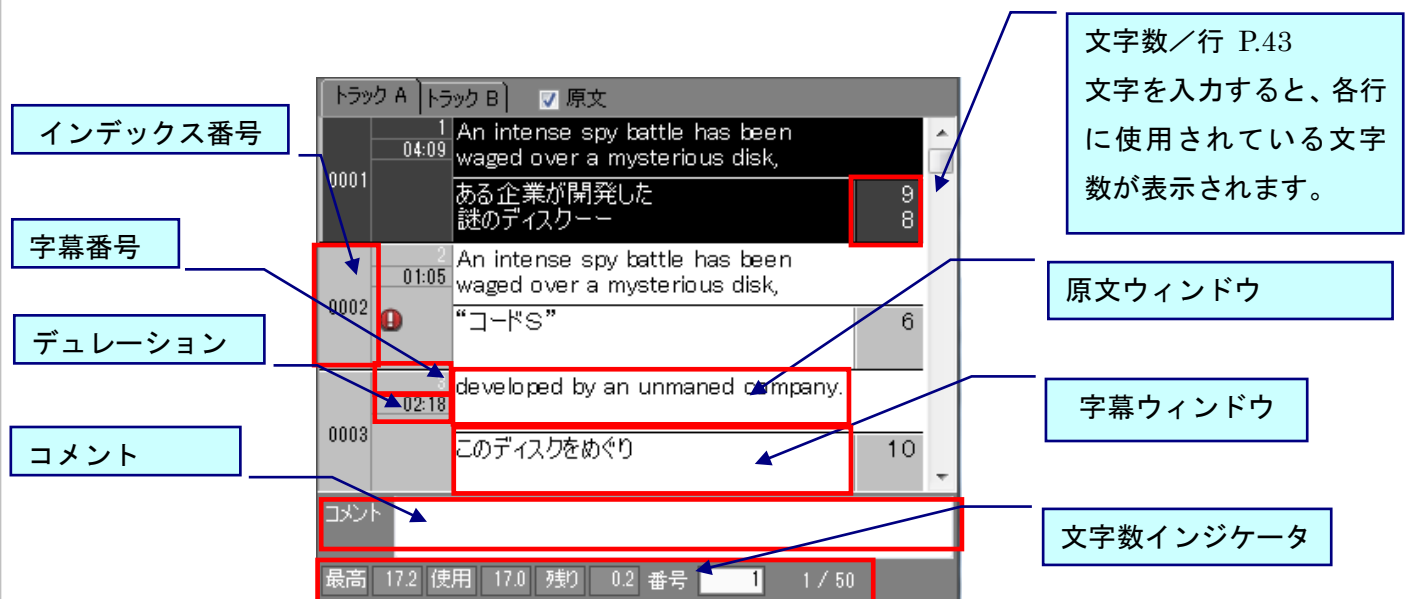


2. 字幕ウィンドウに文字を入力し、スペースキーで変換します。





○テキストウィンドウの拡大図



インジケータで次の情報を確認しながら、テキストを入力します。

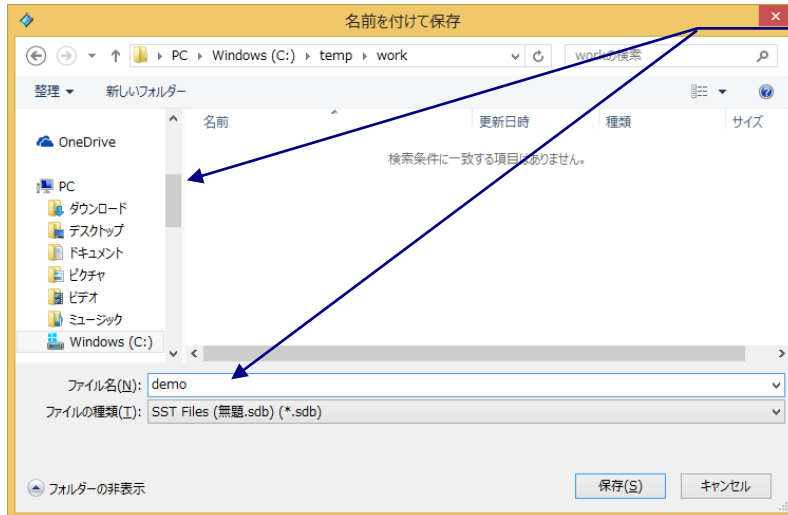
- ・[最高文字数インジケータ]：使用できる文字数
- ・[使用文字数インジケータ]：使用されている文字数
- ・[残り文字数インジケータ]：使用できる残りの文字数
- ・[番号]：現在アクティブになっている字幕番号

グレー部分の数字は、「現在の字幕番号／トータルの字幕枚数」を表します。

《作業中のプロジェクトファイルを保存する》

作業中の字幕データ（.sdb）を保存します。

1. [ファイル] メニューの [名前を付けて保存] をクリックします。



2. ファイル名と保存先を指定します。



3. プロジェクトファイル（.sdb）が保存されました。

○上書き保存

[ファイル] メニューの [上書き保存] を選択するか、ツールバーの  をクリックしてください。
作業中はこまめに上書き保存することをお勧めします。

《プロジェクトファイルと映像ファイルをひも付ける》

映像ファイルを開いた状態でプロジェクトファイルの保存を行うことで、映像ファイルとプロジェクトファイルのひも付けがされ、次回からプロジェクトファイルを開くと、保存した時に開いていた映像ファイルも自動的に開くようになります。

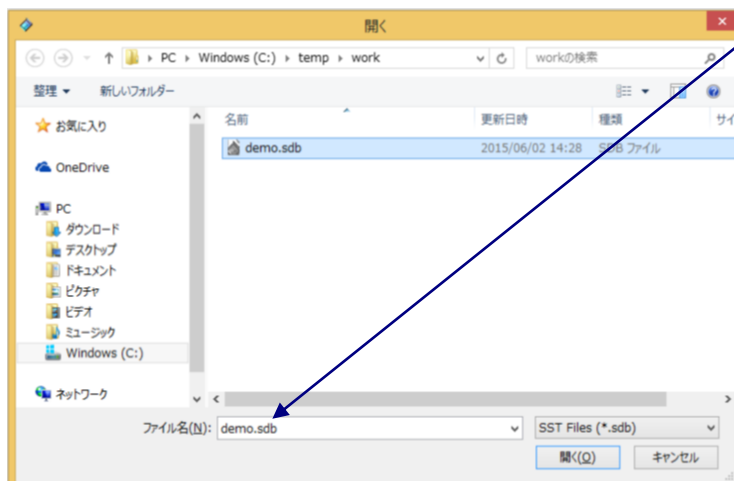
《注意点》

- ・ ひも付けを行った映像ファイルの保管場所を移動した場合は、映像ファイルは開きません。
- ・ 同名の映像ファイルでも、映像ファイルの差し替えなどを行った場合は、映像ファイルは開きません。

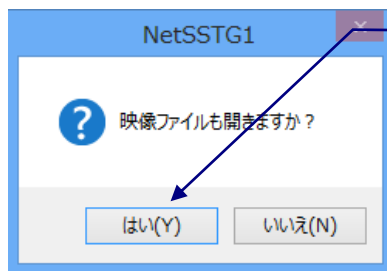
《既存のプロジェクトファイル（.sdb）を開く》

名前のついたプロジェクトファイルを開きます。

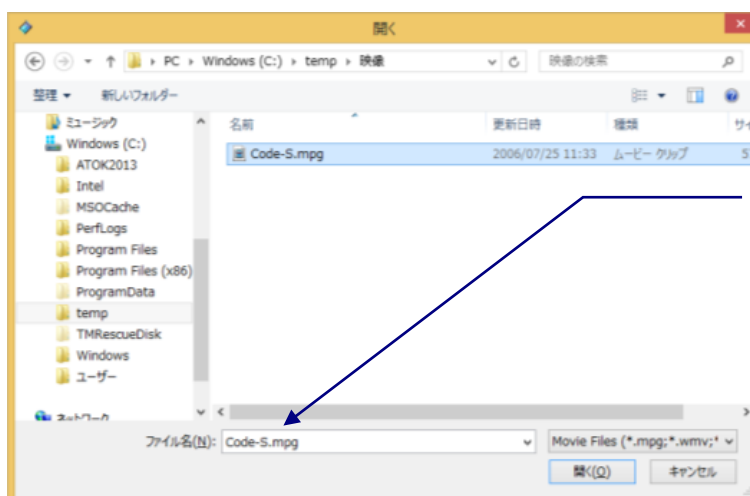
1. [ファイル] メニューから [プロジェクトファイルを開く] をクリックするか、ツールバーの [開く] ボタンをクリックします。



2. プロジェクトファイル（.sdb）を選択し、[開く]をクリックします。



3. 過去に映像ファイルを開いていない場合、「映像ファイルを開きますか？」というメッセージが表示されます。
[はい]をクリックします。
※過去に映像ファイルを開いて保存をした場合、メッセージは表示されず、自動で映像ファイルも開きます。



4. 3で[はい]を選択した場合、映像ファイルを選択します。
[いいえ]を選択した場合は、字幕データとスポッティングデータのみ反映されます。

○映像データ・字幕データ・スポッティングデータが取り込まれます。



NetSSTG1が起動してなくても、sdbファイルをダブルクリックするだけでNetSSTG1が立ち上がり、映像データ・字幕データ・スポッティングデータが読み込まれます。

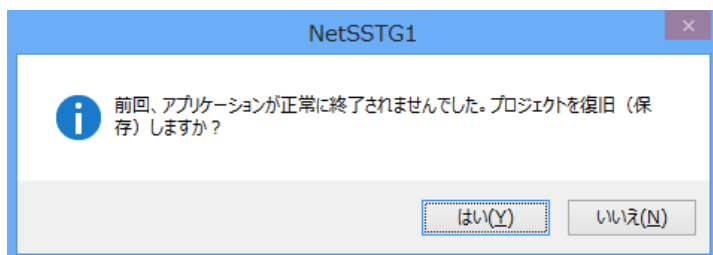
起動後、映像を取り込む時は、[ファイル]メニューから[映像ファイルを開く]を選択してください。

○プロジェクトファイルで使用されているフォントがインストールされていない場合、下記のメッセージが表示されます。



《復旧されたプロジェクトファイルを開く》

プロジェクト ファイル が開いた状態で NetSST G1 が正しく終了されなかった場合、次回 NetSST G1 を開始すると、下記のようなメッセージが表示されます。[はい]を選択し、保存場所を指定すると sdb ファイルとして保存することができます。

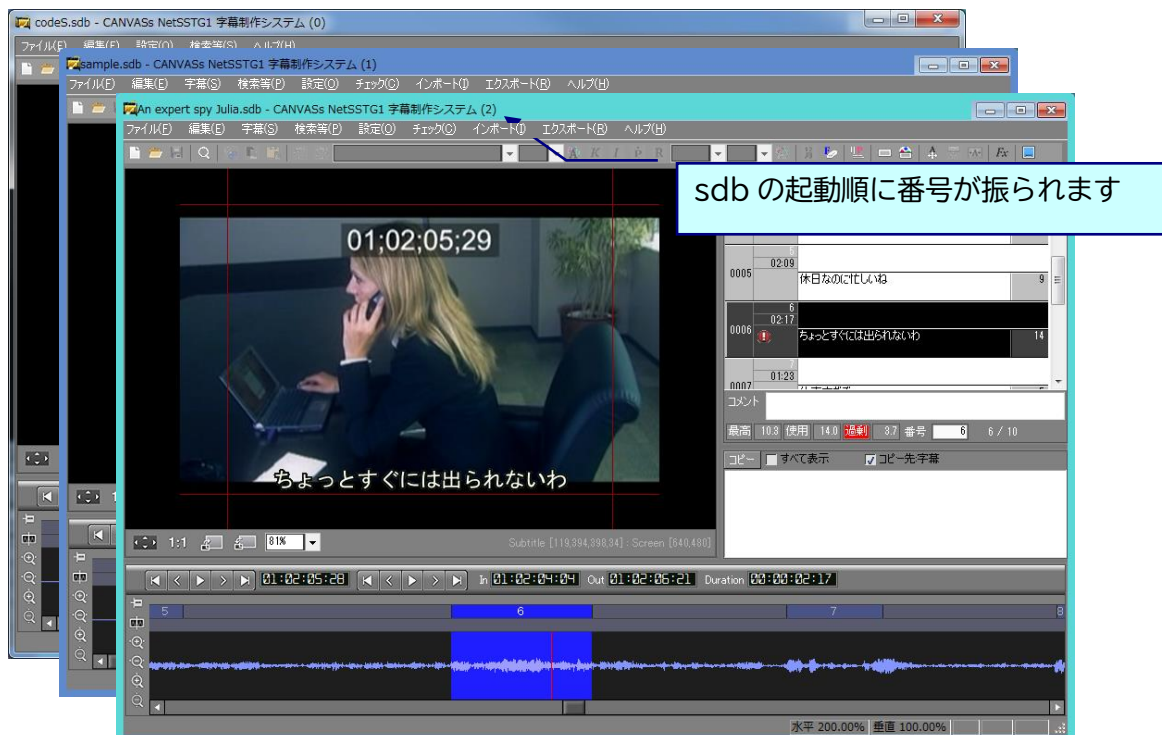


《多重起動》

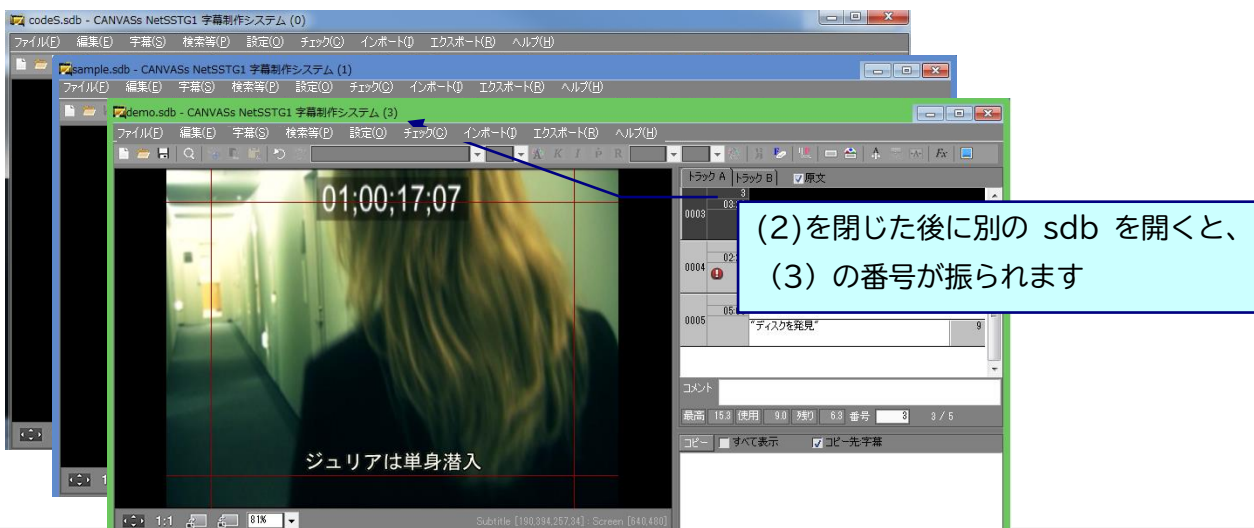
NetSSTG1 を既に起動した状態で、NetSSTG1 のアイコンをダブルクリックすると、別ウィンドウで NetSSTG1 が起動します。

また、別の sdb ファイルをダブルクリックすると、別ウィンドウでプロジェクトファイルを開くことができます。

○別ウィンドウでプロジェクトファイルを開くと、ウィンドウ上部に(0)(1)(2)(3)・・・というように、起動順に番号が振られます。



○(0)(1)(2)と開き、途中で(2)を閉じた後に更に別の sdb を開いた場合は、(3)の番号が振られます。ウィンドウ番号を一旦リセットしたい場合は、全てのウィンドウを閉じ、NetSSTG1 を再起動させてください。



※多重起動時のユーザー設定について

ユーザー設定を変更する場合は 1 画面のみ開いた状態で設定を行ってください。

※多重起動時のショートカット設定について

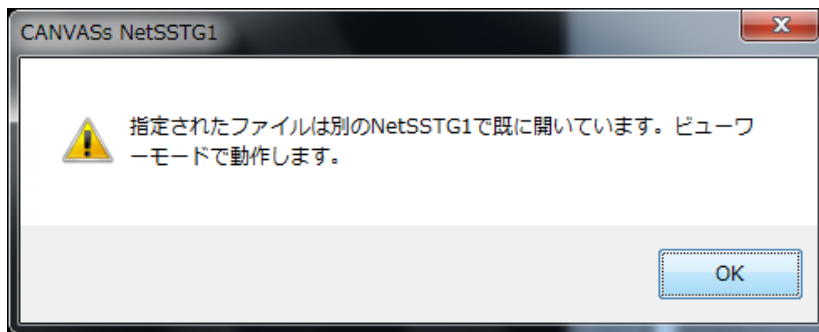
設定後、全てのウィンドウを閉じた後に反映されます。

※多重起動時のフォーマット設定について

フォーマットをリストに追加した直後から、開いている全てのウィンドウのフォーマットリストに追加されます。

※多重起動時に同じ sdb ファイルを開いた場合。

多重起動時に同じ sdb ファイルを開く際は、下のようなメッセージが出て、後から開く sdb ファイルがビューワモード(読み取り専用)として開きます。



ビューワモードで開いている sdb ファイルには、編集を加えることができません。

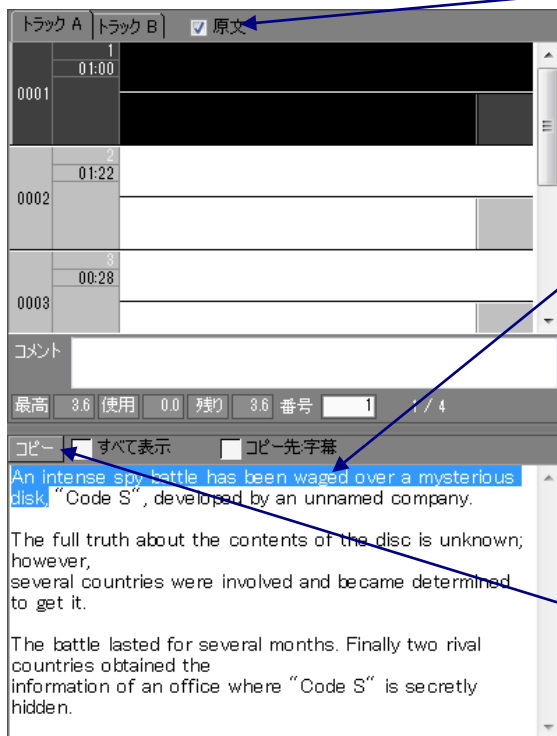
《注意点》

- ・ 本バージョンでは下記の場合における多重起動について動作保証しておりません。
 - ①オーバーレイ使用時の多重起動
- ・ sdb ファイルを、先に開いているプロジェクトの画面上にドラッグした場合には、別ウィンドウで開かずに、先に開いているプロジェクトファイルが閉じ、ドラッグしたプロジェクトファイルが開きます。

原文ウィンドウと台本ウィンドウについて

《ハコ割り》

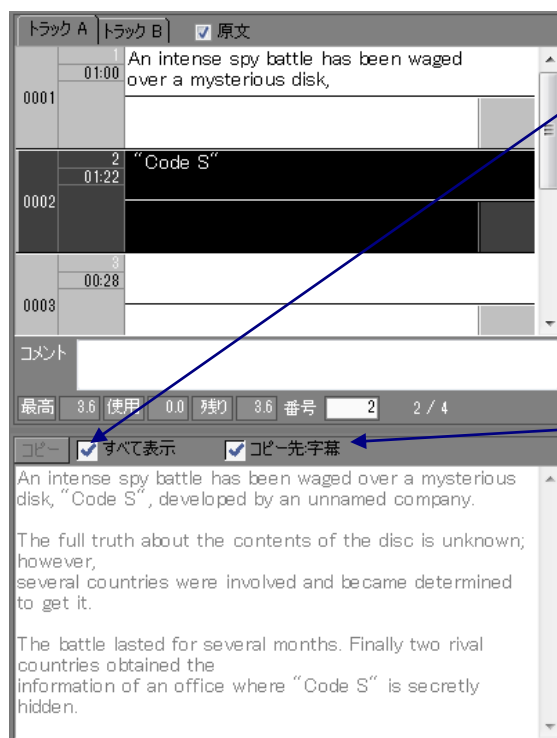
ハコ割りとは、台本を字幕ごとに分割することで、[台本ウィンドウ]で選択したテキストを[原文ウィンドウ]へ移動します。



1. [原文]にチェックを入れると原文ウィンドウが表示されます。

2. 任意の原文ウィンドウにカーソルを合わせた後、[台本ウィンドウ]のコピーしたいテキストを選択します。

3. [コピー]ボタンをクリックすると、原文ウィンドウにテキストが貼り付けされます。
この場合、台本はウィンドウから切り取られます。



[すべて表示]にチェックを入れると、台本全体が再表示されます。

チェックを入れたまま、コピーすることも可能です。
この場合は、台本ウィンドウから切り取られません。

[コピー先: 字幕]にチェックを入れると、字幕ウィンドウにテキストが貼り付けされます。

便利機能

《全画面表示》

主にプレビューする時に使用します。



ツールバーの[全画面表示]

をクリックするとビデオウィンドウが全画面表示されます。

映像再生中にこの操作はできません。

セーフティマーカークを消す場合は、[ユーザー設定]の[画面表示]で[セーフティエリアを表示する]のチェックを外します。



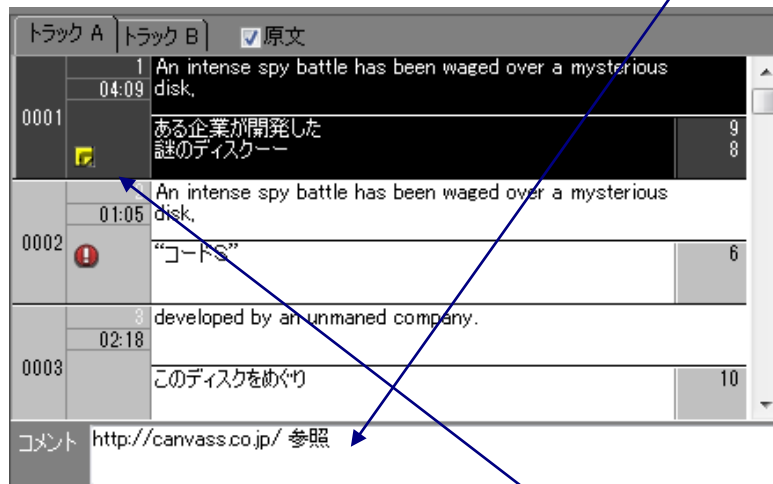
ビデオコントローラーは、この×をクリックすると消えます。

コントロールバーを消した状態で左クリックするとコントロールバーが表れます。

×をクリックすると元の操作画面に戻ります。

《コメント機能》

現字幕にコメント(申し送り)をつけることができます。



1. コメントを付けたい字幕ウィンドウを選択し、コメントを入力します。

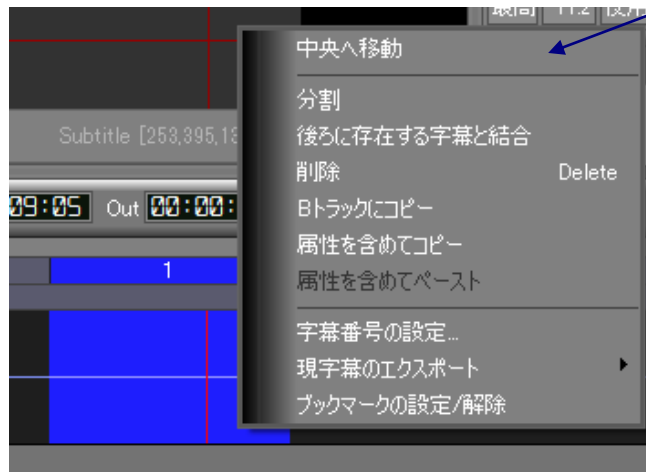
2. コメントを付けた字幕には、このように黄色いレターマークが表示されます。

- ・コメント欄の文字を消すと、レターマークも消えます。
- ・コメント欄の内容を Excel に出力することができます。
見直し用リスト (Excel) のエクスポートを参照ください。

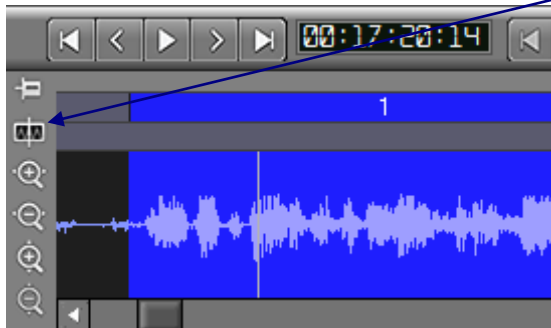
音声波形ウィンドウ上で編集

《現字幕を画面の中央に移動する》

スポッティングの表示位置を画面の端から中央に移動したい時に使用します。



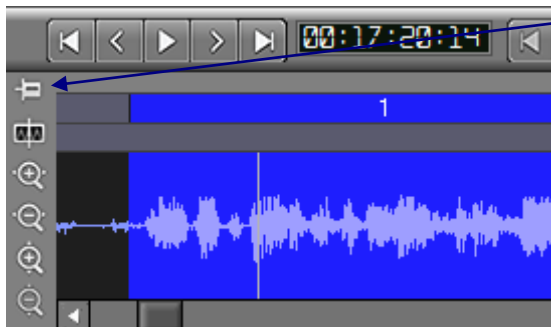
移動したいスポッティングにカーソルをおき、右クリックして[中央へ移動]を選択します。



このアイコンをクリックして中央へ移動することもできます。

《編集をロックする》

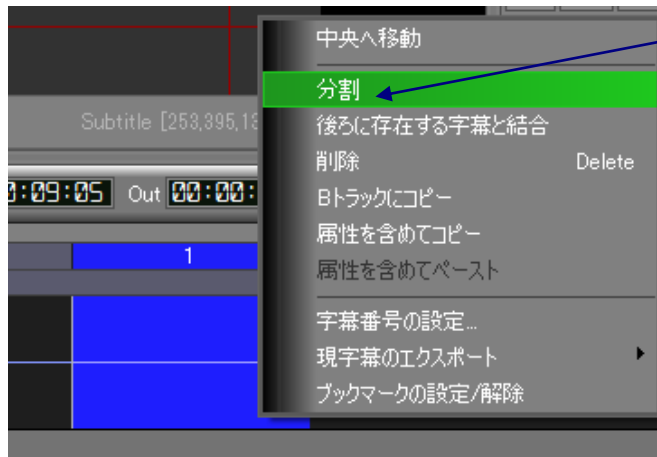
編集中のスポッティングが調整できないようロックします。



このアイコンをクリックすると編集がロックされます。スポッティングをとったり、微調整をすることができません。

《字幕の分割》

長いスポッティングを2つに分ける場合に使用します。



1. スポッティングの分割したい場所にカーソルを合わせ、右クリックして[分割]を選択します。
分割した位置が、次の字幕のイン点になります。

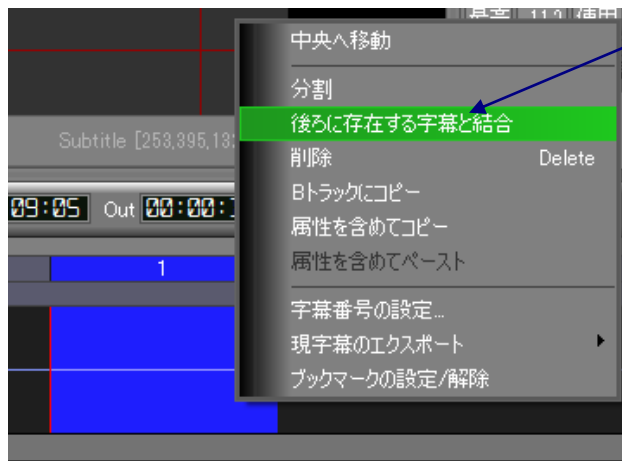


2. 原文と字幕は、前後同じものが表示されますので、それぞれ余分なテキストを削除します。

分割後の後ろの字幕番号は、前の字幕番号の枝番になります。

《字幕の結合》

2つのスポッティングを結合し、1つにします。



1. 結合したい2つのスポッティングの「前の」スポッティングにカーソルをおき、右クリックして[後ろに存在する字幕と結合]を選択します。

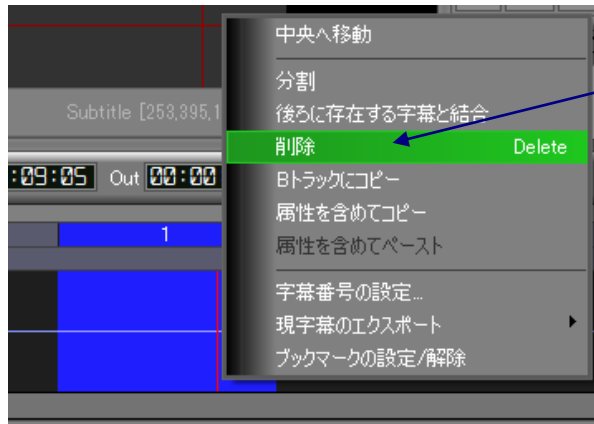


2. 前後の原文と字幕が2行になって表示されます。
(前の字幕が1行目、後ろの字幕が2行目)

結合後、後ろの字幕番号は消去されます。

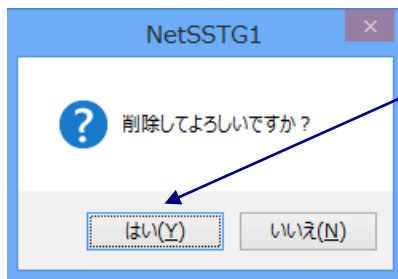
《現字幕の削除》

スポッティングを削除します。



1. 削除したいスポッティングを右クリックして、[削除]を選択します。

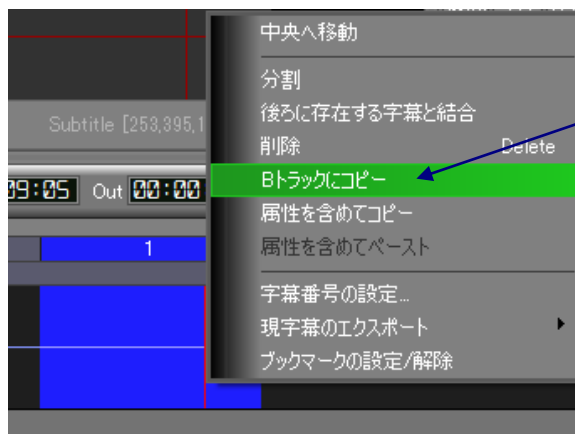
キーボードの[Delete]でも削除できます。



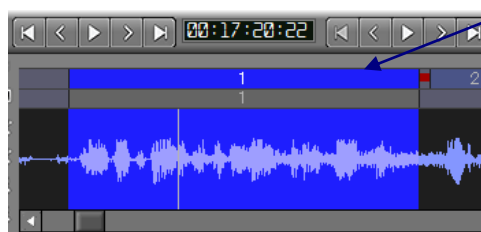
2. [はい] をクリックします。

《Bトラックにコピーする》

Aトラックと同じタイミングのスポッティングをBトラックにコピーします。その逆も可能です。



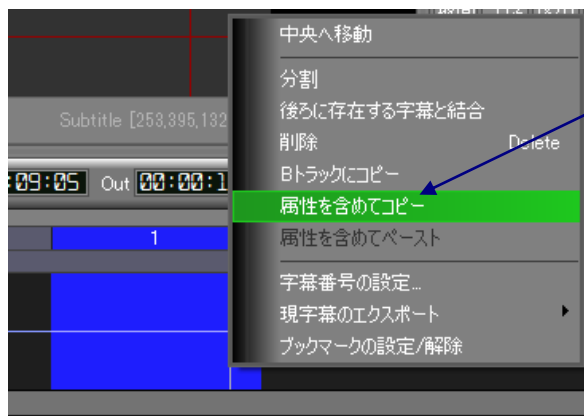
1. コピーしたいスポッティングにカーソルをおきます。右クリックして[Bトラックにコピー]を選択します。



2. コピーされました。この場合、字幕テキストもコピーされます。字幕が重なって見えるので、どちらかの字幕を削除または変更してください。

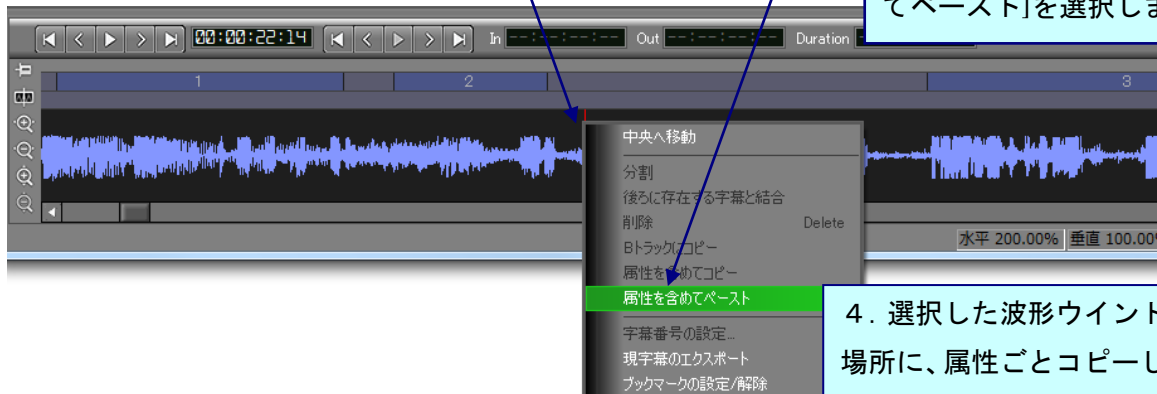
《属性を含めてコピー／属性を含めてペースト》

選択した字幕内の字幕と属性（フォントの種類・色・ルビ・斜体・傍点 etc…）をコピーし、波形ウィンドウ上へペーストします。



1. コピーしたいスポッティングにカーソルをおきます。右クリックして[属性を含めてコピー]を選択します。

2. 波形ウィンドウ上の空いている箇所を選択します。



3. 右クリック→[属性を含めてペースト]を選択します。

4. 選択した波形ウィンドウ上の場所に、属性ごとコピーした内容がペーストされます。

※コピー元のハコごと波形ウィンドウ上にペーストされるため、表示時間はコピー元のデュレーションに依存します。

※ペースト先に、コピー元のハコの表示時間分の空きがない場合（例えば 2 秒のハコをコピーしているのに、ペースト先に 1 秒分の空きしかない場合）、ペーストはできません。

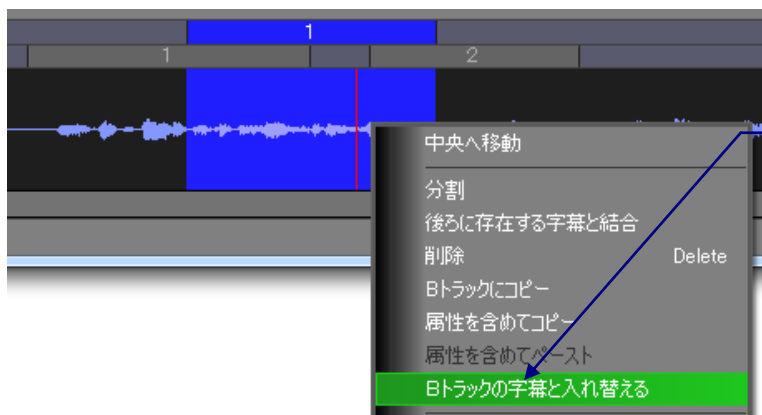
※複数字幕をコピー＆ペーストすることも可能です。その場合、コピーした字幕の表示時間分、ペースト先に空きが必要になります。

※別の sdb へペーストした場合、デフォルトフォーマットで設定されている属性はコピーされません。ペースト先のデフォルトフォーマットが反映されます。

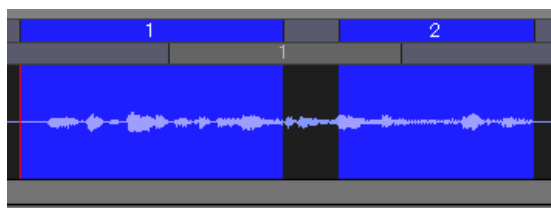
※フレームレートが異なる sdb 間で貼り付けを行うとタイムコードの数値が変わってしまいますので、フレームレートが同一の sdb 間で行うか、ペースト後調整を行うようにしてください。

《Bトラックの字幕と入れ替える》

AトラックとBトラックのタイミングが重なっているスポッティングを入れ替えます。その逆も可能です。



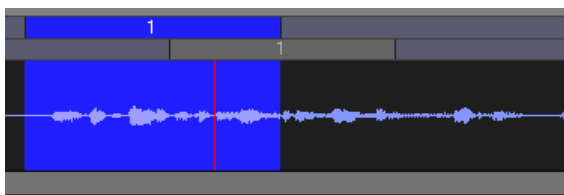
1. 入れ替えたいスポッティングにカーソルをおきます。右クリックして[Bトラックの字幕と入れ替える]を選択します。(複数選択も可能です)



2. AトラックとBトラックのスポッティングが入れ替わります。

ただし、入れ替える相手の字幕が、入れ替え元の字幕以外の字幕と、入替後に重なってしまう場合は入れ替えることができません。また、ABトラックが重なっていない箇所ではこのメニューは選択できません。

<入れ替え可能>



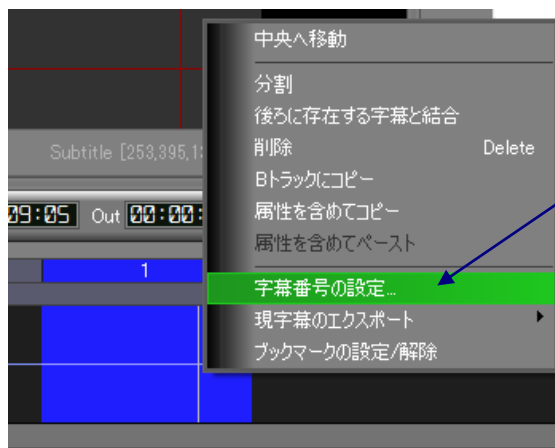
<入れ替え不可>



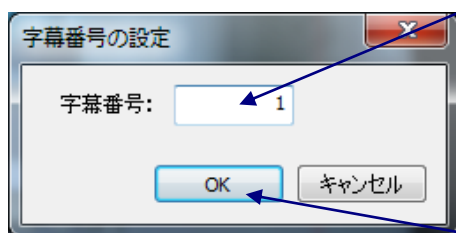
B1の字幕にA2の字幕が重なってしまうため、入れ替えられません。

《字幕番号の設定》

現字幕に任意の番号または文字列を設定します。



1. 字幕番号を設定したいスポッティングにカーソルをおき、右クリックして[字幕番号の設定]を選択します。

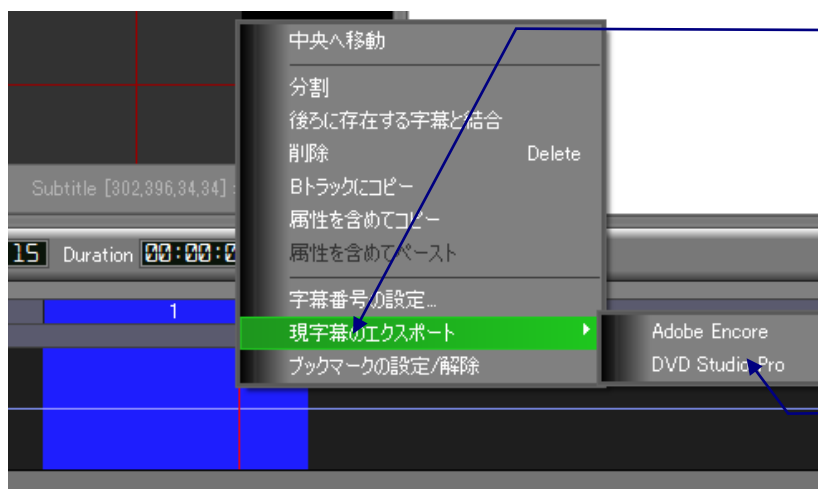


2. 字幕番号または文字列を入力します。

3. [OK]をクリックします。

《現字幕をエクスポートする》

現字幕だけを任意のファイル形式にエクスポートします。エクスポートメニューを参照。



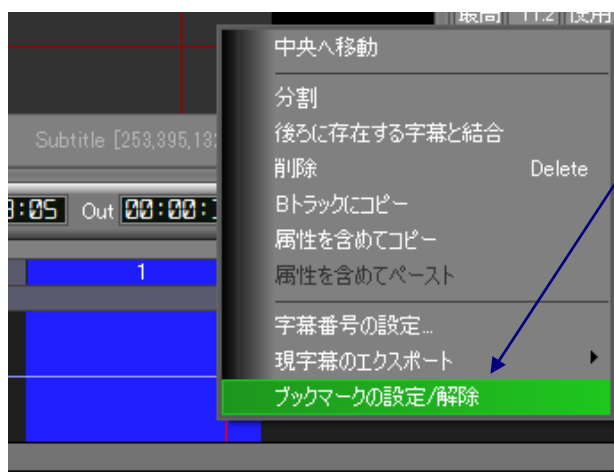
1. エクスポートしたい字幕にカーソルをおき、右クリックして[現字幕のエクスポート]を選択します。

2. リストが表示されるので、該当する項目を選んでクリックし、各種設定をします。

《ブックマークの設定／解除》

指定したタイムコードにブックマークをつけることができます。

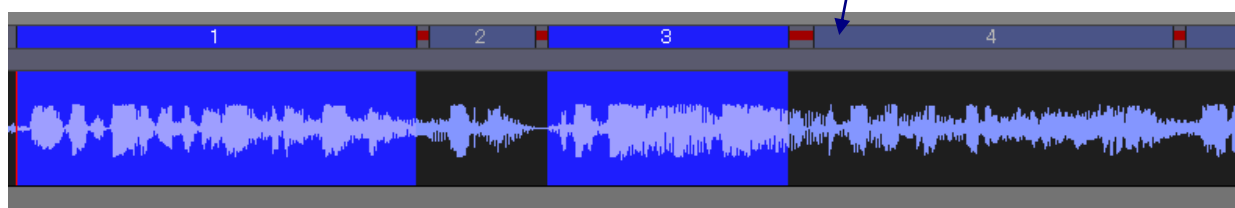
1. ブックマークを付けたい（または、解除したい）音声波形上にカーソルを置きます。



2. [ブックマークの設定／解除]を選択します。

《字幕の複数選択》

波形ウィンドウ上で Alt キーを押しながら、該当の字幕を左クリックすることで、複数の字幕が波形ウィンドウ上で個別に選択します。



- Alt を押しながら左クリックで字幕を選択します。

また、波形ウィンドウ上で Shift キーを押しながら字幕を左クリックで選択することで、字幕の範囲選択が可能です。

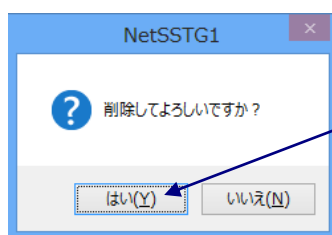
字幕ウィンドウ上で編集

字幕ウィンドウの編集機能は、Shift キーまたは Ctrl キーを押しながら、複数の字幕ウィンドウを選択すると一括変更できます。

《字幕を削除する》

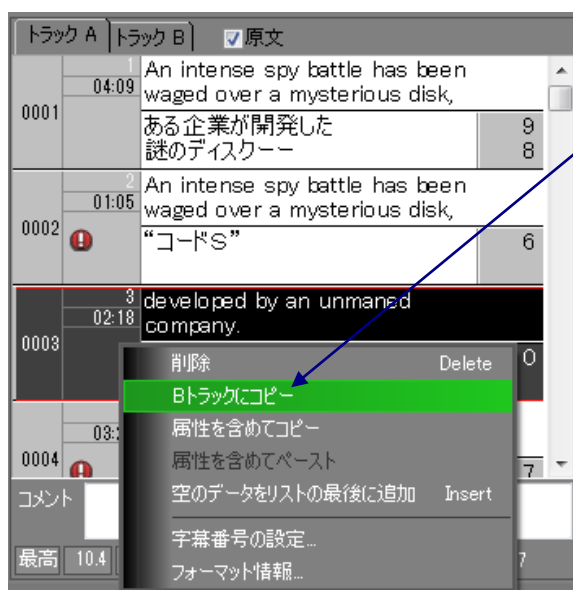


1. 削除したい字幕ウィンドウを右クリックして、[削除] を選択します。



2. [はい] をクリックします。

《Bトラックにコピーする》



コピーしたい字幕ウィンドウを右クリックして、[Bトラックにコピー] を選択します。字幕が重なって見えるので、どちらかの字幕を削除または変更してください。

《属性を含めてコピー／属性を含めてペースト》

選択した字幕内の字幕と属性（フォントの種類・色・ルビ・斜体・傍点 etc…）をコピーし、空の字幕へペーストします。



1. コピーしたい字幕を選択し、右クリックして[属性を含めてコピー]を選択します。



2. あらかじめ作成しておいた、空の状態のハコを選択し、右クリックして[属性を含めてペースト]を選択します。

3. 選択したハコに、属性ごとコピーした内容がペーストされます。

※字幕の表示時間（デュレーション）はペーストされず、ペースト先のハコの表示時間に依存します。

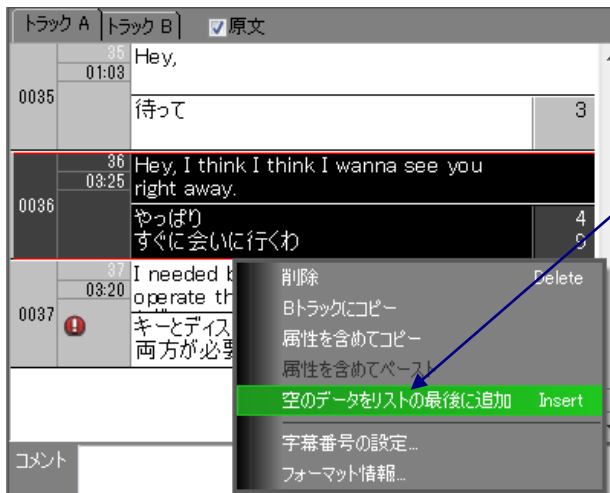
※ペースト先の字幕に既に字幕が入力されている場合、ペーストはできません。

※複数字幕をコピー＆ペーストすることも可能です。その場合、コピーした字幕の数分、空の状態のハコが必要になります。

※別の sdb へペーストした場合、デフォルトフォーマットで設定されている属性はコピーされません。ペースト先のデフォルトフォーマットが反映されます。

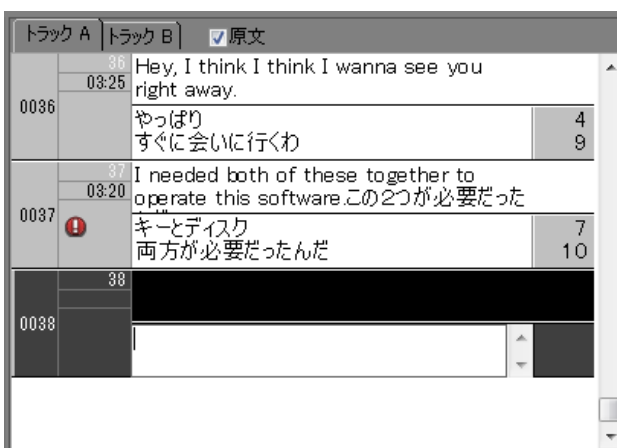
《空のデータをリストの最後に追加》

先にスポッティングをとらずに空の字幕ウィンドウを作り、後からスポッティングをとる時に使用します。



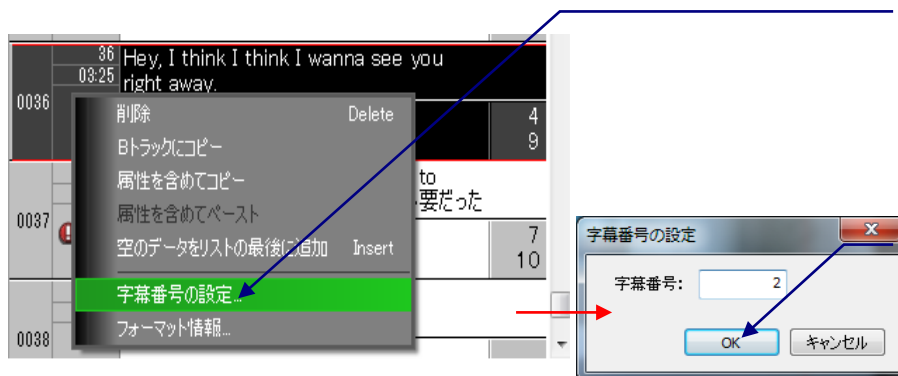
字幕ウィンドウを右クリックして、[空のデータをリストの最後に追加]を選択します。

字幕ウィンドウをアクティブにしたまま、Insert キーを押すだけでも空ボックスができます。



《字幕番号の設定》

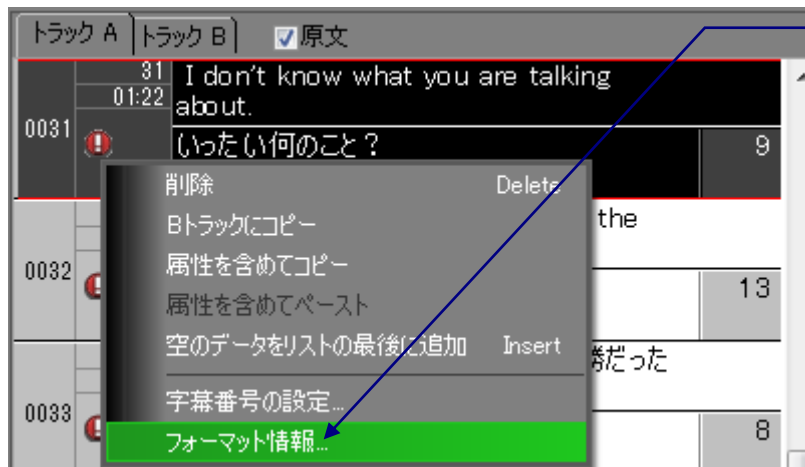
現字幕に任意の番号または文字列を設定します。



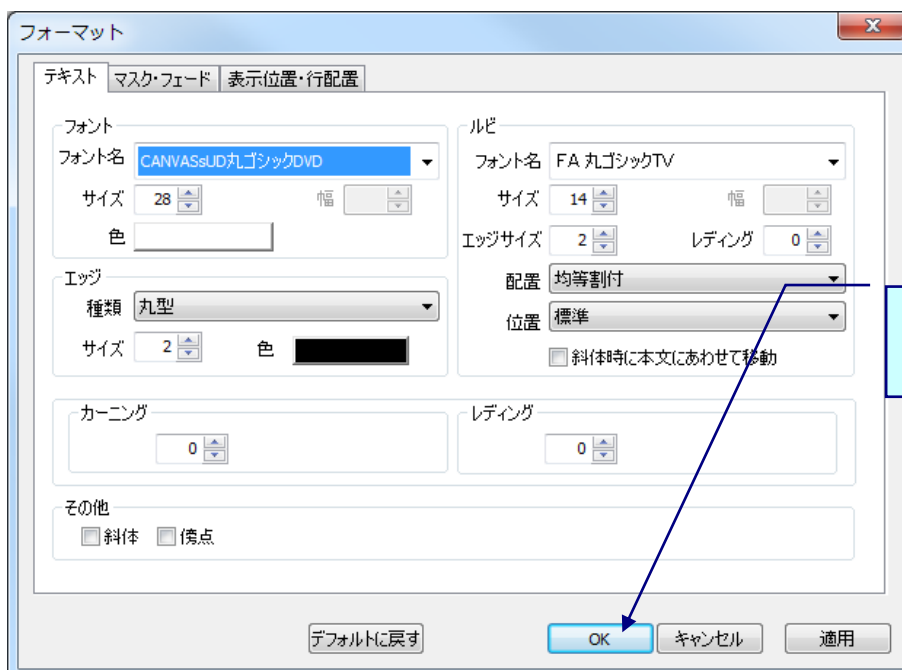
1. 字幕番号を設定したい字幕ウィンドウ、を右クリックして、[字幕番号の設定]を選択します。

2. 任意の番号または文字列を入力して、[OK]をクリックします。

《フォーマット情報》



1. 字幕ウィンドウを右クリックして、[フォーマット情報]を選択します。



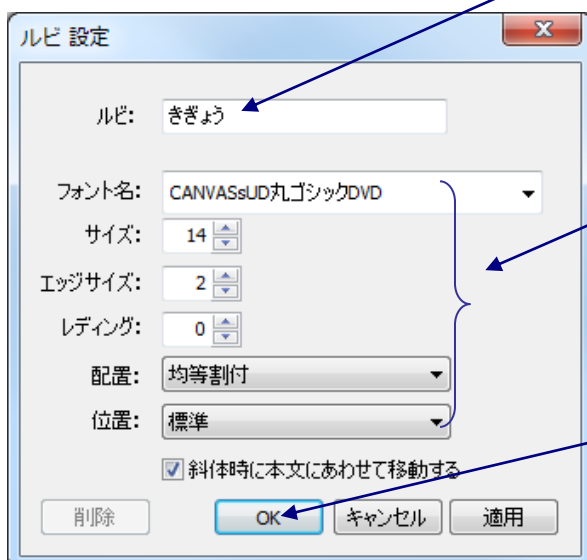
2. 設定が終わったら、[OK]をクリックします。

エフェクト

《ルビ》



1. ルビを振りたい文字を選択し、ツールバーの **R** をクリックします。



2. ルビを入力します。

必要があれば、各種設定を行います。

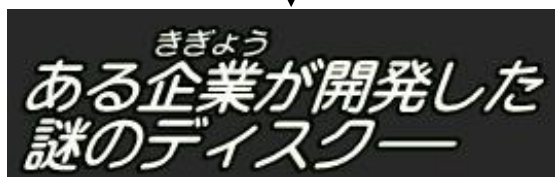
3. [OK]をクリックします。



《イタリック（斜体）》



イタリックにしたい文字を選択し、ツールバーの **I** をクリックします。



《傍点（強調点）》



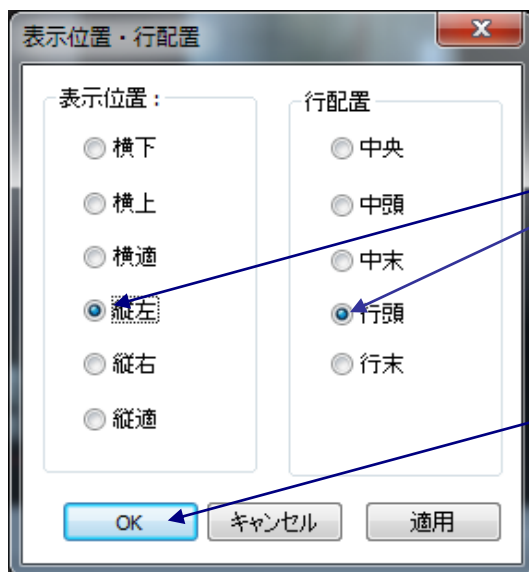
傍点を振りたい文字を選択し、ツールバーの **P** をクリックします。



《表示位置・行配置（ポジション）》



1. ポジションを変更したい字幕ウィンドウをアクティブにし、ツールバーの  をクリックします。



2. 表示位置・行配置を選択します。

3. [OK]をクリックします。



このように、表示位置を変えることで、AトラックとBトラックの2つの字幕が同時に表示できます。

トラック B

トラック A

《フォント及びエッジの種類、サイズの設定》



1. サイズやエッジの種類を変えたい文字を選択します。

・フォントの種類、サイズを変える



2. ツールバーからそれぞれを選択します。

・エッジの種類、サイズを変える



エッジの種類は、丸型・角型・シャドウから選べます。

○エッジイメージ

・丸型



・角型



・シャドウ

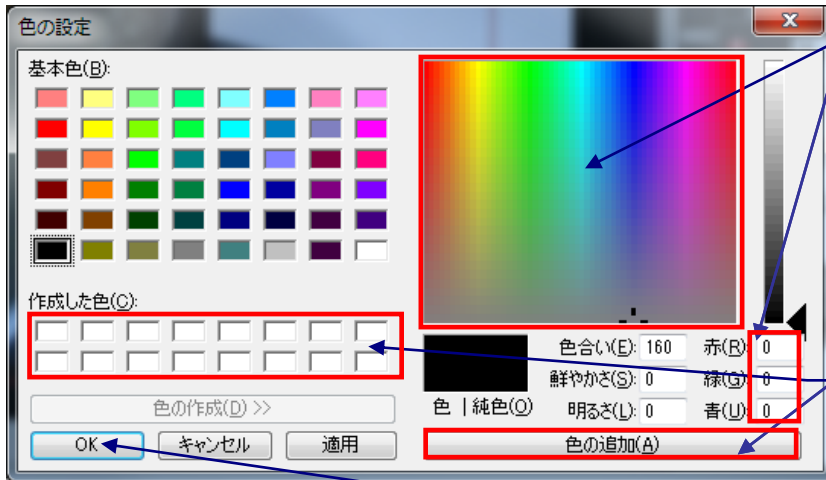


《フォント・エッジの色の設定》



1. 色を変えたい文字を選択し、文字色を変える場合は、ツールバーの  をクリック、エッジの色を変える場合は、 をクリックします。

2. 色を選択します。次ページ参照。



この画面上の色をクリックして、好みの色を作ることができます。もしくは、R・G・Bの数値でも色を指定できます。

作成した色を保存することができます。

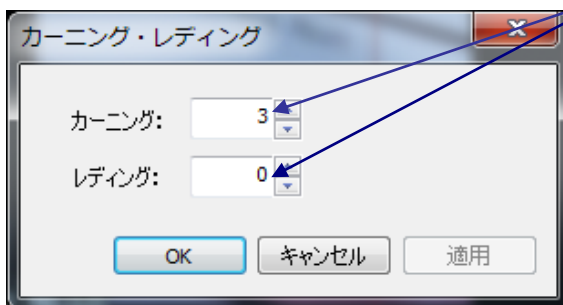
3. [OK]をクリックします。

《カーニング・レディング》

カーニングは文字と文字の間隔（文字間）、レディングは字幕の行と行の間隔（行間）のことを指し、この機能でそれぞれの間隔を調整することができます。



1. 調整したい文字を選択し、ツールバーの **K** を選択します。



2. それぞれ数値を入力します。数値を大きくすると間隔が広く、小さくすると狭くなります。マイナス値の入力も可能です。

《文字の自由位置》

ベースラインで決められた位置以外に手動で自由に字幕を配置することができます。

◇マウス or 矢印キーで動かす場合



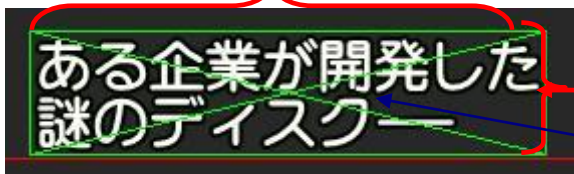
1. 移動させたい字幕ウィンドウを選択し、ツールバーの  をクリックします。もしくは、ビデオウィンドウ上に表示された文字を直接クリックします。

・ビデオウィンドウ右下の座標軸の表示（ピクセル単位）

Subtitle [223,121,187,32]

座標軸の見方（左からの数値の説明）

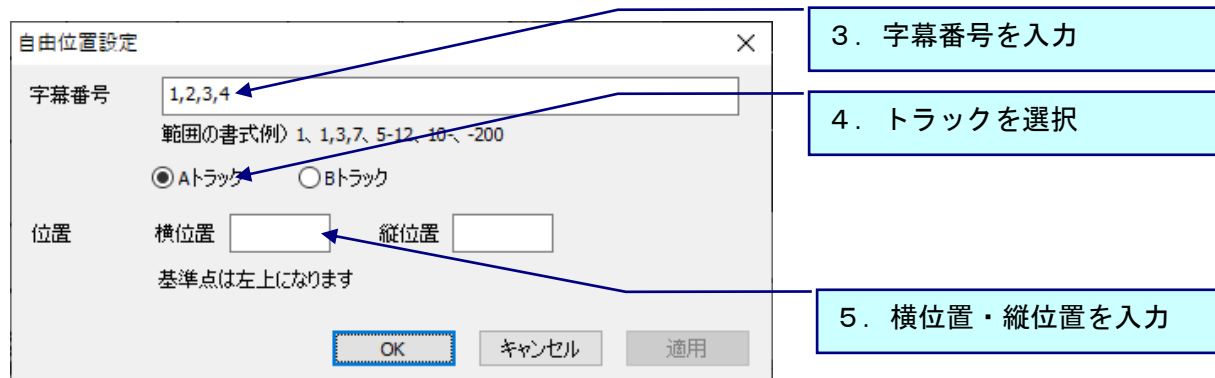
- ・ 223 : 画面の一番左からの距離
- ・ 121 : 画面の一番上からの距離
- ・ 187 : 字幕の横の長さ
- ・ 32 : 字幕の縦の長さ



2. このような表示になったら、矢印キーもしくはマウスで移動させます。

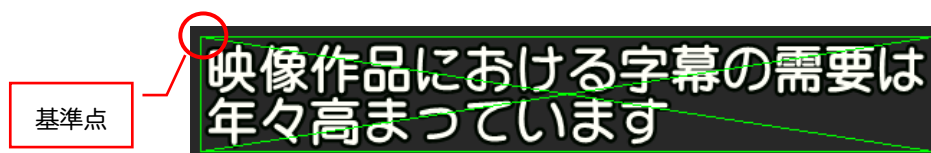
◇数値を入力して動かす場合

1. 移動させたい字幕を字幕ウィンドウもしくは波形ウィンドウ上で選択（複数選択可）
2. 右クリック→[自由位置設定] もしくは[字幕]メニュー→[自由位置設定] を選択



[基準点]

ビデオウィンドウ上で字幕をクリックすると、下記画像のように緑線の枠が表示されます。
この枠線の左上を基準として、自由位置は移動します。



[位置]：ピクセル単位で移動する位置を数値で入力します。

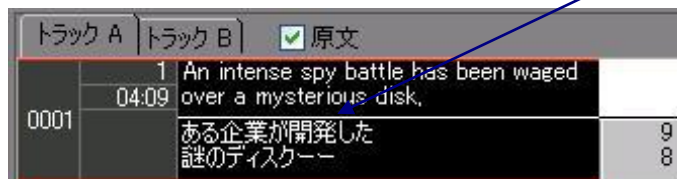
画面調整の目的モニタの設定によって、横位置/縦位置の入力可能な最大値が下記のように変わります。

目的モニタの設定	横位置の最大値	縦位置の最大値	(単位:ピクセル)
720x480(4:3NTSC)	720	480	
720x480(16:9NTSC)	720	480	
720x576(4:3PAL)	720	576	
1280x720(16:9HD)	1280	720	
1920x1080(16:9Full HD)	1920	1080	
3840x2160(4KUHD)	3840	2160	
ユーザー設定	設定した数値	設定した数値	

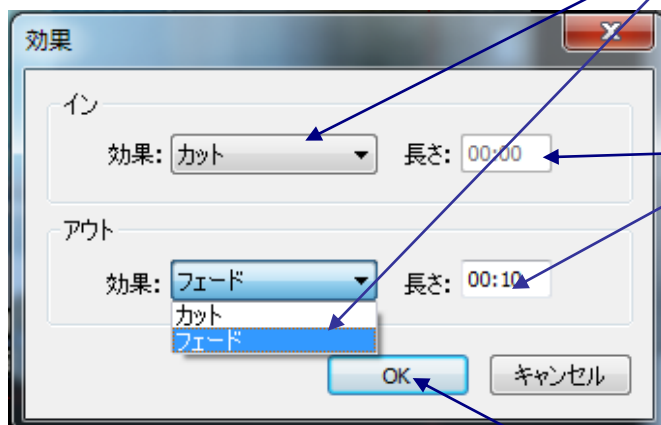
※字幕が画面からはみ出す数値は設定できません

《効果（フェードイン・フェードアウト）》

徐々に字幕が表示される効果（フェードイン）、徐々に字幕が消える効果（フェードアウト）です。効果の長さとは、字幕が画面上に完全に表示されてから完全に消えるまで（または、表示されていない状態から完全に表示されるまで）の時間です。



1. 効果を付けたい字幕ウィンドウを選択し、ツールバーの **Fx** をクリックします。



2. リストから[フェード]を選択します。

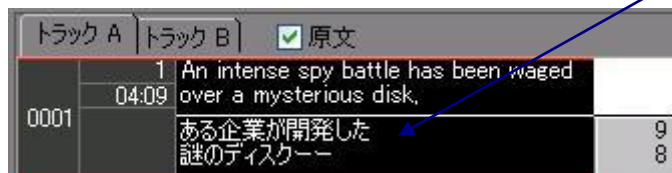
3. 効果の長さをフレーム単位で入力します。
デューレーションを超えた値は入力できません。

3. [OK]をクリックします。

《マスク（座布団）を作成する》

字幕の背後にマスク（座布団）をつけることができます。

※マスク（座布団）とは、字幕の背後の領域を塗りつぶすことです。



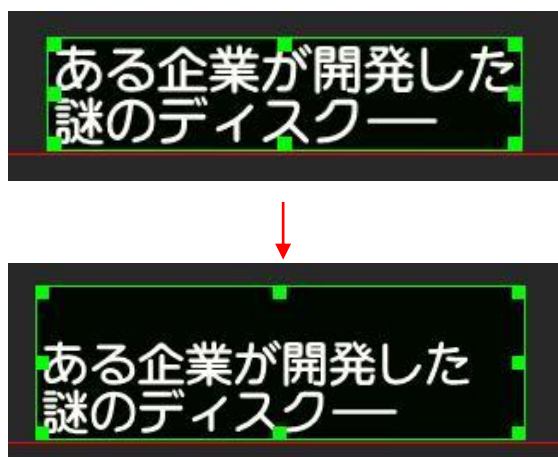
マスク（座布団）を付けたい字幕を選択し、ツールバーの  をクリックします。



マスク（座布団）の色を変更するには、ツールバーの  をクリックします。

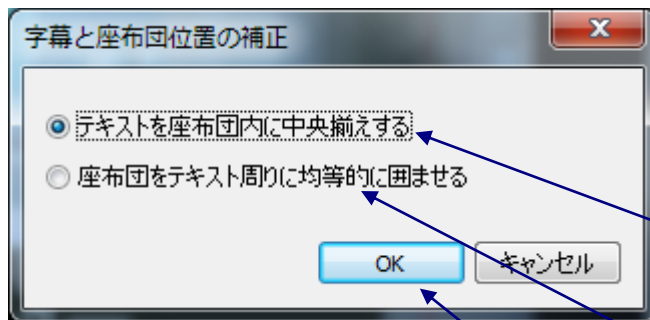
アイコンをもう一度クリックすると、マスク（座布団）は外れます。

《マスク（座布団）の移動、またはサイズ変更を行う》



ツールバーの  をクリックすると、図のように緑の枠が表示されます。矢印キーやマウスで位置やサイズの変更ができます。

《字幕をマスク（座布団）内に中央揃えする》



ツールバーのをクリックすると、図のようなメッセージが表示されるので、どちらかを選択します。

マスク（座布団）に合わせて、字幕が移動します。

字幕に合わせて、マスク（座布団）が移動します。

[OK]をクリックします。

ファイルメニュー

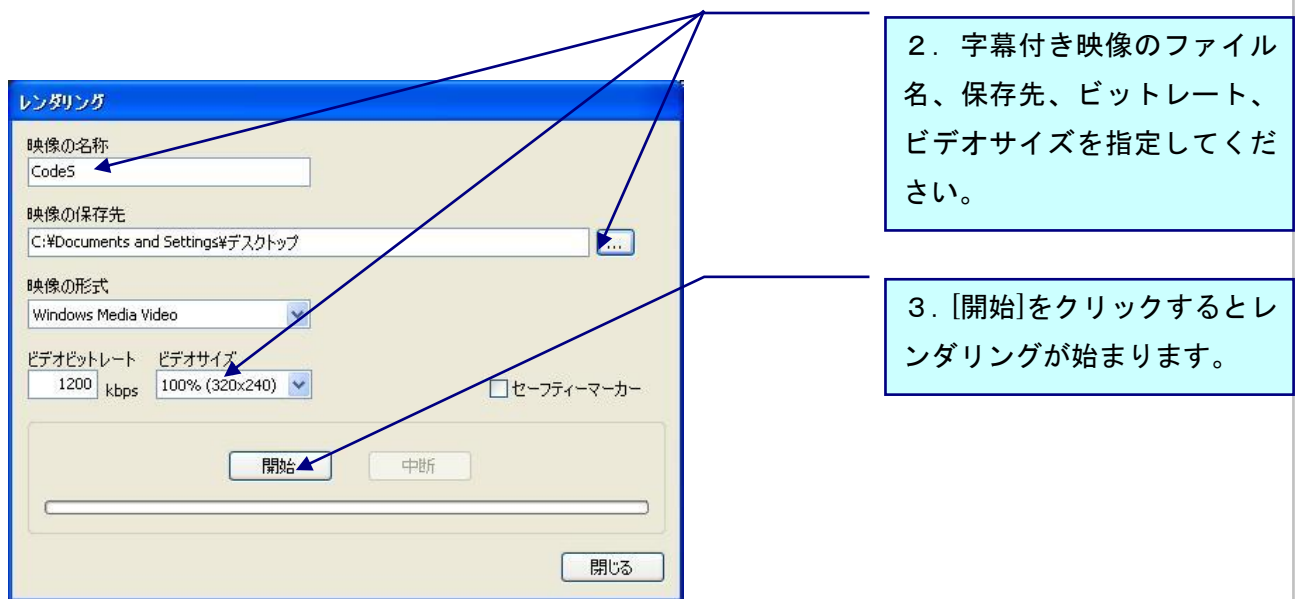
《レンダリング》

字幕制作に使用した MPEG-1 ファイルに字幕を合成して、字幕付き WMV ファイルを生成します。

⚠ MPEG1 以外を使用する場合はレンダリングができません。

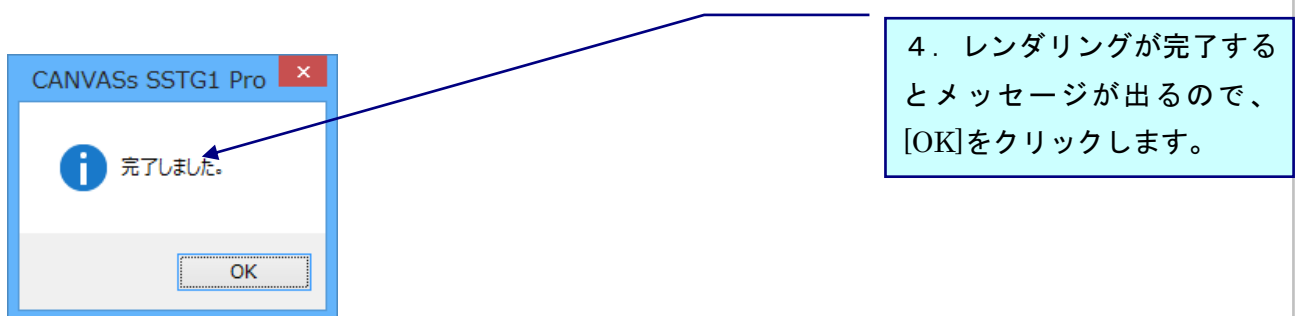
⚠ 全ての PC で動作保障するものではありません。windows のバージョン等パソコンの環境によっては、映像と音声にズレが生じる場合があります。

1. [ファイル] メニューの [レンダリング] をクリックします。



2. 字幕付き映像のファイル名、保存先、ビットレート、ビデオサイズを指定してください。

3. [開始]をクリックするとレンダリングが始まります。



4. レンダリングが完了するとメッセージが出るので、[OK]をクリックします。

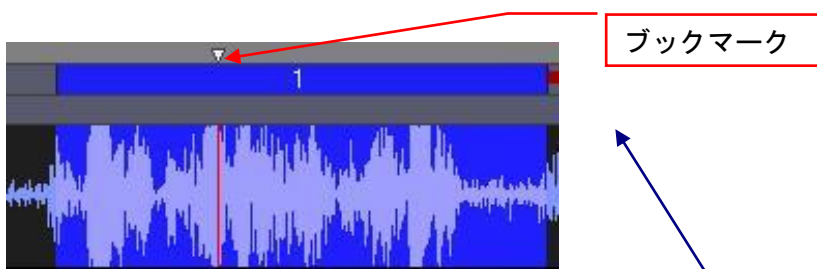
- ・レンダリングは、パソコン処理能力のかなりの割合を使用しますので、他の作業との併用はお勧めできません。
- ・ビットレートを下げ過ぎると、30 フレームすべてが生成されず、コマ送りの様な映像になる場合があります。
- ・[セーフティーマーカー]にチェックを入れると、セーフティラインも一緒にレンダリングします。

字幕メニュー

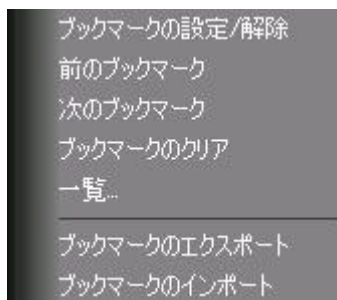
《ブックマーク》

指定したタイムコードにブックマークをつけることができます。

1. ブックマークを付けたい音声波形上にカーソルを置きます。
2. [字幕] メニューの [ブックマーク] をクリックし、メニューより[ブックマークの設定／解除] を選択します。または、音声波形を右クリックして設定することも可能です。



○ブックマークのメニュー



5. [置換して次に]をクリックします。

- ・ブックマークの設定／解除・・・上記参照。
- ・前のブックマーク・・・現在のブックマークより1つ前のブックマークに飛びます。
- ・次のブックマーク・・・現在のブックマークより1つ後ろのブックマークに飛びます。
- ・ブックマークのクリア・・・全てのブックマークがクリアされます。
- ・一覧・・・ブックマークの一覧を表示します。次ページ参照。
- ・ブックマークのエクスポート・・・ブックマークのデータ（フレーム情報）をエクスポートすることができます（.txt）。
- ・ブックマークのインポート・・・フレーム情報（.txt）をインポートすることができます。



[字幕] メニューの [ブックマーク] をクリックし、メニューの [一覧] を選択すると、図のような一覧が表示されます。

タイムコードを選択し、[ジャンプ] をクリックすると、該当するブックマークに移動します。また削除したい場合には、[削除] をクリックします。

《字幕削除》

1. [字幕] メニューの [字幕削除] をクリックします。



2. 現字幕を削除する場合は [現在位置の字幕を削除] を選択します。

3. [OK] をクリックします。

○複数の字幕を一括削除する場合

1. [字幕] メニューの [字幕削除] をクリックします。



2. 複数の字幕を削除する場合は、範囲を指定します。

3. [OK]をクリックします。

[a-b] という形で、削除する字幕番号の範囲を入力します。[a] は削除する最初の字幕、[b] は削除

する最後の字幕です。字幕[a] から最後の字幕まで削除するには、[a-]と入力します。最初の字幕

から字幕 [b] まで削除するには、[-b] と入力します。

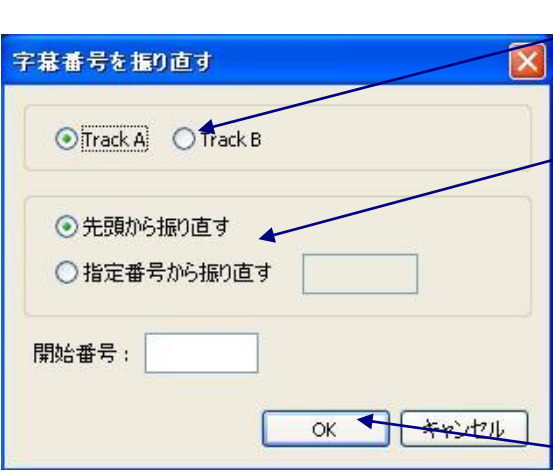
○その他の削除方法

- ・音声波形上の現字幕をCtrlキーを押しながらクリックして、マウスカーソルを音声波形ウィンドウの外にドラッグさせると、ゴミ箱の絵が出ます。マウスを放すと[削除してよろしいですか?]というメッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。
- ・字幕ウィンドウを選択し、右クリックで削除します。

《字幕番号の振り直し》

スポッティングの追加や削除により、字幕番号が連番でなくなってしまった場合など、字幕番号を振り直したい時にこの作業を行います。

1. [字幕] メニューの [字幕番号の振り直し] をクリックします。



2. [Track A]、または[Track B]を選択します。
3. プロジェクトの[先頭の字幕から番号を振り直す]、または[指定番号から振り直す]を選択し、開始番号を指定します。入力できるのは整数のみです。
4. [OK]をクリックします。

《字幕移動》

字幕を一括で移動したり、調整する時に使用します。

1. 映像とタイムコードの調整が完了していることを確認してください。P.67 参照。
2. [字幕] メニューの [字幕移動] をクリックします。
3. 移動するトラックを選択します。
4. 該当する項目を選択し、必要事項を入力します。次ページ参照。
5. 入力が終わったら [OK] をクリックします。



- a. [挿入または削除によるタイムコードの調整]を選択
 - i. [ビデオのインサートによる調整]を選択
新しく映像が追加された場合、映像を追加した位置のタイムコードを[スタート位置]に入力し、追加した映像の長さを[デュレーション]に入力します。
 - ii. [ビデオの削除による調整]を選択
映像の一部が削除された場合、削除した箇所のタイムコードを[スタート位置]に入力し、削除した長さを[デュレーション]に入力します。
 映像が削除された部分の字幕をあらかじめ削除してから行ってください。
- b. [現在位置より後ろの字幕を移動]を選択
カーソルは、移動させたいスポッティングの前に置いてください。
 - i. [左へ移動]を選択
[デュレーション]に移動させたい時間の値を入力すると、『音声波形ウィンドウ』上のカーソルが置かれている部分より後ろにあるスポッティングすべてが、[デュレーション]に入力された値分左へ移動します。
 - ii. [右へ移動]を選択
[デュレーション]に移動させたい時間の値を入力すると、『音声波形ウィンドウ』上のカーソルが置かれている部分より後ろにあるスポッティングすべてが、[デュレーション]に入力された値分右へ移動します。
- c. [現在選択されている字幕のインフレームを移動]を選択
 - i. 『音声波形ウィンドウ』上のカーソルが置かれている現字幕のインフレームが[現在のインフレーム]にデフォルトとして表示されています。
 - ii. [全体を移動]にチェックを入れ、[現在のインフレーム]の右側にある入力欄に移動したいタイムコードを入力すると、選択されているスポッティングを含めた全体のスポッティングが移動します。
 - iii. [選択されている字幕以降を移動]にチェックを入れ、[現在のインフレーム]の右側にある入力欄に移動したいタイムコードを入力すると、それ以降のスポッティングが移動します。
- d. [全体のスポッティングのIn,Outを移動]を選択
[選択されている字幕以降を移動]にチェックを入れると、それ以降のスポッティングが調整されます。
 - i. イン点を左へ移動した場合
すべてのスポッティングのイン点が設定した数値分左(前)に伸び、デュレーションが長くなります。

ii. イン点を右へ移動した場合

すべてのスポッティングのイン点が設定した数値分右(後)に伸び、デュレーションが短くなります。

iii. アウト点を左へ移動した場合

すべてのスポッティングのアウト点が設定した数値分左(前)に伸び、デュレーションが短くなります。

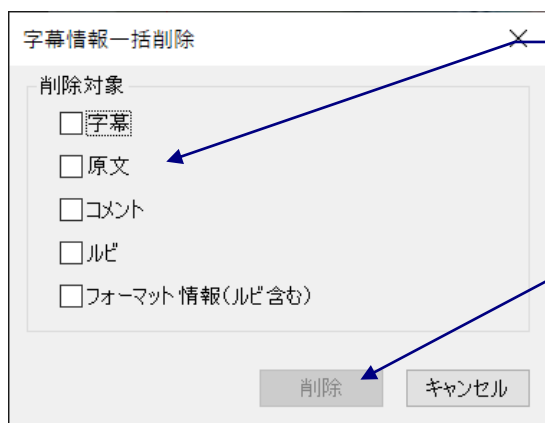
iv. アウト点を右へ移動した場合

すべてのスポッティングのアウト点が設定した数値分右(後)に伸び、デュレーションが長くなります。

《字幕情報一括削除》

字幕、原文、コメントを一括削除する時に使用します。

1. [字幕] メニューの [字幕情報一括削除] をクリックします。



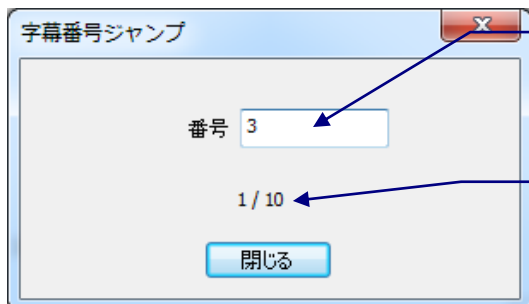
2. 削除する対象を選択します。

3. [削除] をクリックします。

《字幕番号ジャンプ》

指定した字幕番号のハコにジャンプします。※トラックをまたいでのジャンプはできません。

1. [字幕]メニューの-[字幕番号ジャンプ]をクリックします。



2. ジャンプしたい字幕の番号を入力し、エンターキーを押すと、指定の字幕にジャンプします。

3. 現在の字幕番号 / 全ての字幕数が表示されます。

《字幕と原文を入れ替える》

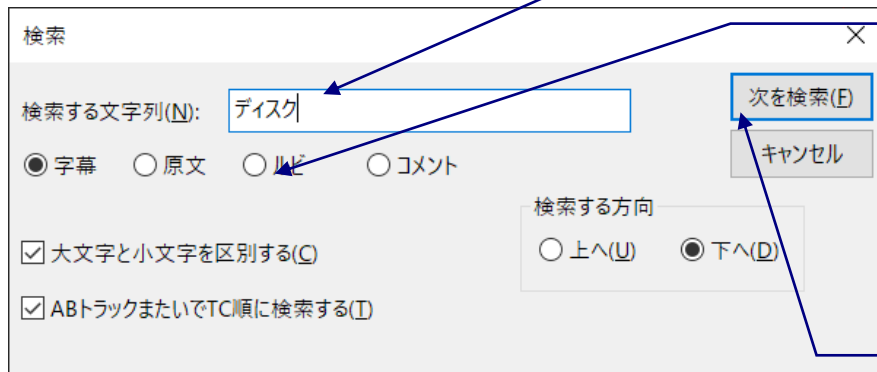
すべての字幕で原文ウィンドウの内容と字幕ウィンドウの内容が一括で入れ替わります。
表示位置やルビなどのエフェクトはすべて解除され、デフォルトフォーマットに戻ります。

検索等メニュー

《字幕の検索》

字幕や原文、ルビにある文字列を検索します。

1. 台本ウィンドウ以外にフォーカスを置いて[検索等]メニューの[字幕検索]をクリックするか、ツールバーのをクリックします。



2. 検索する文字列を入力します。

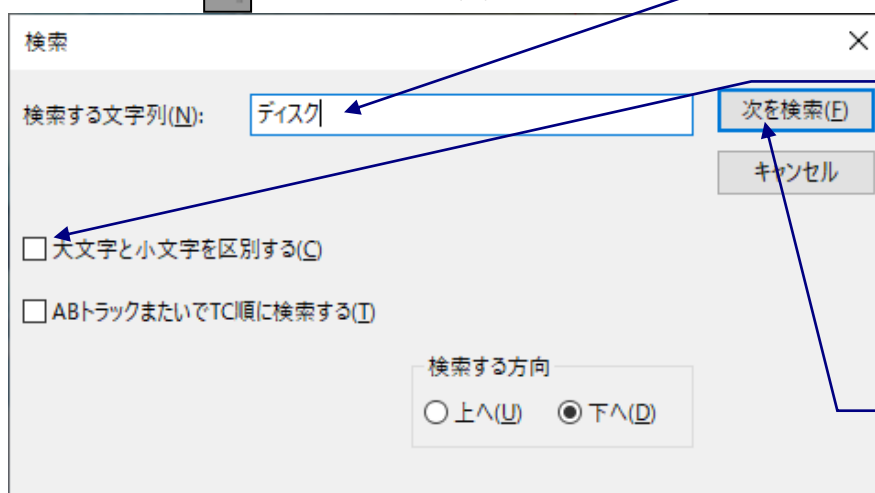
3. 検索するフィールドを選択し、アルファベットの大文字と小文字が混ざった単語を検索する時には、[大文字と小文字を区別する]にチェックを入れます。

4. [次を検索]をクリックします。

- ・ 検索対象の文字列が含まれるテキストウィンドウがアクティブになります。
- ・ 検索したい文字をドラッグしてから[検索]をクリックすると、検索する文字列に表示されます。置換も同様です。

○台本にある文字列を検索する場合

1. 台本ウィンドウにフォーカスを置いて[検索等]メニューの[字幕検索]をクリックするか、ツールバーのをクリックします。



2. 検索する文字列を入力します。

3. アルファベットの大文字と小文字が混ざった単語を検索する時には、[大文字と小文字を区別する]にチェックを入れます。

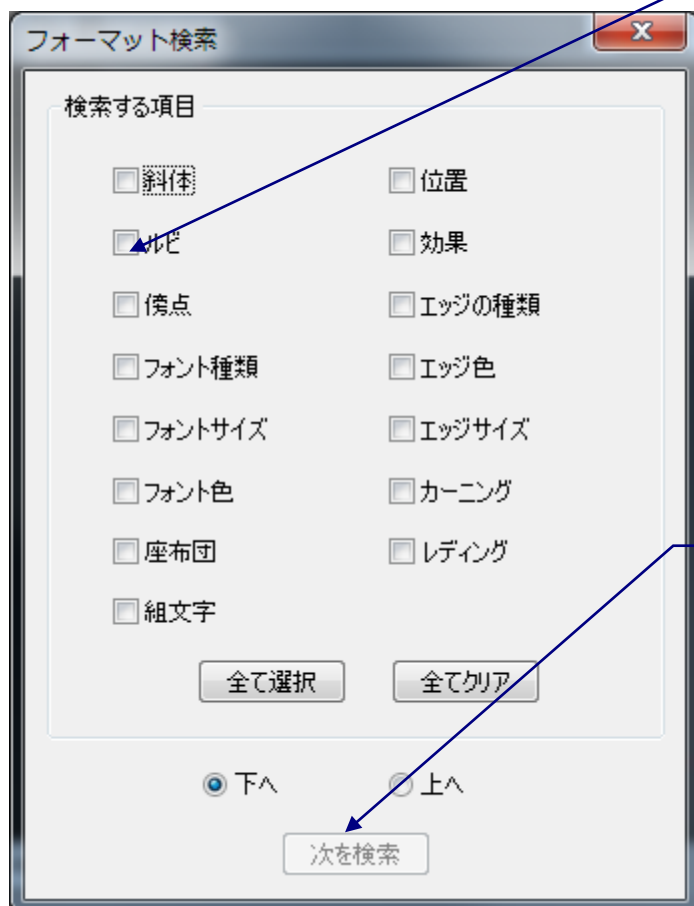
4. [次を検索]をクリックします。

- ・ 検索対象はカーソルがある場所から「検索する方向」の最終行までとなります。カーソルの位置を確認してから検索を開始してください。
- ・ 最終行まで検索後、初めにカーソルがあった場所からの再検索は開始されないため、改めて検索開始位置にカーソルを置き検索を開始してください。

《フォーマットの検索》

個別に編集をかけた文字列を検索します。

1. [検索等] メニューの [フォーマットの検索] をクリックします。



2. 図のようなダイアログボックスが表示されるので、検索したい項目にチェックをします。複数項目のチェックが可能です。

3. [次を検索]をクリックすると、[検索]機能同様、該当箇所の映像・字幕ウィンドウ・スポッティングが移動します。

《字幕の置換》

字幕や原文、ルビにある文字列を検索し、置換します。

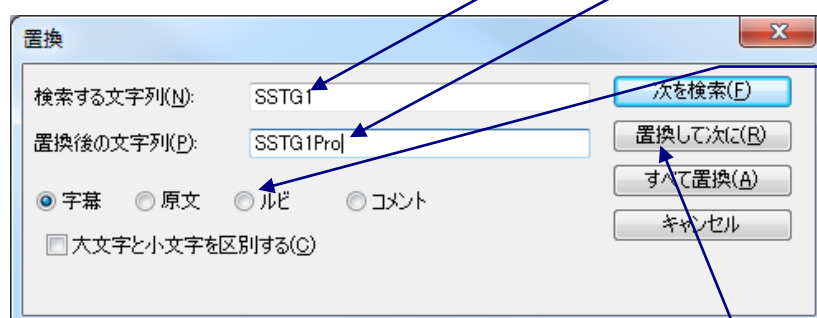
1. [検索等] メニューの [置換] をクリックします。

2. 検索する文列字を入力します。

3. 置換後の文字列を入力します。

4. 検索するフィールドを選択し、アルファベットの大文字と小文字が混ざった単語を検索する時には、[大文字と小文字を区別する]にチェックを入れます。

5. [置換して次に]をクリックします。



[すべて置換]をクリックすると、図のようなメッセージが出て置換が完了しますので、[OK]をクリックします。

《検索属性指定》

特定の文字列を検索して、その文字列に対して一括で属性を付与します。

例えば、特定の文字列を一括で斜体にしたり、ルビをつけたりすることが可能です。

※従来の SSTG1 に存在していた「文字列検索によるカーニング設定」は本機能に統合されました。

1. [検索等] メニューの [検索属性指定] をクリックします。

※画像は、「青」という文字列に「あお」とルビをふる場合です。

2. 検索する文字列を入力します。必要に応じて以下の条件を追加することができます。

- ・大文字と小文字を区別する
- ・縦字幕を除く

3. 文字列に付与する属性を指定します。

4. [全て置換]をクリックすると、置換が完了しますので、[OK]をクリックします。

○属性指定設定で、「SST」にカーニング値を設定する場合の例

検索対象前 検索対象 検索対象後

SSTなら 操作がすごく簡単なの

- ・ 検索対象前：指定した文字列の1つ前の文字との間を調整します。
- ・ 検索対象：指定した文字列の文字間を調整します。
- ・ 検索対象後：指定した文字列の1つ後ろの文字との間を調整します。

《sdb検索》

特定フォルダ内のプロジェクトファイルの字幕・原文を検索することができます。
(サブフォルダも検索されます)

1. [検索等] メニューの [sdb 検索] をクリックします。

The screenshot shows the 'SST G1 プロジェクトファイル検索ツール' (SST G1 Project File Search Tool) window. It includes fields for search location, keywords, search type (subtitles or original text), and search method (OR or AND). A table displays search results with columns for Project, Track, Index, Subtitle No., Original Text, Subtitles, Comments, and Folder. Callouts 2 through 6 point to specific UI elements: 2 points to the search location field, 3 points to the keyword and search type fields, 4 points to the search method field, 5 points to the '検索開始' (Start Search) button, and 6 points to the 'csv出力...' (CSV Output) button.

2. 検索するフォルダを指定します。
サブフォルダも含めて検索します。

3. 検索するキーワードと種類を指定します。

4. 検索方法を指定します。

5. [検索開始] をクリックします。

6. [csv 出力] をクリックすると検索結果が csv ファイルに出力されます。

プロジェクト	Track	Index	字幕No.	原文	字幕	コメント	ルビ	フォルダ
後半.sdb	A	1	1	111	このディスクを	後半		
後半.sdb	B	2	2	55555	ディスクの隠し場所に侵入する			
sample-CodeS_HD.sdb	A	1	1	An intense spy ...	ある企業が開発した謎のディスクー			
sample-CodeS_HD.sdb	A	3	3	developed by a...	このディスクをめぐり			
sample-CodeS_HD.sdb	A	7	7	Finally two rival...	最終的に 2カ国だけがディスクの在りか...			
sample-CodeS_HD.sdb	A	37	37	I needed both o...	キーとディスク両方が必要だったんだ			
sample-CodeS_HD.sdb	B	2	1	Hello, Mr. X. I've...	“ディスクを発見”			
画面調整用.sdb	A	1	1	An intense spy ...	ある企業が開発した謎のディスクー			
画面調整用.sdb	A	3	3	developed by a...	このディスクをめぐり			
画面調整用.sdb	A	7	7	Finally two rival...	最終的に 2カ国だけがディスクの在りか...			
画面調整用.sdb	A	37	37	I needed both o...	キーとディスク両方が必要だったんだ			
画面調整用.sdb	B	1	1	Hello, Mr. X. I've...	“ディスクを発見”			

102件見つかりました。

- ・ 検索場所で指定したフォルダ内に開いている sdb ファイルが存在した場合、その sdb ファイルも検索対象です。但し当該 sdb ファイルを保存しておく必要があります。
- ・ 複数のキーワードをスペースで区切ることによって複数検索が行えます。

6. ヒットした場合、検索結果に表示されます。

検索結果:

プロジェクト	Track	Index	字幕No.	原文	字幕	コメント	フォルダ
codeS.sdb	A	8	8	An expert spy, ...	スパイのひとり／...		C:\temp
codeS.sdb	A	29	29	Julia?	ジュリア		C:\temp
codeS.sdb	A	4	4	The full truth a...	複数の国による...		C:\temp
CodeS#1.sdb	A	8	8	An expert spy, ...	スパイのひとり／...		C:\temp
CodeS#1.sdb	A	10	10	Julia?	ジュリアにめぐり合...		C:\temp
CodeS#1.sdb	A	30	29	Julia?	ジュリア		C:\temp
CodeS#1.sdb	A	4	4	The full truth a...	複数の国による...		C:\temp
CodeS#2.sdb	A	8	8	An expert spy, ...	スパイのひとり／...		C:\temp
CodeS#2.sdb	A	29	29	Julia?	ジュリア		C:\temp
CodeS#2.sdb	A	4	4	The full truth a...	複数の国による...		C:\temp

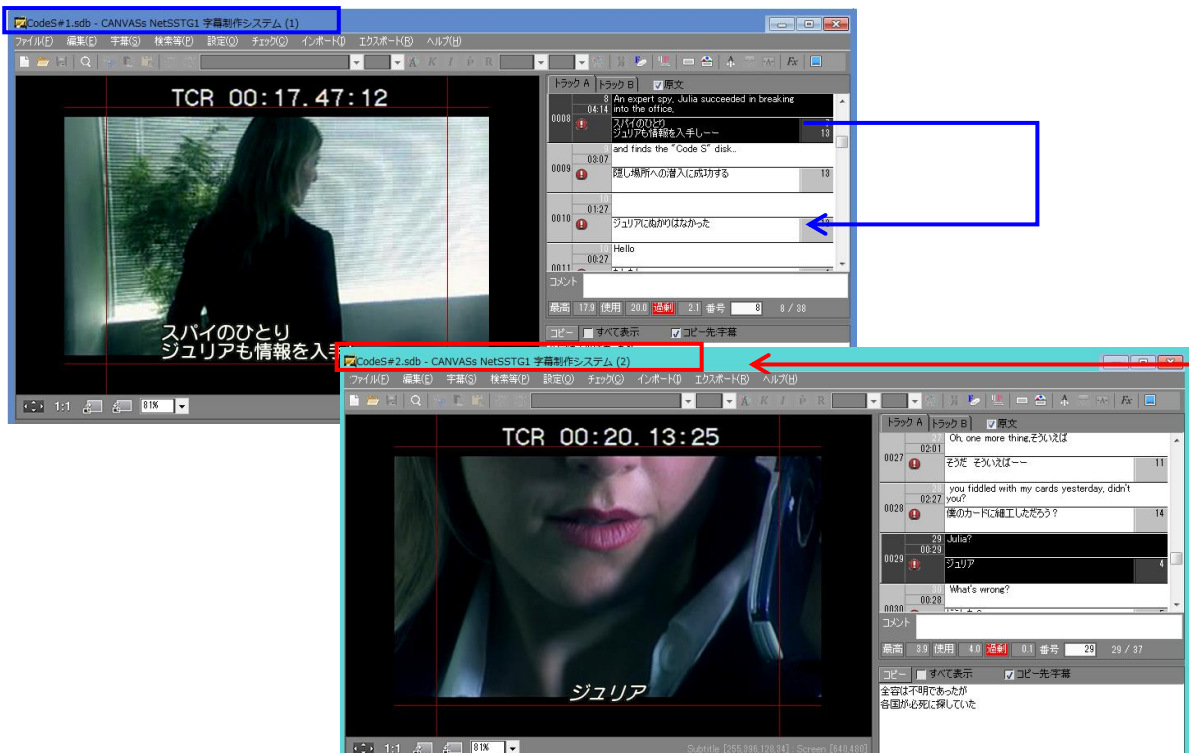
7. 検索結果の行をダブルクリックすると、該当箇所の sdb ファイルが開きます。

○既に開かれている sdb の検索結果をダブルクリックした場合は、sdb は別ウィンドウでは開かずに該当の箇所へ移動します。



最初に開いたウィンドウから順に番号が付き

○開かれていない sdb の検索結果をダブルクリックした場合は、sdb ファイルが別ウィンドウで開き（多重起動）、当該ダブルクリック箇所へジャンプします。また同一プロジェクト内であれば、検索結果をダブルクリックすることで該当箇所へジャンプします。



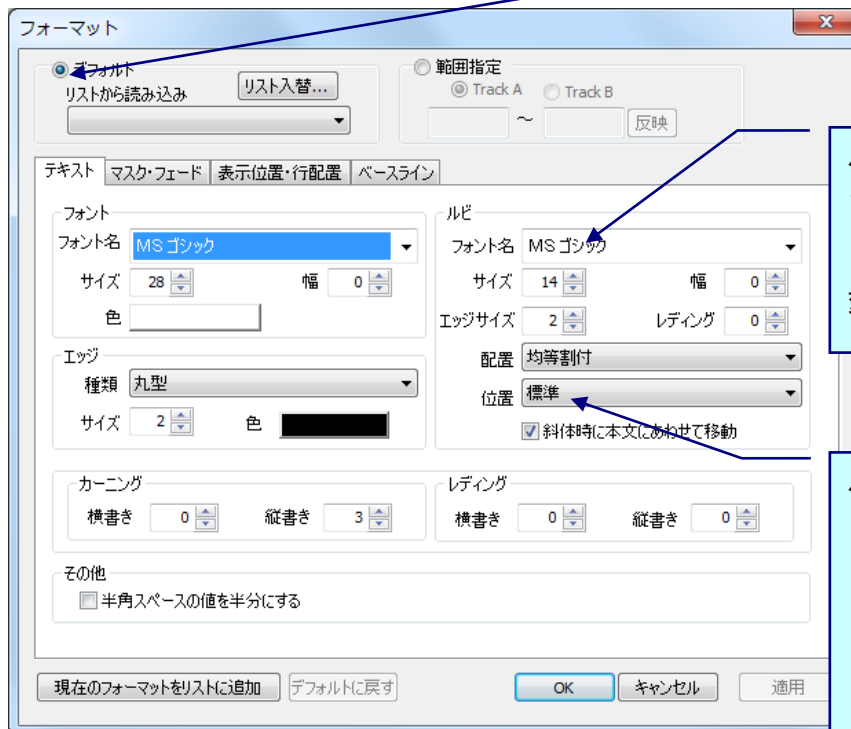
設定メニュー

《フォーマット設定（全編設定）》

字幕制作をする前に、フォーマットを設定しておきます。

[設定] メニューの [フォーマット設定] をクリックします。

・テキストの設定



[デフォルト]にチェックを入れます。

ルビフォント名について
フォントのフォント名を変更すると、ルビのフォント名も連動して変更されます。

ルビについて

- ・「均等割付」：選択した文字列の範囲に対して均等に表示します。
- ・「左揃え」：選択した文字列に対して左寄りに表示します。
- ・「中央揃え」：選択した文字列の中央に表示します。

・ルビ位置について

標準：横書きの場合、1行目は上、2行目は下に付きます。

縦書きの場合、1行目は右、2行目は左に付きます。

前：横書きの場合、すべての行の上に付きます。

縦書きの場合、すべての行の右に付きます。

後：横書きの場合、すべての行の下に付きます。

縦書きの場合、すべての行の左に付きます。

レディングとは、字幕とルビの間隔です。

・エッジについて

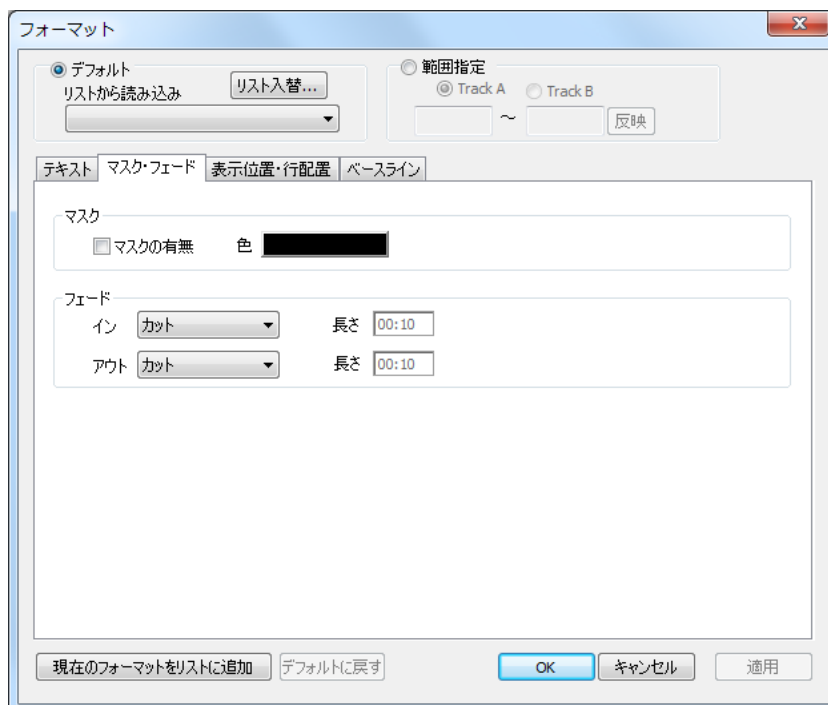
エッジの種類には[角型]、[丸型]、[シャドウ]があります。シャドウのズレ幅はエッジサイズの設定で調整できます。イメージは、P.39を参照ください。

・その他

[半角スペースの値を半分にする]にチェックを入れると、半角スペースが更に半分になります。

・マスク・フェードの設定

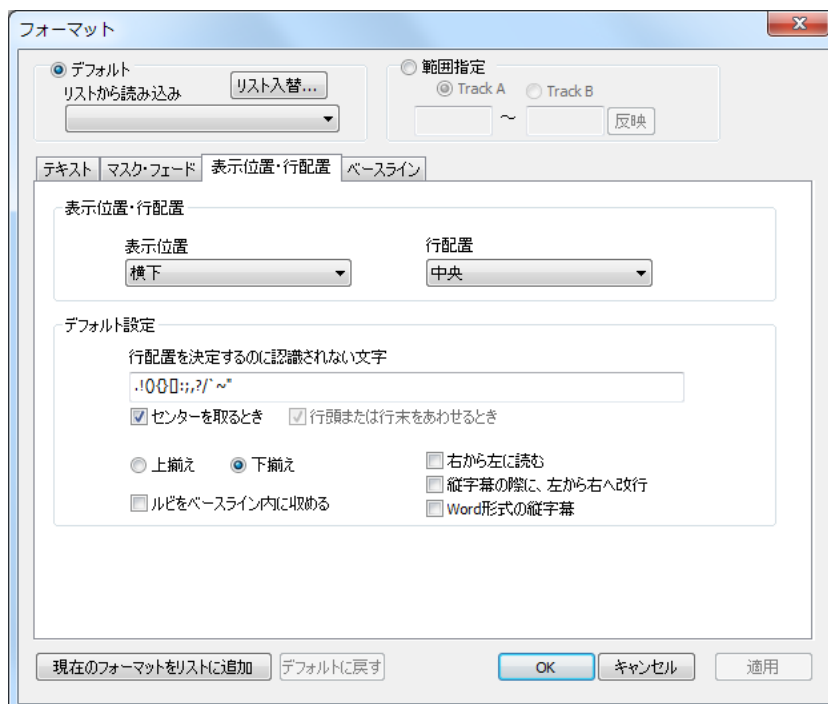
[マスク]や[フェード]の調整をします。



マスクとは・・・P.45 参照
フェードとは・・・P.44 参照
通常の場合は、「カット」といいます。

・表示位置・行配置の設定

[表示位置・行配置]や[デフォルト設定]の調整をします。



a. 行配置を決定するのに認識されない文字

頭揃えまたは中央揃えにする時に、文字として認識させたくない記号を登録することができます。

b. センターを取る時

チェックを入れると、字幕をセンタリングした時に登録した記号は認識されません。

c. 行頭または行末をあわせる時

チェックを入れると、行頭または行末をあわせる時に登録した記号は認識されません。

・チェックを入れた時



・チェックを外した時



d. 上揃え／下揃え

・上揃え：ベースラインより下に字幕が表示されます。

・下揃え：ベースラインより上に字幕が表示されます。

e. ルビをベースライン内に収める

チェックを入れると2行字幕などで下ルビを使用した場合、下ルビも含めてベースライン内に収まるよう自動的に字幕位置が上がります。

・CANVASs1000HD／CANVASs2000A をご使用になる場合は、各アプリケーションを2.0.1.12以上にアップデートしてください。

・Kanpake100はこの機能に対応できておりません。

f. 右から左に読む（アラビア語）に対応

字幕ウィンドウにアラビア語のテキストを貼り付けると表示されますが、直接入力する場合は、チェックを入れることにより字幕ウィンドウのレイアウトを右から入力できるようになります。

g. 縦字幕の際に左から右へ改行

チェックを入れると、縦字幕を改行した時に2行目が右側に改行されます。これによりモンゴル語の縦表示が可能になります。

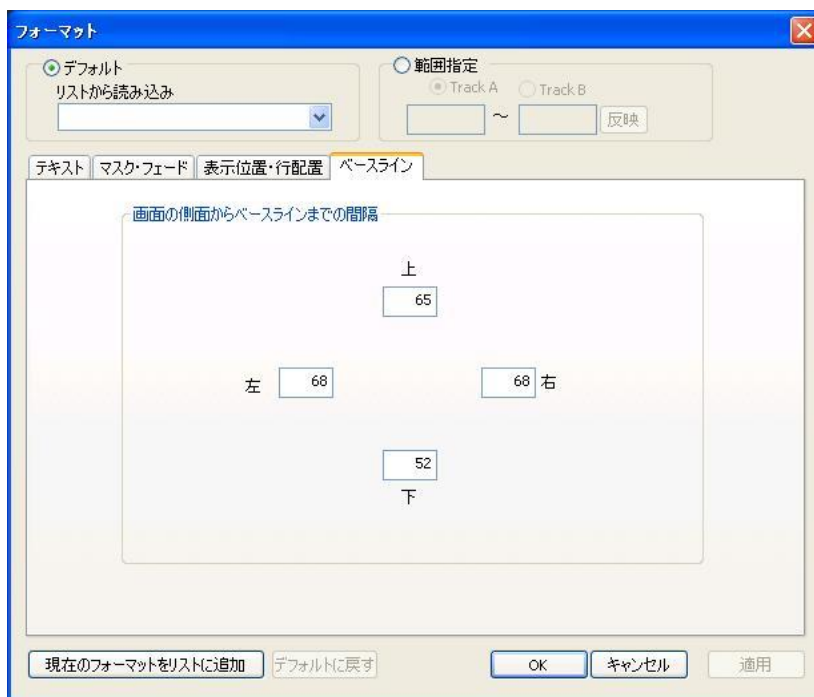
h. Word 形式の縦字幕

主にモンゴル語の表示で使用します。チェックを入れると縦字幕が下記のように表示されます。



・ベースラインの設定

ベースラインとは・・・映像の上下左右の端から字幕位置までの距離のことで、ピクセル単位で数値を入力します。

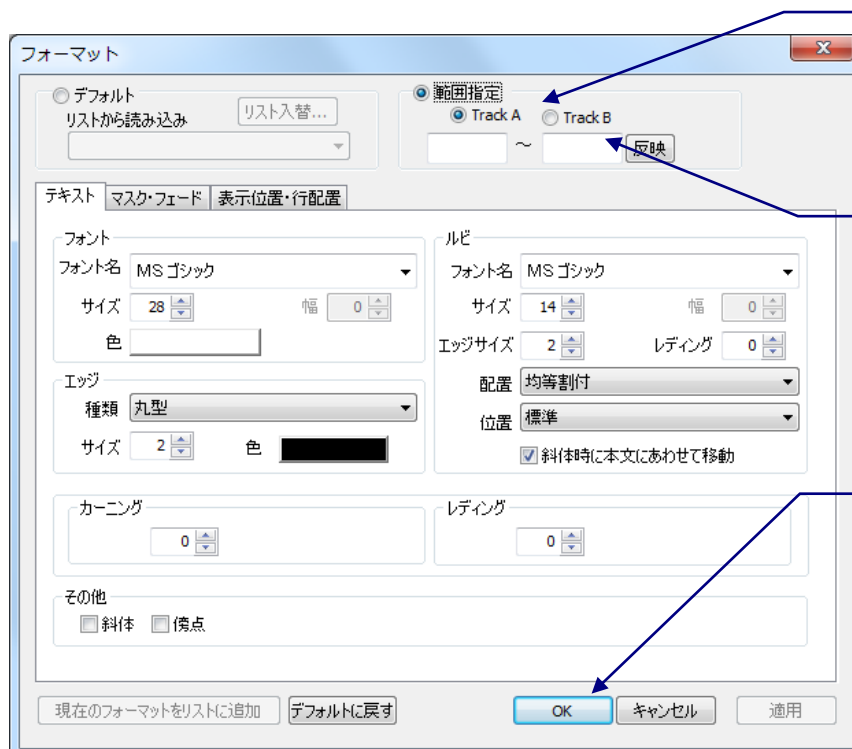


《フォーマットの設定（範囲設定）》

指定した範囲の字幕を一度にまとめてフォーマット設定することができます。

デフォルト設定に戻しても、範囲指定で設定したフォーマットは変更されません。

1. [設定] メニューの [フォーマット設定] をクリックします。



2. [フォーマット]画面の[範囲指定]にチェックを入れます。

3. 設定する範囲の最初と最後の字幕番号を入力し、[反映]をクリックします。

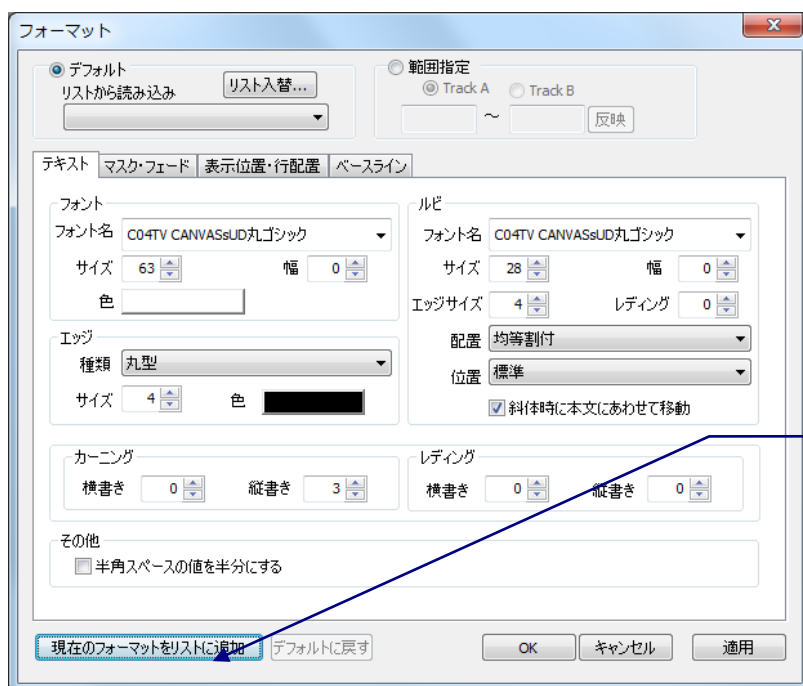
4. 必要な項目を設定します。

5. [OK]をクリックします。

《デフォルト・フォーマットリストの作成》

設定を行ったフォーマットを登録することができます。これによりリストから選択するだけで、毎回フォーマット設定する必要がありません。

1. [設定] メニューの [フォーマット設定] をクリックします。



2. 各種設定を行います。

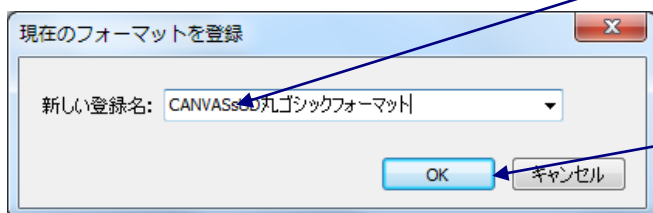
[テキスト]

[マスク・フェード]

[表示位置・行配置]

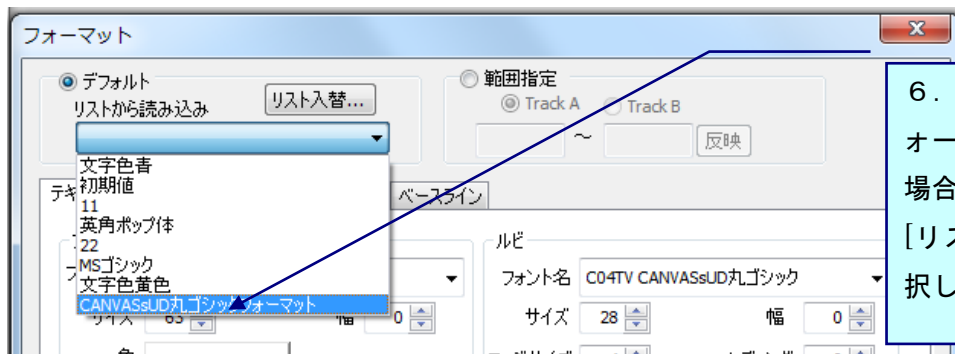
[ベースライン]

3. [現在のフォーマットをリストに追加] をクリックします。



4. フォーマット名を入力します。

5. [OK] をクリックします。

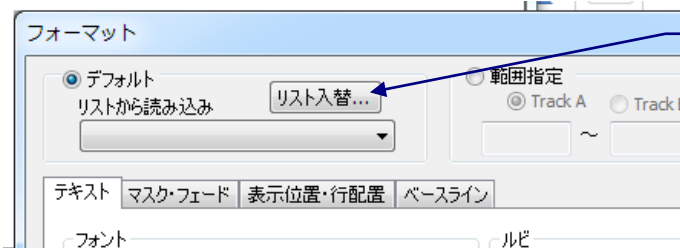


6. 登録したデフォルト・フォーマットリストを使用する場合は、[フォーマット]画面の[リストから読み込み]から選択し、[OK]をクリックします。

《フォーマットリストの入れ替え》

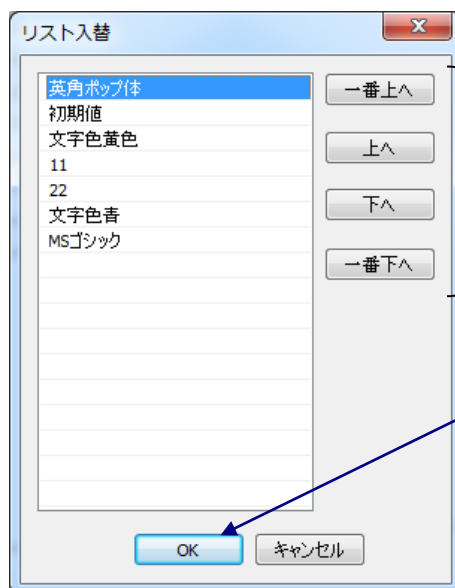
登録したフォーマットのリストの順番を入れ替えることができます。

1. [設定] メニューの [フォーマット設定] をクリックします。



2. [リスト入替]をクリックします。

3. リスト入替]画面が開きます。順番を入れ替えたいフォーマット名を選択します。



4. ボタンをクリックしてフォーマットの順番を入れ替えます。

5. [OK]ボタンをクリックします。

《デフォルト・フォーマットのインポート・エクスポート》



[設定] メニューの [デフォルト・フォーマット リスト] をクリックすると登録されているリストの一覧が出ます。

フォーマットを選択し、[エクスポート]をクリックすると、fmt ファイルとして出力することができます。また、[インポート]をクリックすると、fmt ファイルを取り込むことができるので、フォーマットを共有するのに便利です。



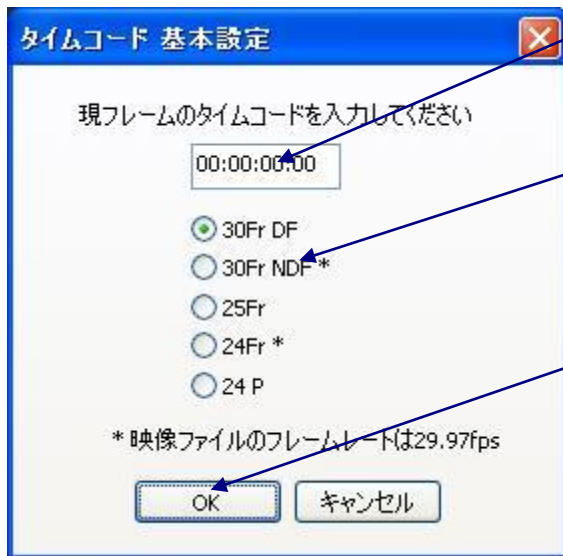
SST で作成したフォーマット (.zst) は読み込むことができません。

フォーマットを選択し、[リストから削除]をクリックするとリストから削除することができます。

《タイムコードの基本設定》

初めて映像ファイルを開き、作業に入る前は必ずタイムコードの調整を行います。

1. [設定] メニューの [映像とタイムコードの同期] をクリックし、メニューの[基本設定]を選択します。



2. 現フレームのタイムコードを入力します。

3. [フレームタイプ]を選択します。

4. [OK]をクリックします。

<使用する映像のフレームの種類>

- ・ 30Fr DF・・・ドロップフレーム(29.97fps/主にテレビ放送用映像)
- ・ 30Fr NDF・・・ノンドロップフレーム (30fps/DVD、ビデオ用映像)
- ・ 25Fr・・・PAL：主にヨーロッパや中国で使用されています。(25fps)
- ・ 24Fr・・・29.97Frのワーク映像を使用して24Frのスポッティング作業を行う際の設定です。
VHS テープからエンコードした素材など、2-3 プルダウンされた映像で24Frの作業を行う場合はすべてこの設定を使用します。(29.97fps)
- ・ 24p・・・2-3 プルダウンされていない、映像のフレームレートが23.98fpsや24Frのwmvファイルやmovファイル、MP4ファイルを使用してスポッティング作業を行う際の設定です。
(23.98fps/デジタルシネマ及び映画素材、24fps(P))

※23.976fpsのwmvファイルを利用して、SSTG1にて「24Fr」の設定で編集したsdbファイルについては、NetSSTG1で開いた際に、「このsdbファイルはSSTG1において、24Frで編集されています。NetSSTG1においては、24Pにフレームタイプ変換をして編集してください」というメッセージが出ます。その場合、フレームタイプ変換（次ページ参照）にて「24Fr」から「24P」へと変換してください。

《フレーム落ち情報の設定》

フレーム落ちとは、ビデオを MPEG-1 にエンコードする際に、1～2 フレーム取りこぼしが発生する現象のことです。フレーム落ちがあると、基本設定でタイムコードを合わせても、フレーム落ちしたところからタイムコードが合わなくなるので、調整が必要です。

1. [設定] メニューの [映像とタイムコードの同期] をクリックし、メニューの [フレーム落ち情報の設定] を選びます。



2. フレーム落ちした後のタイムコードを入力し、[OK] をクリックしてください。

⚠ フレームがダブっている場合は、1 フレームずつ上記の設定を行ってください。

《設定情報のクリア》

タイムコードの設定をキャンセルします。何度も [フレーム落ち情報の設定] が必要な映像で作業したプロジェクトファイルを新たな映像ファイルで開く時に使用します。

1. [設定] メニューの [映像とタイムコードの同期] をクリックし、メニューの [設定情報のクリア] を選びます。
2. [タイムコードをリセットします。よろしいですか?] という表示が出るので、[OK] をクリックします。
3. [OK] をクリックすると、映像が閉じるので、新たに映像を開く場合は、[ファイル] メニュー → [映像ファイルを開く] から開いてください。

《フレームタイプの変換》

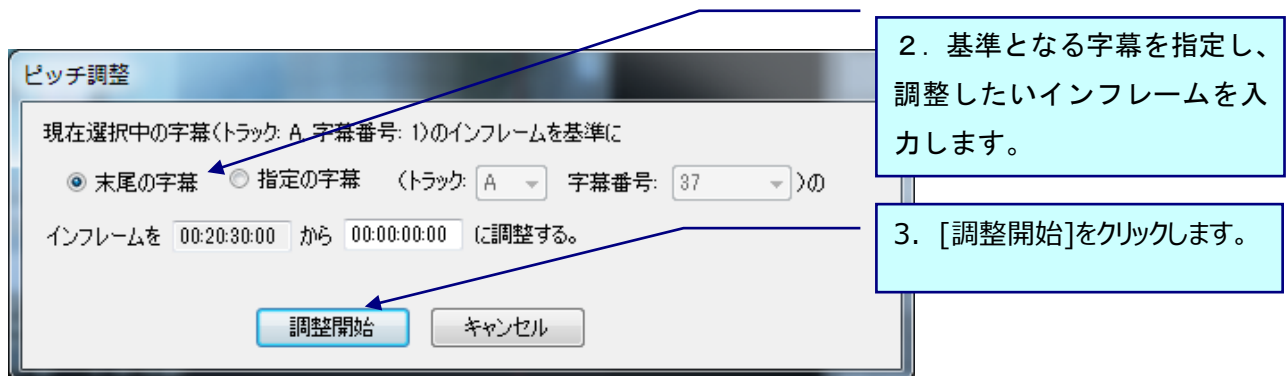
NTSC、PAL、24 フレームそれぞれへの変換をします。

1. [設定] メニューの [映像とタイムコードの同期] をクリックし、[フレームタイプ変換] を選びます。
2. タイムコードを入力し、フレームタイプを選択して、[OK] をクリックします。

《ピッチ調整》

以前作成した sdb ファイルで利用していたマスターテープと異なるマスターテープを利用する際に、タイムコードに微妙なずれが生じる場合があります。この場合、最初の字幕は正しくスポットされていてもその後徐々にタイミングがずれてきます。そのタイミングの微妙なずれを、手で一つ一つ修正すると手間になるため、全体的に一括で修正する機能がピッチ調整機能です。

1. [設定] メニューの [映像とタイムコードの同期] をクリックし、メニューの [ピッチ調整] を選びます。



選択中の字幕から、[末尾の字幕] もしくは [指定の字幕]の間でピッチ調整が行われ、字幕のタイミングが調整されます。

 基準となる選択中の字幕のインフレームが正しいタイムであることが前提となります。

《画面調整》

マスターテープの画角と目的モニタの解像度を調整します。画面調整解説については、次ページ参照。

1. [設定] メニューの [画面調整 (画角)] をクリックします。

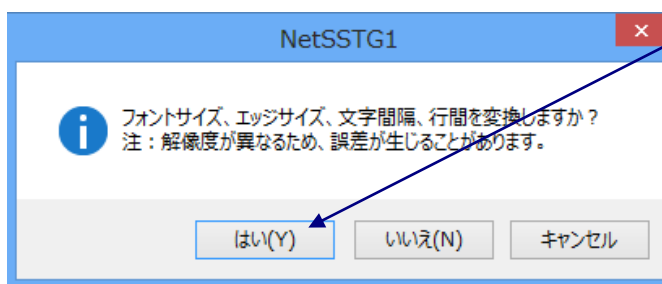
- ・ マスターテープ (映像素材) : 字幕制作用 (NetSST G1 に取り込む) のワークテープのことをさします。
- ・ 目的モニタ (出力対象) : 視聴者やユーザーが 4:3 モニタや 16:9 モニタでどのような画角で視聴できるかを意味します。



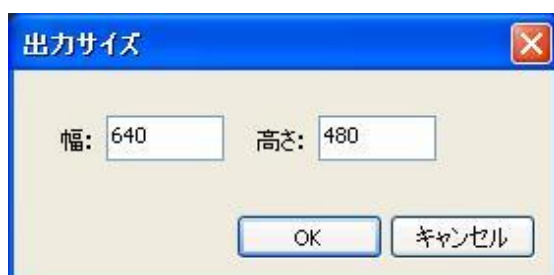
2. [マスターテープ (映像素材)] を選択します。

3. [目的モニタ (出力対象)] の選択を行います。

4. [OK] をクリックします。



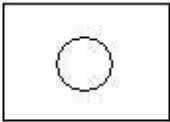
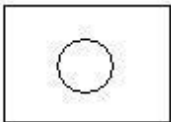
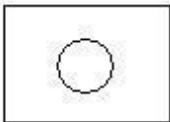
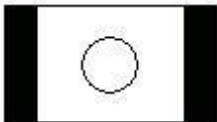
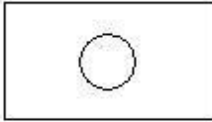
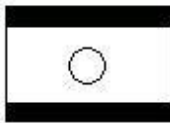
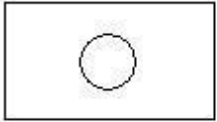
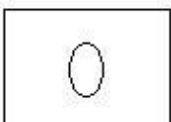
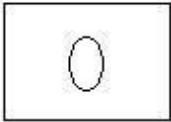
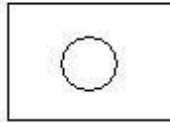
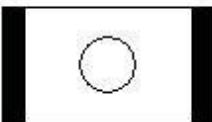
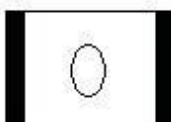
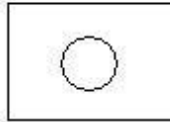
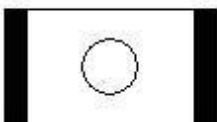
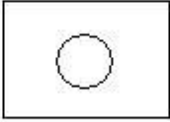
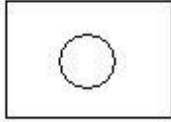
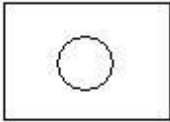
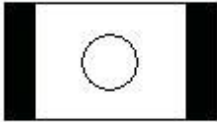
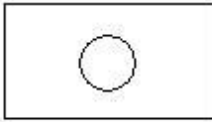
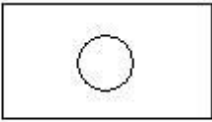
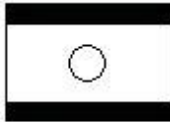
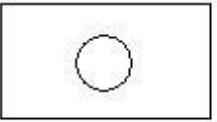
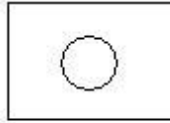
5. 変換をする場合は、[はい] を、変換しない場合は、[いいえ] を選択してください。



[目的モニタ (出力対象)] のリスト内にある「ユーザー定義サイズ」を選択すると図のような画面が表示され出力サイズを任意で入力することができます。

《NetSST G1 画像調整解説》

NetSST G1 で設定できる画像調整の一覧です。

オリジナル マスターテープ	SST G1(MPEG-1) 字幕ワーク映像		目的モニタ(出力対象) 4:3	目的モニタ(出力対象) 16:9
 4:3	 4:3	⇒		 サイドパネル追加
 16:9	 4:3レターボックス	⇒	 レターボックス	
	 4:3スクイーズ	⇒		
	 4:3スクイーズ	⇒	 エッジクロップ	
 16:9	 4:3サイドブラック	⇒	 エッジクロップ	
オリジナル マスターテープ	SST G1(WMV) 字幕ワーク映像		目的モニタ(出力対象) 4:3	目的モニタ(出力対象) 16:9
 4:3	 4:3	⇒		 サイドパネル追加
 16:9	 16:9	⇒	 レターボックス	 16:9
		⇒	 エッジクロップ	

- ・レターボックス：16:9の映像を4:3に変換した際の下に黒味がある表示形式です。
- ・スクイーズ：16:9の映像を4:3に変換した際に、左右が圧縮され縦長に表示される形式です
- ・エッジクロップ：サイドカットとも呼ばれます。

ユーザー設定

[設定] メニューの [ユーザー設定] をクリックします。

《ガイドラインの設定》

a. 字幕

i. 文字数（/秒）

このガイドラインにより、[最高文字数インジケータ]、[使用文字数インジケータ]、および[残り文字数インジケータ]に表示される数値が決定されます。このガイドラインの値を超えると、『テキストウィンドウ』に赤マークが表示されます。

[ルビも文字数に含む]のチェックボックスをオンにすると字幕数にルビの文字数も加えた数字になります。

ii. 文字数（/行）（横）

横字幕の文字数が、このガイドラインの値を超えると、『テキストウィンドウ』に黄マークが表示されます。

iii. 文字数（/行）（縦）

縦字幕の文字数が、このガイドラインの値を超えると、『テキストウィンドウ』に黄マークが表示されます。

b. タイムコード

i. 字幕表示時間

[警告] 設定された長さ以下のスポッティングは、『音声波形ウィンドウ』に赤く表示されます。

[強制] に設定された長さ以下のスポッティングは作成できません。

ii. 字幕の間隔

スポッティングとスポッティングの間隔が、[警告]された長さ以下だと赤いラインが表示されます。[強制] に設定された値より間隔を短くすることはできません。

最低間隔よりも短く間隔を設定するには、このガイドラインを調整する必要があります。ただし、再調整しても既存の字幕には影響はありません。

c. 数値による選択方法

『フォーマット設定』の[範囲指定]、『字幕削除』、『字幕番号の振り直し』、『テキストウィンドウ』の[番号]に入力する数字を、「字幕番号」とするか「インデックス番号」とするかを選択します。

インデックス

字幕番号

一行あたりの文字数

[字幕番号]を指定した場合、字幕番号を入力すると、該当する字幕に移動します。
[インデックス]を指定した場合はインデックス番号を入力してください。

d. ダーシとして指定する文字列

ダーシとして指定する文字列を4つまで登録可能です。登録できる文字列は4文字までです。

ダーシとは：

1つの字幕が「次の字幕に続く」ということを明確に示すための記号。

「ー」の長さが1.5倍になっているものである。（右図の赤丸）

ある企業が開発した
謎のディスクー

e. 字幕付与範囲

「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」を設定すると、映像ファイルが終了した後も設定時間分はスポッティング、波形上での in 点/out 点の調整、字幕移動等ができるようになります。

《画面表示の設定》

ユーザー設定

ガイドライン 画面表示 詳細 色 メンテナンス 言語 再生

ビデオウィンドウ

☒ セーフティエリアを表示する 横 80 % 縦 80 %

☒ 字幕数インジゲータを小数点で表示する

☐ グリッドを表示する

映像位置のオフセット 横位置 0 縦位置 0

フルスクリーン時

☐ 画面解像度を 800 × 600 に固定

マルチモニタの配置 ☒ 左 ☐ 右

字幕ウィンドウ / 台本ウィンドウ

フォント名 MS UI Gothic

フォントサイズ 13 1項目の高さ 40

最終チェック時のスペース文字と改行マークを置き換える文字

スペース _ 改行

☒ PgUp/PgDn時にカーソルを常に入力可能状態にしておく

☒ PgUp/PgDn時にトラックをまたいで移動する

☒ 縦字幕で記号等を自動カーニングする

☐ コメント欄をウィンドウ表示する

☒ 縦字幕中の組文字以外の登録文字を90度回転させて表示する 登録...

リスト操作

現在の設定をリストに追加

OK キャンセル 適用

a. ビデオウィンドウ

i. セーフティエリアを表示する

このチェックボックスにチェックが入っている場合、セーフティエリアが『ビデオウィンドウ』上に赤線が表示されます。%の入力値によって、セーフティエリアの表示位置が決まります。SD の場合、一般的には 80% に設定されることがほとんどです。

ii. 字幕数インジゲータを小数点で表示する

このチェックボックスにチェックが入っている場合、『テキストウィンドウ』にある文字数インジゲータの数字が小数点まで表示されます。

iii. グリッドを表示する

このチェックボックスにチェックが入っている場合、『ビデオウィンドウ』上にグリッドが表示されます。

iv. 映像のオフセットの設定

[横位置]と[縦位置]に数字を入力すると映像のオフセットができます。(エンコード時の水平・垂直の位置ずれを修正するのに使用します。エンコーダーの特性に合わせて調整してください。)

[横位置]: 数値を大きくすると左へ移動、マイナスの数値を入力すると右へ移動

[縦位置]: 数値を大きくすると上へ移動、マイナスの数値を入力すると下へ移動

v. フルスクリーン時

- ・画面解像度を 800 × 600 に固定

このチェックボックスにチェックが入っている場合、全画面表示にした時の画面解像度を 800×600 に固定します。

- ・マルチモニタの際の配置

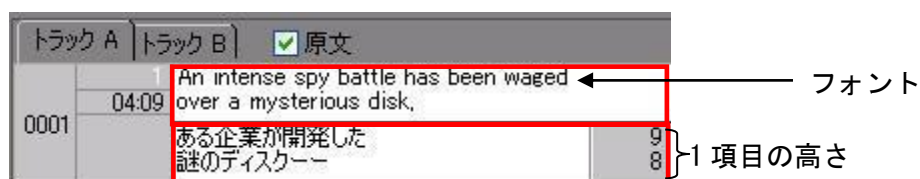
外部モニタを接続した場合、映像ウィンドウとテキストウィンドウを別々に表示できます。映像を左右のどちらに表示させるかを選択します。全画面表示ボタンを押すと画面が映像とテキストウィンドウに分割されます。

b. 字幕ウィンドウ

i. フォント名: 『テキストウィンドウ』に表示されているフォントの種類を指定することができます。

ii. フォントサイズ: 『テキストウィンドウ』に表示されているフォントサイズを指定することができます。

iii. 1 項目の高さ: 『テキストウィンドウ』に表示される『字幕ウィンドウ』、『原文ウィンドウ』、『コメント欄』の入力枠の高さを指定することができます。

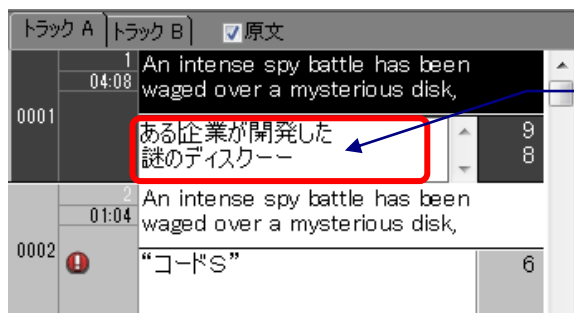


c. 最終チェック時のスペース文字と改行マークを置き換える文字

最終チェック機能にて、スペースと改行のチェックを行った際にエフェクトとして置き換えられる文字を設定することができます。

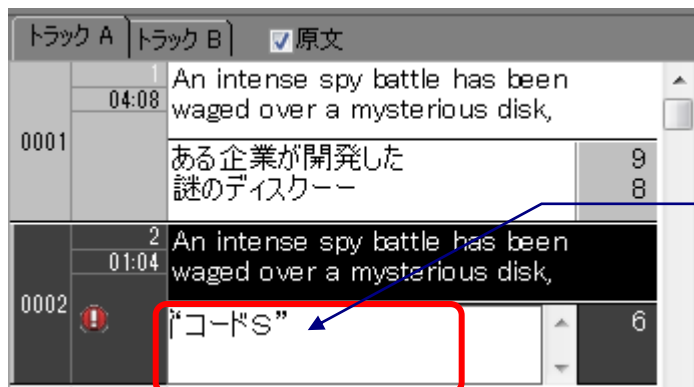
d. PgUp/PgDn時にカーソルを常に入力可能状態にしておく

このチェックの有無により、下図のように入力可能な状態で、Page Up/Page Down キーを押したときのカーソルの状態が異なります。



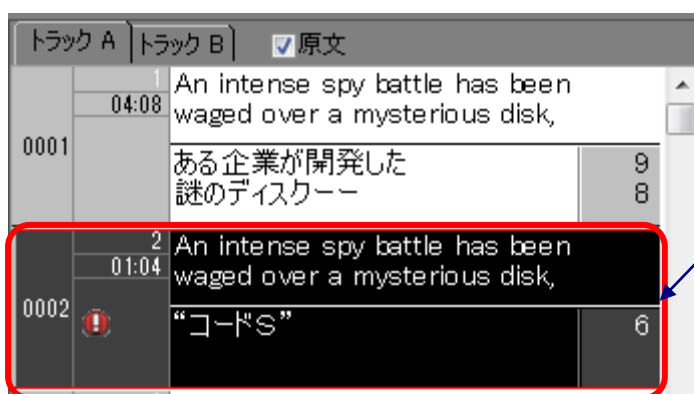
入力可能な状態で、Page Down キーを押す。

■ 「PgUp/PgDn 時にカーソルを常に入力可能状態にしておく」にチェックを入れた状態



入力可能な状態で下の字幕に移動する。

■ 「PgUp/PgDn 時にカーソルを常に入力可能状態にしておく」にチェックを入れない状態



下の字幕全体が選択された状態で移動する。

e. PgUp/PgDn時にトラックをまたいで移動する

このチェックを入れていないと、PageUp/PageDown を押した時に、トラックをまたいでタイムコード順に移動します。

f. 縦字幕で記号等を自動カーニングする

このチェックの有無により、ダブルクォーテーションなど一部の記号を、画像ファイル(tif、png など)で出力したときに見やすいように、プレビューウィンドウ上で自動的にカーニングを調整します。

■自動カーニングあり→

あ
つ
ま
り
か
は
”
デ
ィ
ス
ク
”
の
い
な
い

あ
つ
ま
り
か
は
”
デ
ィ
ス
ク
”
の
い
な
い

←■自動カーニングなし

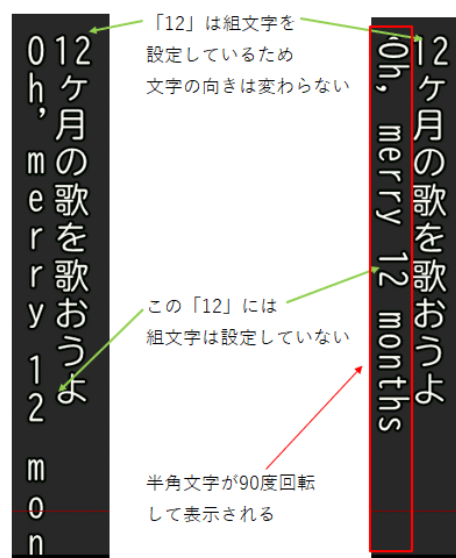
g. コメント欄をウィンドウ表示する

このチェックの有無により、コメントが別ウィンドウで表示されます。コメントウィンドウは常に最前面に表示されます。閉じるときは右上の「×」で閉じてください。

h. 縦字幕中の組文字以外の登録文字を90度回転させて表示する

リストに登録されている文字が 90 度回転した状態になります。回転させたい文字は同画面の[登録]ボタンから登録を行います。

[例]
半角英数字を登録している場合



<注意>

- ◆ユーザー設定画面にて、[現在の設定をリストに追加]を行うと、回転させたい登録文字もユーザー設定リストに保存されます。ユーザー設定リストに登録されている登録文字を変更した場合は、必ずユーザー設定画面でリストを上書き保存してください。
- ◆回転させる文字は sdb ファイルには保存されません。ユーザー設定に基づいて表示が変わりますので、sdb ファイルを受け渡して別の PC で開く際は、ユーザー設定をご確認いただくか、ユーザー設定も一緒にインポートしてご利用ください。
- ◆以下の文字は縦字幕の場合、自動的に回転や位置調整が行われるため登録はできません。
自動的に調整される文字：
「「{《【<«[[く『{[((<」} 》】>»]]> 』}]))> ”—— - ----～・・== “”

《詳細の設定》

a. 操作

i. 字幕再生の前後オフセット時間

スポットティング領域内を繰り返し再生する場合、設定したフレーム分前から再生し、設定したフレーム分後で停止します。

ii. キーボード←、→の押下判定時間 (ms)

←、→の矢印キーを長押し再生する場合の判定時間を設定します。

300 は 0.3 秒です。数値が大きくなると反応が遅くなります。

iii. キーボード←の 1 フレームシークを 1 フレーム再生とする

チェックを外すと、←矢印キー（1 フレーム巻き戻し）を押した時に音が出なくなります。

長押し再生の場合は、チェックの有無にかかわらず音は出ません。

iv. カーソルが字幕内にあるときのスペースキーの挙動

カーソルがスポットティング上にある状態でスペースキー押下時の再生について設定します。

現字幕再生：スポットティングの In 点から Out 点までを繰り返し再生します。

ビデオ再生：カーソルの位置から連続再生します。

v. 指定時間スキップ

本機能を利用するには[設定]－[ショートカットキー設定]の[ビデオ操作]タブにある「指定時間戻す」にショートカットキー設定を行って下さい。ショートカットキーを押すと指定の秒数分一気に戻ることができます。

「1/3」「1/2」秒はフレームレートの設定により、戻るフレーム数が異なります。

例) 30Fr DF のプロジェクトの場合

1/3 秒 → 10 フレーム戻る 1/2 秒 → 15 フレーム戻る

例) 24Fr で、「1/3」秒を設定した場合

タイムコードの 10 フレームではなくダブリコマを含んで 10 フレーム戻ります。

そのため、タイムコード上は 8 フレームだけ戻ります。

例) 25Fr の場合

1 秒を「1/3」「1/2」で割り切れないため、「1/3」で 9 フレーム、「1/2」で 13 フレーム戻ります。そのため「1/2」秒戻る設定で 2 回押した場合に、ちょうど 1 秒には戻らず 1 秒 1 フレーム戻ります。

同様に「1/3」戻る設定で 3 回押した場合には 1 秒 2 フレーム戻ります。

vi. 連続再生時の表示タイミング調整（次のプロジェクトから有効）

連続再生時に、字幕の表示タイミングをフレーム単位で早めるもしくは遅らせることができます。PC や映像ファイルによって、データ上では正しく In 点と Out 点を取っているのに、連続再生時の表示に差がありずれているように見えるときに調整を行います。本機能は PC ごとの個性が多分に絡んでくるため、利用方法サポート以外のサポート対象外とさせていただきます。

b. 波形データ

音声をステレオもしくは L/R のどちらか片チャンネルを選択できる機能です。

新規の映像を取り込む前に[ステレオで生成する]にチェックを入れて波形を生成すると、後で波形の表示を「L Only」又は「R Only」に切りかえることができます。

[ステレオで生成する]のチェックを入れずに波形を生成した場合は L/R の切りかえができません。

c. 24Pで音声のみのファイルを指定した際のフレームレート

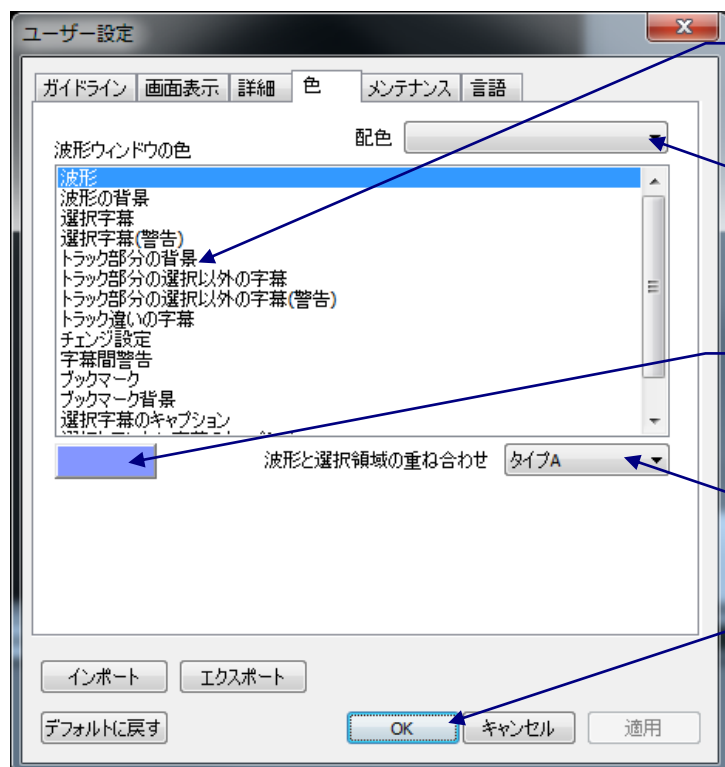
映像が無く音声のみの 24P ファイルでスポッティング作業をする場合、あらかじめ [23.976]か[24.000]のいずれかを指定してください。

d. プロジェクトファイルを開いたとき、映像ファイルを開く

過去に映像を開いた状態でプロジェクトファイルを保存していた場合、次を開くときに自動で開いていた映像ファイルが開きます。

《色の設定》

メニューに表示されている項目に関して、色の選択ができます。



1. 色を変更したい項目をクリックします。

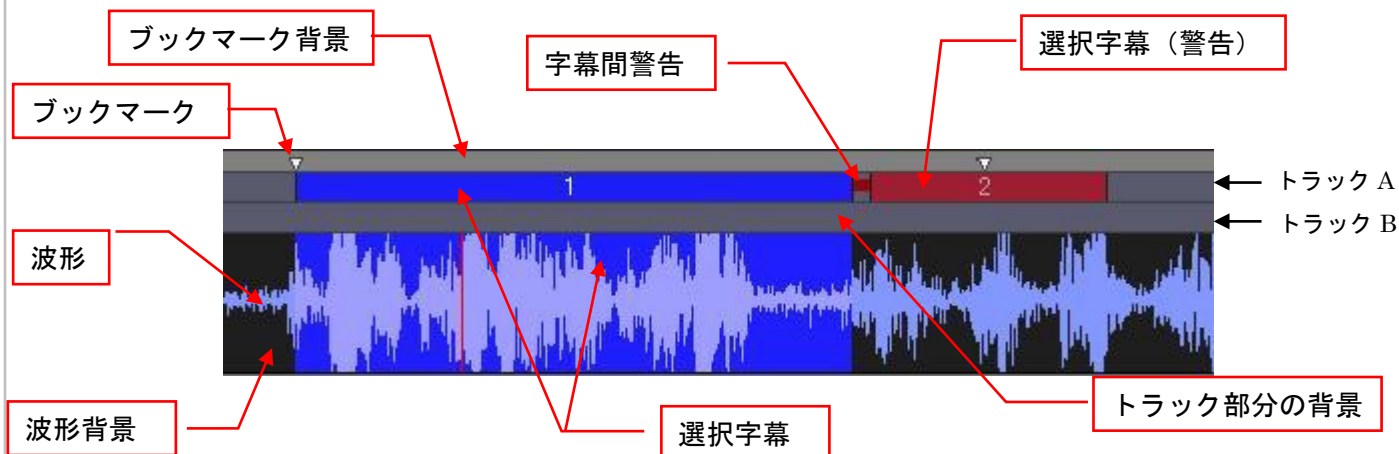
配色パターンを選択できます。

2. 色を選択します。

重ね合わせのタイプを選びます。

3. [OK]をクリックします。

a. 波形ウィンドウの色



i. トラック部分の選択以外の字幕：現トラックにある選択されていない字幕の色。

ii. トラック部分の選択以外の字幕（警告）：現トラックにある選択されていない字幕で警告が出ている場合の色。

iii. トラック違いの字幕：トラック A 選択時のトラック B の字幕の色。もしくはその逆。

- iv. チェンジ設定：字幕間が0の時の字幕と字幕の間のトラック色。ただし、音声波形の幅が水平 200%以上でないと見えません。

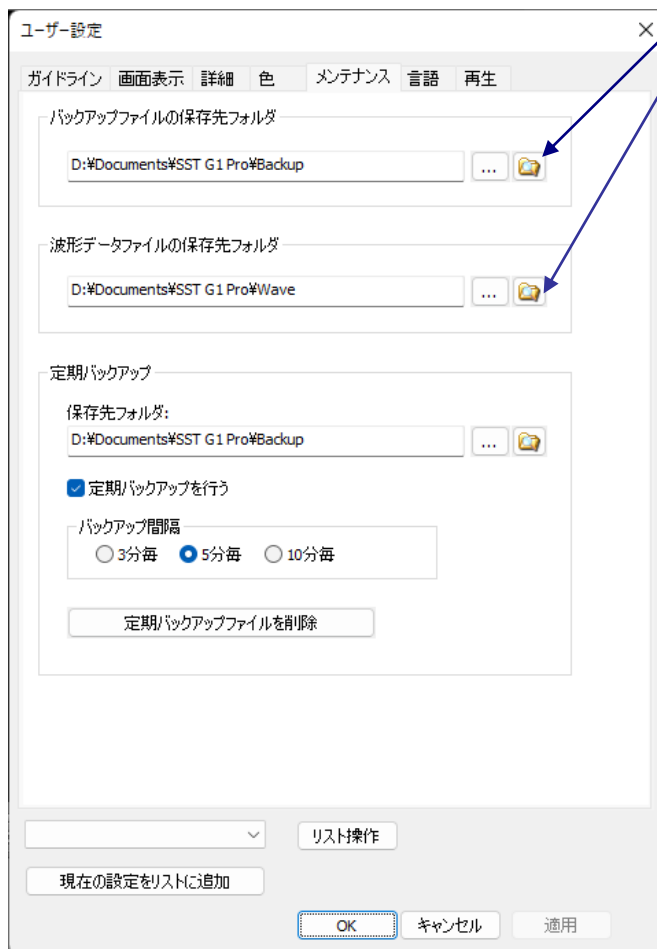
音声波形の右下の数値を参照してください。

水平 200.00% 垂直 100.00% SCRL

- b. 波形と選択領域の重ね合わせ

『音声波形ウィンドウ』にスポッティング領域を表示させる際に、波形の背景・波形の色とスポッティング領域の色の合成方法を 3 パターンから選択できます。

《メンテナンスの設定》



エクスプローラーを開き、消
したいものを削除します。

不要になったバックアップフ
ァイルは定期的に消去するこ
とをお勧めします。

a. バックアップファイルの保存先フォルダ

i. バックアップファイルの消去



[エクスプローラーを開く]ボタンをクリックし、バックアップファイル（.sdb）が保存さ
れているフォルダより削除できます。

ii. バックアップファイルの保存先



パスを指定するとバックアップファイルの保存先を指定することができます。

b. 波形データファイルの保存先フォルダ

i. 音声波形データファイルの消去



[エクスプローラーを開く]ボタンをクリックし、音声波形データファイル（.WAV）が保
存されているフォルダより削除できます。

ii. 音声波形データの保存先



パスを指定すると音声波形データファイルの保存先を指定することができます。

c. 定期バックアップ

i. 定期バックアップを行う



ボタンをクリックし、バックアップファイルファイル（.SDBB）の保存先フォルダを指定できます。「定期バックアップを行う」にチェックを入れていた場合、指定した時間ごとにバックアップファイルが作成されます。設定は、設定後にソフトを再起動させると適用されます。

ii. バックアップの復旧



[エクスプローラーを開く]ボタンをクリックし、バックアップファイルの保存先フォルダを開きます。「バックアップ間隔」で設定した分毎に下記ファイル名のバックアップファイルが「保存先フォルダ」で設定したフォルダに自動保存されます。

定期バックアップファイル名

元の sdb ファイル名 + _rcv + 開いているウィンドウの番号(.sdbb)

CodeS_FullHD.sdb - CANVASs SSTG1 Pro 字幕制作システム (2)

無題 - CANVASs SSTG1 Pro 字幕制作システム (1)

世界の動物#1.sdb - CANVASs SSTG1 Pro 字幕制作システム (0)



CodeS_FullHD_rcv2.sdbb
NewTitle_rcv1.sdbb
世界の動物#1_rcv0.sdbb

※「名前を付けて保存」をせず「無題」のファイルは「NewTitle」として保存されます。

例) 「CodeS」を3番目のウィンドウで開いていた場合

→開いているウィンドウの番号は(0)から始まるため、3番目に開いているウィンドウにはヘッダーに(2)と番号がつきます。

CodeS.sdb - CANVASs SSTG1 Pro 字幕制作システム (2)



CodeS_rcv2.sdbb

※定期バックアップファイルは一つの sdb ファイルに対して一つしか作成されず、設定した分毎に上書きされていきます。従来のバックアップ機能のように履歴を保存することはできません。

※前回の定期バックアップ時から sdb ファイルに変更がない場合、定期バックアップファイルの上書き保存は行われません。

<定期バックアップファイルの復元方法>

バックアップ保存先フォルダから定期バックアップファイルを任意の場所にコピーし、ファイル拡張子を「.sdb」に変更してください。詳細な手順は下記のとおりです。

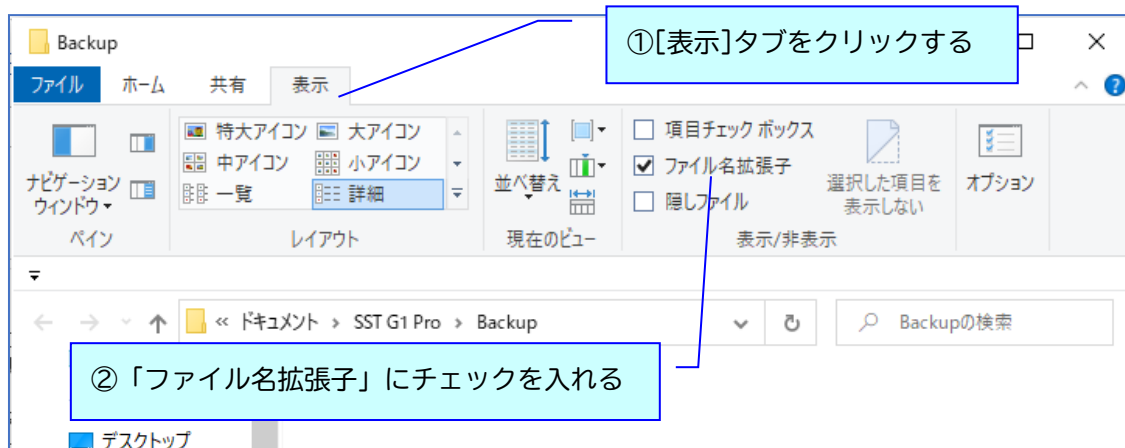
1) バックアップファイルの保存先フォルダを開く

[設定]－[ユーザー設定] [メンテナンス]タブの「定期バックアップ」－「保存先フォルダ」

 [エクスプローラーを開く] ボタンをクリックし、保存先フォルダを開きます。

2) 拡張子を表示させる（すでに表示させている場合は不要です）

バックアップファイルを復元するには拡張子（ファイルの種類を識別するためにファイル名の末尾につけられる、（ドット）の後ろの文字列）を変更する必要があります。拡張子を非表示にしている場合、以下の手順で拡張子を表示させてください。



「ファイル名拡張子」にチェックを入れると、ファイル名の後ろに
。（ドット）とアルファベットの文字列が表示されます。

例えば sdb ファイルの拡張子を表示させた場合、右のように
ファイル名の後ろに「.sdb」が表示されます。

<拡張子なし>

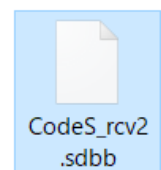
<拡張子あり>



3) 定期バックアップファイルをコピーする

復元したい定期バックアップファイル「元の sdb ファイル名_rcv ウィンドウ番号.sdbb」
を任意の場所にコピーします。

定期バックアップファイルは右のように、白抜きアイコンのファイルです。

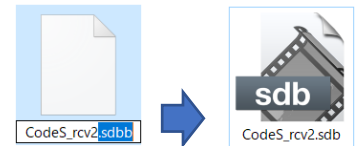


4) 拡張子を変更する

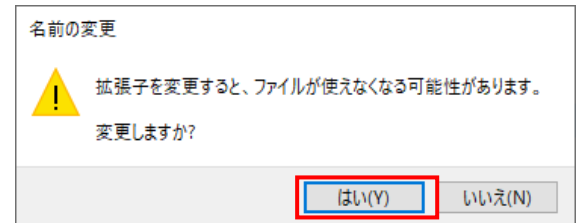
任意の場所にコピーした定期バックアップファイルを右クリックし、「名前の変更」を選択します。

ファイル名の後ろにある拡張子「.sdbb」の「b」をひとつ削除し、拡張子を「.sdb」に変更します。

変更時に「拡張子を変更すると、ファイルが使えなくなる可能性があります。変更しますか？」とメッセージが出た場合は「はい」を選択してください。



拡張子を「.sdb」に変更すると、通常の sdb ファイルとなり、SSTG1 シリーズで開くことができるようになります。

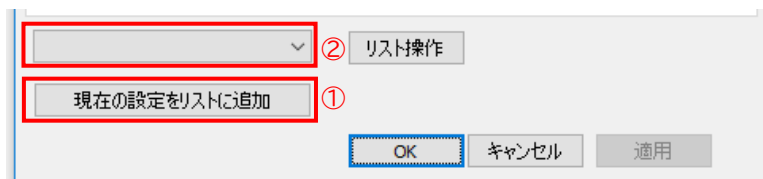


※ファイル名は任意の名前に変更してかまいません。

ユーザー設定のリスト追加機能(①)では[メンテナンス]タブの内容は登録の対象外です。

バックアップ機能の設定もリストに登録はされません。

また、リストを変更(②)しても、[メンテナンス]タブの内容は変わりません。



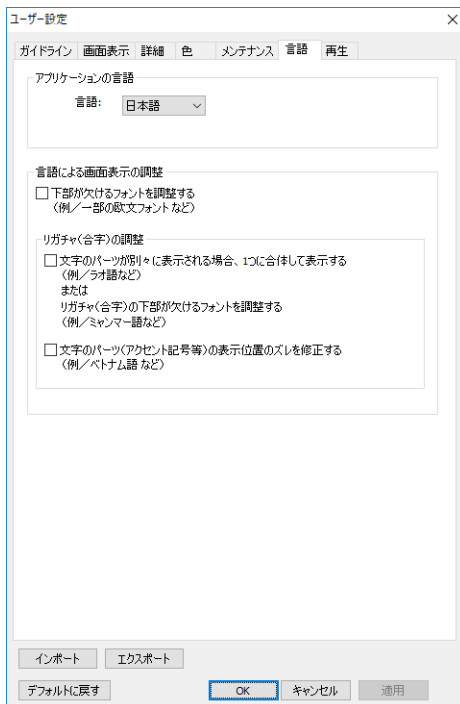
iii. 定期バックアップファイルを削除

クリックすると、定期バックアップの保存先フォルダに指定したフォルダ内にあるすべての.sdbbファイル（定期バックアップファイル）が削除されます。

※従来のバックアップファイル（.sdb形式）など、他のファイルは削除されません。

※保存先フォルダを変更した場合、「適用」を押下しないと削除ボタンがアクティブになりません。

《言語》



a. アプリケーションの言語

表示する言語の選択ができます。言語の変更を有効にするためには、一度アプリケーションを閉じて、再度起動する必要があります。

b. 言語による画面表示の調整

画面ウィンドウ上で正しく表示できない一部の多言語フォント（ベトナム語、ラオス語、ミャンマー語 など）を正しく表示します。

※Unicode 対応のフォントにて検証を行っております。フォントによっては正しく表示されないことがございます。

※ミャンマー語のフォントは、独自コードで作成されており Unicode 対応していないフォントが多いため、正しく表示されないことがあります。独自コードで作成された字幕は、そのコードに対応したフォントを設定してください。

- i. 下部が欠けるフォントを調整する（例／一部の欧文フォントなど）
- ii. 文字のパーツが別々に表示される場合、1 つに合体して表示する（例／ラオ語など）
またはリガチャ（合字）の下部が欠けるフォントを調整する（例／ミャンマー語など）
- iii. 文字のパーツ（アクセント記号等）の表示位置のズレを修正する（例／ベトナム語など）



多言語フォントを使用しないとき（日本語や英語フォントなどを使用するとき）は全てのチェックを必ず外してください。チェックが入っていると、斜体などのフォーマットが正しく表示できません。

■ベトナム語

表示



ユーザー設定

言語による画面表示の調整

☐ 下部が欠けるフォントを調整する
(例／一部の欧文フォント など)

リガチャ(合字)の調整

☐ 文字のパーツが別々に表示される場合、1つに合体して表示する
(例／ラオ語など)
または
リガチャ(合字)の下部が欠けるフォントを調整する
(例／ミャンマー語など)

☒ 文字のパーツ(アクセント記号等)の表示位置のズレを修正する
(例／ベトナム語 など)

■ラオス語

表示



ユーザー設定

言語による画面表示の調整

☐ 下部が欠けるフォントを調整する
(例／一部の欧文フォント など)

リガチャ(合字)の調整

☒ 文字のパーツが別々に表示される場合、1つに合体して表示する
(例／ラオ語など)
または
リガチャ(合字)の下部が欠けるフォントを調整する
(例／ミャンマー語など)

☐ 文字のパーツ(アクセント記号等)の表示位置のズレを修正する
(例／ベトナム語 など)

■ミャンマー語

表示



ユーザー設定

言語による画面表示の調整

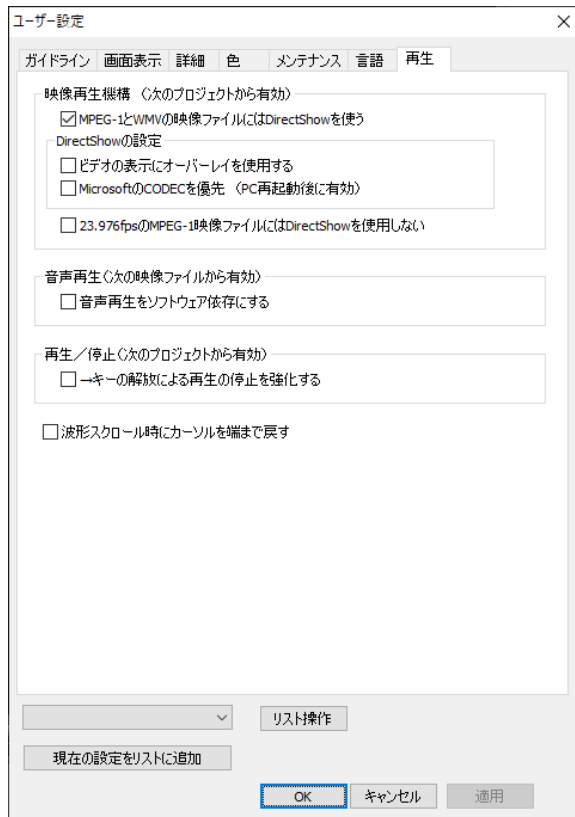
☒ 下部が欠けるフォントを調整する
(例／一部の欧文フォント など)

リガチャ(合字)の調整

☒ 文字のパーツが別々に表示される場合、1つに合体して表示する
(例／ラオ語など)
または
リガチャ(合字)の下部が欠けるフォントを調整する
(例／ミャンマー語など)

☐ 文字のパーツ(アクセント記号等)の表示位置のズレを修正する
(例／ベトナム語 など)

《再生》



a. 映像再生機構 (次のプロジェクトから有効)

i. MPEG-1とWMVの映像ファイルにはDirectShowを使う

映像の再生にDirectShowを使用します。映像再生が旧SSTG1と同じ挙動 (SSTG1モード) になります。「DirectShowを使う」を有効にするためには、一度アプリケーションを閉じて、再度起動する必要があります。

ii. ビデオの表示にオーバーレイを使用する

オーバーレイに対応しているパソコンを使用している場合、オーバーレイを使用することで動画再生時の負荷を軽減し、スムーズな再生ができるようになる機能です。波形生成、映像再生等の不具合があった場合にはチェックをつけてみてください。

iii. Microsoft の CODEC を優先

波形生成、映像再生等の不具合があった場合にはチェックをつけてみてください。

iv. 23.976fps の MPEG-1 映像ファイルには DirectShow を使用しない

23.976fps の MPEG-1 を開いた際は、SSTG1 モードではなく新再生モードを使用します。

b. 音声再生 (次の映像ファイルから有効)

音声再生をソフトウェアに依存する

Windows10 の PC において、1 フレーム再生時と通常再生開始時にノイズが発生することがある場合にチェックをつけてみてください。

c. 再生／停止（次のプロジェクトから有効）

→キーの解放による再生の停止を強化する

PCによって、再生時やスポッティング時に停止が効かないことがあります。その場合にこのチェックを入れると停止を強化します。

d. 波形スクロール時にカーソルを端まで戻す

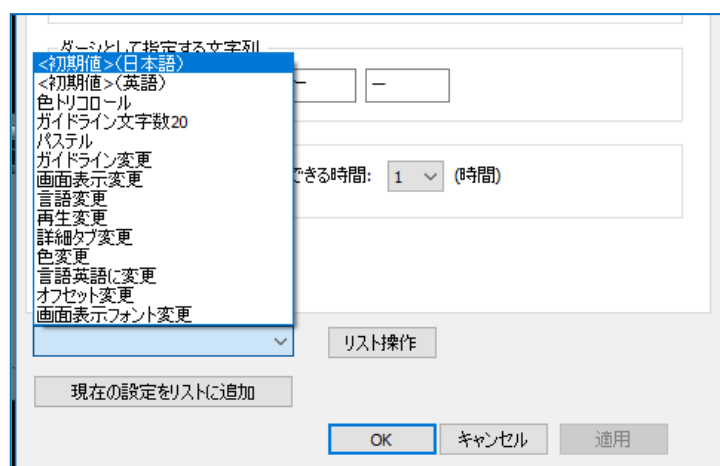
このチェックを入れると、再生などで波形上のカーソルが右端まで進んだ後、中央ではなく左端に戻ります。逆再生の場合は左端まで進んだ後、右端に戻ります。

○表示の説明



《現在の設定をリストに追加》

変更したユーザー設定は、左下の[現在の設定をリストに追加]からリスト登録することが可能です。
登録したユーザー設定は、左下のリスト名のプルダウンから選択可能です。



※「<初期値>（日本語）」と「<初期値>（英語）」は変更・削除ができません。

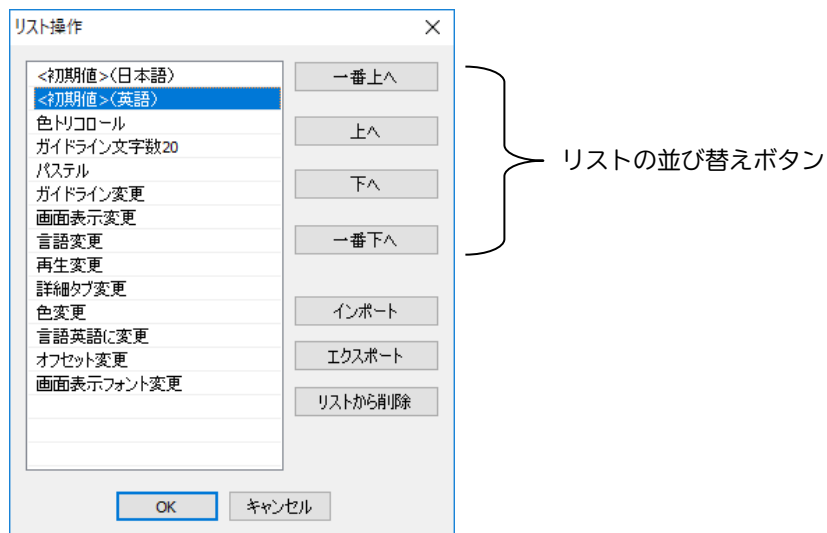
<初期値>（日本語）：従来の[デフォルトに戻す]ボタンを押した際の設定値です。

<初期値>（英語）：[言語]タブが「英語」に設定されます。それ以外は従来の[デフォルトに戻す]ボタンを押した際の設定値です。

※メンテナンスタブはリストに保存されないため、変更する場合はユーザー設定画面から手動で変更してください。

《リスト操作》

ユーザー設定画面から[リスト操作]をクリックします。

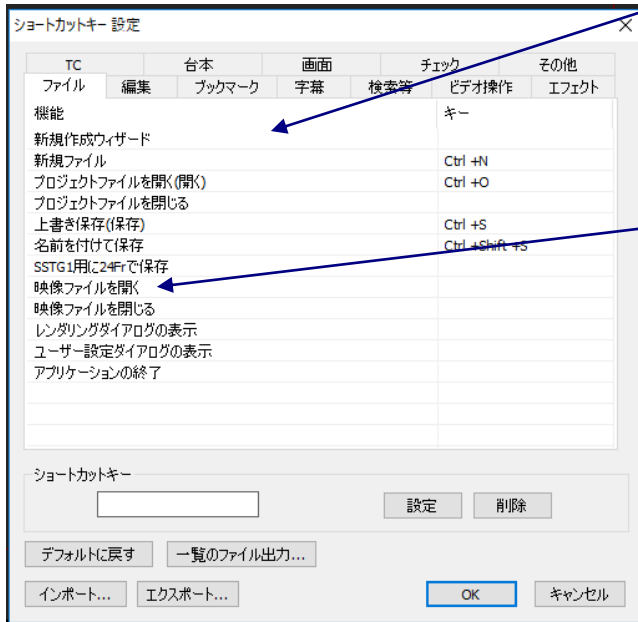


[インポート]：ユーザー設定のファイルをインポートします。[メンテナンス]タブは対象外です。
[エクスポート]：選択しているユーザー設定をファイルにエクスポートします。[メンテナンス]タブは対象外です。

[リストから削除]：選択しているユーザー設定をリストから削除します。<初期値>（<initial setting>）は削除できません。

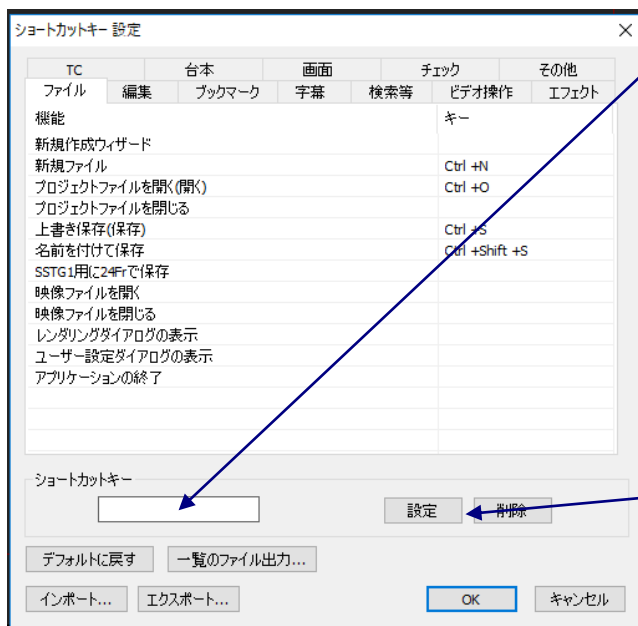
《ショートカットキーの設定》

1. [設定] メニューの [ショートカットキー設定] をクリックします。



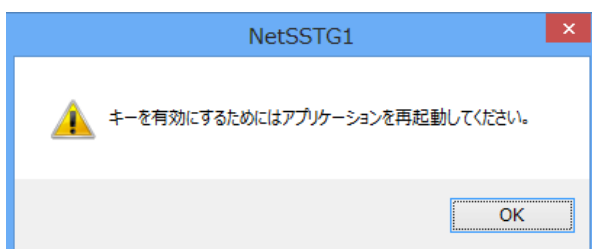
2. カテゴリごとに分かれているので、該当のカテゴリのタブを選択します。

3. 選択したカテゴリのリストから設定する項目を選択します。



4. 現状のショートカットキーが表示されますが、登録が無い場合は空白です。設定したいキーを押すとボックス内に反映されます。

5. ショートカットキーを変更する、または新規登録する場合は、[ショートカットキー]のボックス内に新しいキーを入力し、[設定]ボタンをクリックします。



6. ショートカットキーを有効にするためには、NetSST G1 を再起動してください。

<ショートカットキーで設定可能な組み合わせ>

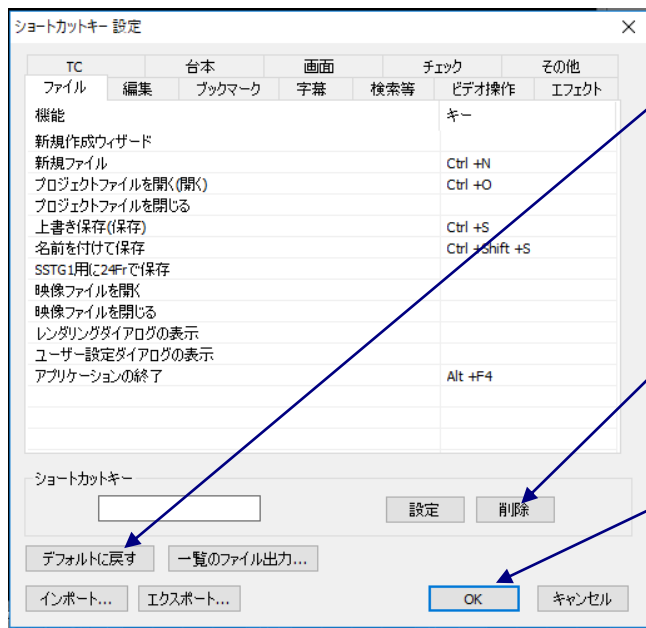
- ・単独キー : F2 ~ F12
- ・組み合わせ : Ctrl + 任意のキー
Alt + 任意のキー
Shift + 任意のキー
Ctrl + Alt + 任意のキー
Ctrl + Shift + 任意のキー
Shift + Alt + 任意のキー

※Home キーと End キーの単独キー、組み合わせは設定できません。

※Page Up、Page Down の単独キーは設定できません。

※Ctrl + Page Up、Ctrl + Page Down は設定できません。

《ショートカットキーをデフォルトに戻す／削除する》



すべてのショートカットキーをデフォルトの状態に戻す場合は[デフォルトに戻す]ボタンをクリックします。

ショートカットキーを削除する場合は[削除]ボタンをクリックします。

[OK]をクリックします。

NetSST G1 を再起動してください。

《ショートカットキー設定のインポート・エクスポート》

[エクスポート]をクリックすると、txt ファイルとしてショートカットキー設定を出力することができます。また、[インポート]をクリックすると、txt ファイルを取り込むことができるので、ショートカットキー設定を共有するのに便利です。

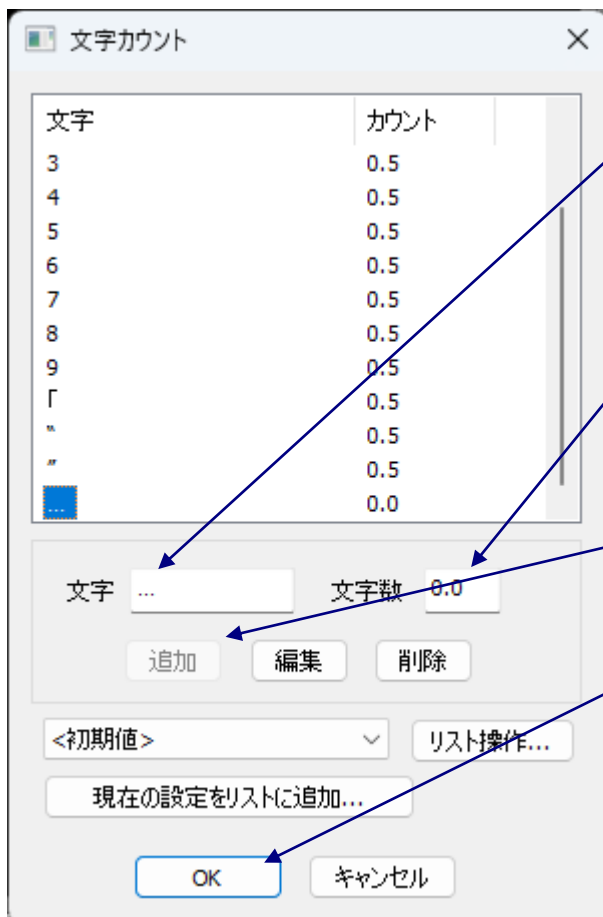
また、[一覧のファイル出力]では、現在設定されているショートカットキーの一覧を csv ファイルで出力できます。

《文字カウント》

字幕の使用文字数のカウント方法を文字ごとに設定できます。

《文字カウントの登録》

1. [設定] メニューの [文字カウント] をクリックします。



2. 新規登録したい文字を入力するか、変更したい文字をリストから選択します。

3. カウント数を入力します。

4. 新規登録の場合は[追加]を、変更の場合は[編集]、削除する場合は[削除]をクリックします。

5. [OK]をクリックします。

《文字カウントのリスト登録》

文字	カウント
0	0.5
1	0.5
2	0.5
3	0.5
4	0.5
5	0.5
6	0.5
7	0.5
8	0.5
9	0.5
「	0.5
”	0.5
”	0.5
...	0.0
!	0.5
?	0.5

文字 ? 文字数 0.5

追加 編集 削除

記号入り ▼ リスト操作...

現在の設定をリストに追加...

OK キャンセル

1. 追加・削除したい文字を登録します。

2. [現在の設定をリストに追加]をクリックします。

3. 登録名を入力して[OK]をクリックすると、その名前でリスト登録されます。既存のリストを上書きしたい場合は、プルダウンから上書きしたいリスト名を選択してから[OK]をクリックしてください。

設定を登録

新しい登録名: アルファベット ▼

OK キャンセル

文字 ? 文字数 0.5

追加 編集 削除

アルファベット ▼ リスト操作...

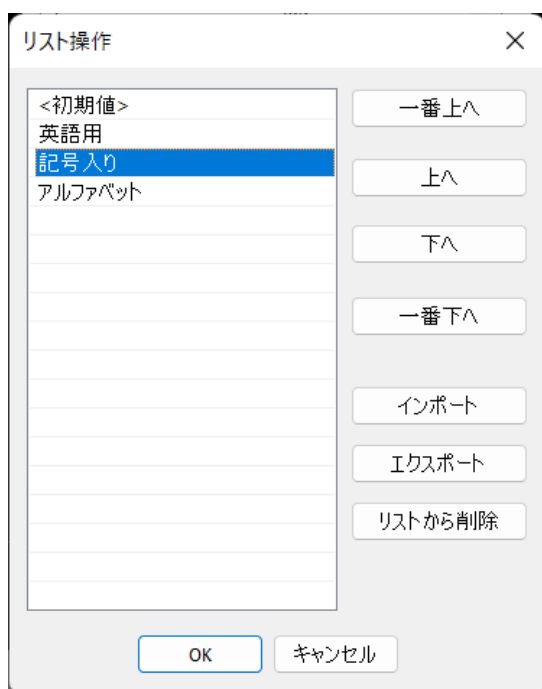
<初期値>
英語用
記号入り
アルファベット

OK キャンセル

4. 登録したリストがプルダウンから選択できるようになります。

《文字カウントのインポート・エクスポート》

1. [リスト操作]をクリックし、リスト操作画面を開きます。

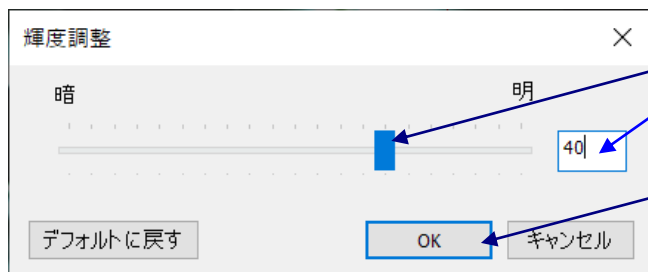


[エクスポート]をクリックすると、文字カウントを txt ファイルに出力することができます。出力した txt ファイルは[インポート]をクリックすると取り込むことができるので、共有するのに便利です。

※リストを登録や削除・インポート後、文字カウントウィンドウを[OK]以外で閉じてしまうと操作がキャンセルされ、リストに反映されません。反映するには必ず[OK]で閉じるようにしてください。

《輝度設定》

新再生モードにおいて、輝度（映像の明るさ）が調整できるようになります。



1. ツマミまたは数字入力で輝度を調整します。

2. [OK]をクリックします。

※数値に「0」を入力すると元の映像の輝度に戻ります。

※数値は-100 から 100 まで入力可能です。数値が低いほど暗く、高いほど明るくなります。

《再生速度x2.0で音声の高さを維持》

新再生モードにおいて、倍速再生時にピッチを維持し、音声認識できるようになります。デフォルトではチェックが入った状態です。

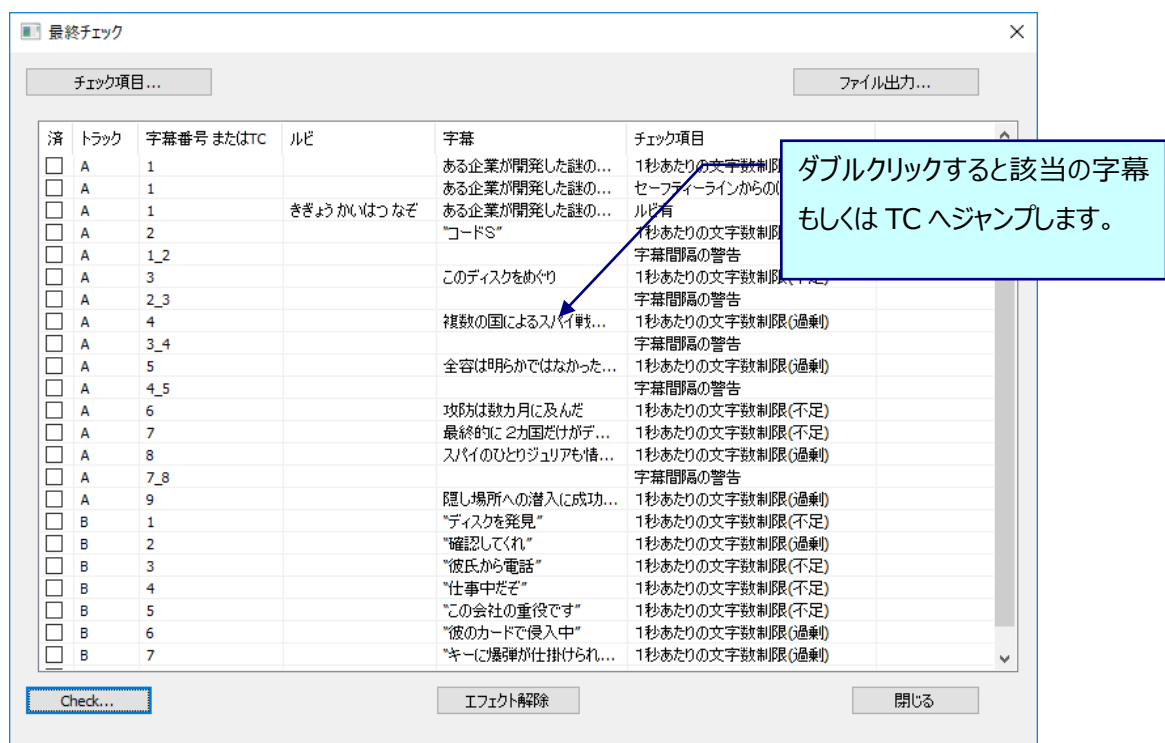
チェックメニュー

《最終チェック》

納品前に、エラー箇所を瞬時に把握するための機能です。

1. [チェック] メニューの[最終チェック] をクリックします。sdb ファイルを保存してからでないとクリックできませんのでご注意ください。
2. [チェック項目]にて設定した最終チェックの結果が表示されます。

○最終チェック画面



[チェック項目] …チェックしたい項目を指定します。（○チェック項目フィルター画面参照）

[ファイル出力] …チェック内容を csv 形式で出力します。

[Check] …チェック項目で選択した内容でチェックをします。

[エフェクト解除]…チェックで表示されたエフェクト（文字色、記号など）を解除します。

○チェック項目フィルター画面

最終チェック画面の[チェック項目]ボタンをクリックします。

・最終チェック項目詳細（★は字幕 BOX にエフェクトあり）

チェックする項目	チェック内容	備考
1 秒あたりの文字数制限(過剰)	最高文字数（ユーザー設定の「文字数(/秒)」×デューレーションの 用できる文字数）より、○文字オーバーしている。	設定可能範囲は 0～10
1 秒あたりの文字数制限(不足)	最高文字数（ユーザー設定の「文字数(/秒)」×デューレーションの 用できる文字数）より、○文字不足している。	設定可能範囲は 0～9.5
行頭行末にスペースあり（★）	行頭もしくは行末にスペースがある。	
スポッティングのみの字幕	スポッティングのみの空の字幕が存在する。	
横字幕の設定文字数オーバー	横字幕がユーザー設定の「文字数(/行)(横)」の1行あたりの文字数 よりオーバーしている。	
縦字幕の設定文字数オーバー	縦字幕がユーザー設定の「文字数(/行)(縦)」の1行あたりの文字数 よりオーバーしている。	組み文字は 1 文 字としてカウ ント
文頭文末に改行あり（★）	文頭もしくは文末に改行がある。	
チェックワード（★）	チェックワードに登録した文字が存在する。	○チェックワー ド登録参照
セーフティからはみ出し	セーフティエリア外に字幕が出ている。文字自体はエリア内にある 場合でも、マスクをつけてはみ出るようであればチェック対象。	
自由位置設定使用字幕	自由位置が設定されている。	

(続き)

チェックする項目	チェック内容	備考
ルビ有	ルビのある字幕。	
1文字組み文字	1文字だけ組文字が設定されている字幕。	
同一の字幕番号	同トラック内に同一の字幕番号が存在している。	
表示時間の警告	ユーザー設定の「字幕表示時間」設定の「警告」の数値以下の字幕。	
指定時間以上の字幕	入力した時間以上の字幕が存在している。	
字幕間隔の警告	ユーザー設定の「字幕の間隔」設定の「警告」の数値以下の字幕間隔。	
ルビが連続している箇所	文字に連続してルビがついている。	
カッコが閉じられていない字幕	「」や[]などのカッコが閉じられていない。 <対象カッコの組み合わせ> “” (全角・半角) [] (全角・半角) 「」 (全角・半角) 《》 (全角・半角) 『』 (全角) () (全角・半角) <> (全角・半角)	全角半角は区別
斜体入り字幕 (★)	斜体が設定されている。	
斜体と正体の混在字幕 (★)	一部だけに斜体が設定されている。すべて斜体の場合はチェック対象外。	
コメント有	コメントがついている。	
ブックマーク有	ブックマークのある箇所のタイムコードを表示。	最終チェック画面の一番下に表示
縦横字幕重複(BD出力)	Blu-Ray Sonic のエクスポートにて AB トラックで字幕が重なっていてエラーとなる字幕。横字幕と横字幕が重なっていた場合もチェック対象。	
無効な改行コード	通常とは異なる改行コードが存在。「文頭文末に改行あり」で検出される通常の改行は検出されません。 修正方法は、全文削除し同一の字幕を入力する。コピー＆ペーストは不可。	
フォーマット設定と異なるフォントサイズ使用字幕		

○エフェクトについて

チェック項目の一部には、チェック後にエフェクトがかかります。字幕入力可能状態になると、エフェクトが一時的に消えるのでご注意ください。

0002	04:09	1 An intense spy battle has been waged over a mysterious disk,	
		ある企業が 開発した 謎のディスク	10 8
0003	01:05	2 An intense spy battle has been waged over a mysterious disk,	
		“コードS”	6
0004	02:18	3 developed by an unmanned company.	
		このディスクを めぐり	8 5

- ①チェックワードには赤字のエフェクトがかかります。
- ②行頭行末のスペースには、任意で指定した記号や文字が赤色（上記では _）で表示されます。
- ③文頭文末の改行は、任意で指定した記号や文字（上記では ↵）が表示されます。
- ④斜体入りの字幕は斜体部分が青字で表示されます。
- ⑤エフェクトはエフェクト解除ボタンもしくは[チェック]→[チェックエフェクト解除]で解除できます。
- ⑥「行頭行末のスペース」と「文頭文末に改行あり」のエフェクト文字はユーザー設定→「画面表示」→「最終チェック時のスペース文字と改行マークを置き換える文字」の項目にて直接置き換える文字を入力して設定します（フォントを変えると当該文字がない場合があるのでご注意ください）。

《チェック項目フィルターのリスト登録》

チェック項目フィルター

チェックする項目

☐ 1秒あたりの文字数制限(過剰) 0.0 文字以上オーバー ☐ 表示時間の警告

☐ 1秒あたりの文字数制限(不足) 0.0 文字以上不足 ☐ 字幕間隔の警告

☒ 行頭行末にスペースあり ☐ ルビが連続している箇所

☒ スポットテイングのみの字幕 ☒ カッコが閉じられていない字幕

☐ 横字幕の設定文字数オーバー ☐ 斜体入り字幕

☐ 縦字幕の設定文字数オーバー ☐ 斜体と正体の混在字幕

☒ 文頭文末に改行あり ☐ コメント有

☒ チェックワード ☐ ブックマーク有

☐ セーフティからのみ出し ☐ 縦横字幕重複(BD出力)

☐ 自由位置設定使用字幕 ☐ ルビ有

☒ 同一の字幕番号

納品前チェック

1. チェックしたい項目を選択します。
チェックワードがある場合、「登録」ボタンから、当該リストと一緒に登録するチェックワードのリスト名も同様に選択してください。

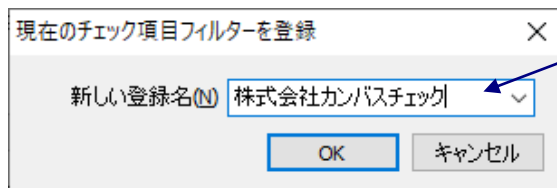
2. [現在の設定をリストに追加]をクリックします。

⚠ リスト内の「直前のチェックの設定」について

リスト内に存在する「直前のチェックの設定」には、画面を閉じるたびに直前のチェックの設定が自動的に上書き保存されます。

チェックを変えても、リストに追加しなかったり、上書き保存しないで画面を閉じた場合、次にチェック項目フィルター画面を開くと、当該設定は「直前のチェックの設定」に保存され、リスト名は「直前のチェックの設定」で表示されます。

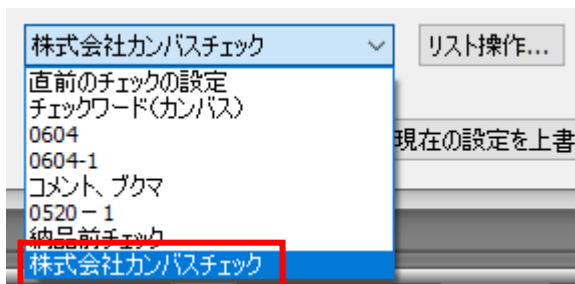
3. リストに追加する登録名を入力し、[OK]をクリックします。



プルダウンから既存のリスト名を選択した場合、既存のリストが上書きされます。

⚠ リスト名に [] （半角の角カッコ）は使用しないでください。

4. リスト名がチェック項目フィルター画面左下のプルダウンに追加されます。



⚠ 最終チェック項目のリストを操作（新規追加・変更・削除など）する場合、複数ウィンドウで最終チェック項目を開いていると正しく反映されない場合があるため、一つのウィンドウでのみ開いて操作するようにしてください。

《リストの上書き》

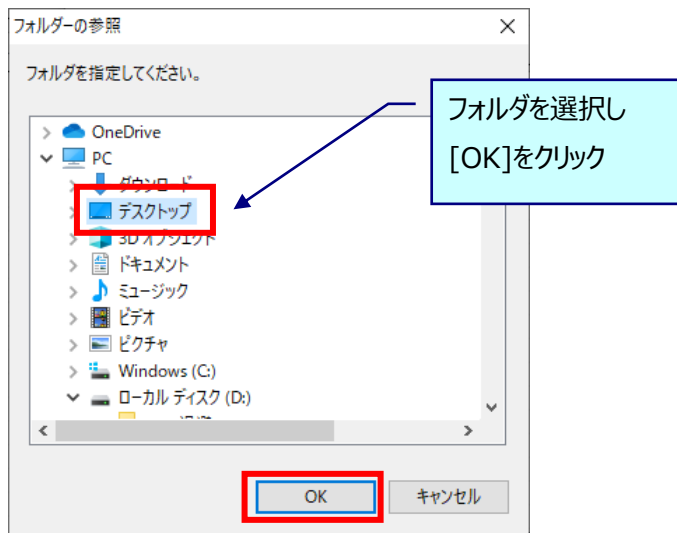
1. 上書きしたいリストをチェック項目フィルター画面左下のプルダウンから選択してください。
2. チェック項目の選択状態を変更します。チェックワードがある場合、チェックワードのリストも必要に応じて変更してください。
3. チェック項目フィルター画面下中央にある[現在の設定を上書き保存]をクリックしてください。

《リストの削除・並び替え》

1. チェック項目フィルター画面の[リスト操作]をクリックします。
2. 削除したい場合は、リスト名を選択し、[リストから削除]をクリックしてください。
3. 並び替えたい場合は、リスト名を選択し、リストの並び替えボタンをクリックしてください。

《リストのエクスポート》

1. チェック項目フィルター画面の[リスト操作]をクリックします。
2. エクスポートしたいリスト名をクリックし、[エクスポート]をクリックします。
3. 出力先のフォルダを選択し、[OK]をクリックします。



4. 指定したフォルダ内に 2 で選択したリスト名のフォルダが作成され、その中にリストの内容 (.txt) が出力されます。

- ⚠ 「チェックワード」が選択されていた場合、チェックワードリスト (.ck) も同フォルダ内に出力されます。
- ⚠ 別の PC にリストを受け渡す場合は、作成されたフォルダごと受け渡すようにしてください。

《リストのインポート》

1. チェック項目フィルター画面の[リスト操作]をクリックします。
2. [インポート]をクリックします。
3. インポートするファイル (.txt) の入ったフォルダ (=受け渡されたフォルダ) を指定します。
 - ⚠ フォルダ名と同名の最終チェック項目リスト (.txt) がフォルダ内に存在しない場合、エラーとなります。
 - ⚠ 指定したフォルダ内に最終チェック項目リスト (.txt) が複数存在した場合でも、フォルダ名と同名のリストのみインポートされ、別名のリストはインポート対象外となります。
4. インポートする最終チェック項目リストで「チェックワード」が選択されていて、該当のチェックワードリスト (.ck) が同フォルダ内に存在する場合、チェックワードリストも同時にインポートされます。
 - ⚠ 該当のチェックワードリスト (.ck) が同フォルダ内に存在しない場合、「チェックワードリストが存在しません。最終チェックリストのみインポートしますか？」とメッセージが表示されます。

○チェックワード登録画面

《チェックワードの登録》※すでにリストが存在している場合の画面です

1. 登録したいワードを入力します。
複数ある場合は改行で入力します。新規で登録する場合は、チェックワードに表示されているワードはすべて削除してから入力してください。

2. [現在のチェックワードを新規にリストに追加]をクリックします。

3. リストに追加する登録名を入力し、[OK]をクリックします。

プルダウンから既存のリスト名を選択すると、既存のリストが上書きされます。

4. チェックワード登録画面のリストに追加されます。

《チェックワードの上書き》

1. 上書きしたいリストを「リストから読み込み」から選択
2. チェックワードにワードを改行で入力
3. [現在のリストを上書き保存する]をクリック

《チェックワードの削除》

1. 削除したいリストを「リストから読み込み」から選択
2. [現在選択中のリストを削除する]をクリック

《チェックワードのインポート・エクスポート》

[チェックワードエクスポート]をクリックすると、ch ファイルとしてリストを出力することができます。また、[チェックワードインポート]をクリックすると、ch ファイルを取り込むことができますので、チェックワードのリストを共有するのに便利です。

《Netflix用データチェック》

Netflix 様 (<https://www.netflix.com/jp/>) に cap ファイルを納品する際に、Netflix 様の納品仕様に適合しているか否かをチェックします。

1. [チェック] メニューの [Netflix 用データチェック] をクリックします。sdb ファイルを保存してからでないとクリックできませんのでご注意ください。

エラー：
Netflix向けcap ファイルを出力する要件に反しています。修正し、sdb ファイルを保存しない限りエクスポートはできません。

警告、注意：
警告、注意を表示しています。警告と注意のみであれば、エクスポート可能です。

「済」項目にチェックを入れることで修正の有無を管理することができます。

Netflix 納品データチェック結果の左上の[チェック項目]ボタンをクリックすると、チェック項目フィルター画面が表示されます。

チェック項目フィルター

チェックする項目

☒ 横字幕の揃え位置	☒ 自由位置設定使用字幕
☒ 縦字幕の揃え位置	☒ 1文字組み文字
☒ 文字数制限(横字幕)	☒ 無効な改行コード
☒ 文字数制限(縦字幕)	☒ 斜体と正体の混在字幕
☒ 字幕表示時間制限(最低12フレーム)	
☒ 字幕行数制限	
☒ 横字幕の配置(横上)	
☒ 1秒の文字数制限(1秒4文字)	
☒ 縦字幕の組み文字指定数字	
☒ 縦字幕の全角指定数字	
☒ 横字幕の組文字属性	
☒ 字幕番号の有無	
☒ 字幕番号の表記	

全て選択 全てクリア

OK キャンセル

表示する項目にチェックを入れて下さい。
チェック結果がフィルタリングされます。

・フィルターのチェックは、sdb ファイルを新規で開くとリセットされ、全ての項目にチェックがついた状態になります。

<Netflix チェック項目仕様>

以下の項目に反している場合、エラー、警告、注意 としてチェック結果画面に表示されます。

画面表示内容	動作	Netflix 仕様	チェック項目
横字幕の揃え位置	エラー	横字幕は中頭揃えか中央揃えにする。	横字幕の行配置が「中頭」か「中央」以外になっていないかを確認する。
縦字幕の揃え位置	エラー	縦字幕は右か左の行頭揃えにする。	縦字幕の行配置が「行頭」以外になっていないかを確認する。
文字数制限(横字幕)	警告	横字幕 全角で1行 14 文字以内	スペースをカウントせず、半角文字は 0.5 とカウントして、15 文字以上になっていないかを確認する。 (※1)
文字数制限(縦字幕)	警告	縦字幕 全角で1行 12 文字以内	スペースをカウントせず、組文字は全部で1文字分とカウントし、13 文字以上になっていないかを確認する。
字幕表示時間制限 (最低 0.5 秒)	警告	最低 0.5 秒必要。	プロジェクトのフレームレートに合わせて 30DF、30NDF … 15 フレーム未満 24Fr、24P … 12 フレーム未満 25Fr … 13 フレーム未満 になっていないか確認する。
字幕行数制限	3 行 を 超える字幕： エラー 3 行 の 字幕：警告	最大 2 行。焼き込み字幕またはテロップの訳のときは、内容によって、3 行になっても可。 オーディオコメンタリーは、話者名が一行目に来る 3 行字幕まで可。	1 つの字幕のハコの中において、何行表記されているかを確認する。
横字幕の配置(横上)	警告	横上は使用禁止	一つ一つの字幕の配置を確認。横字幕の表示位置が「横上」以外になっているかを確認する。
1 秒の文字数制限 (1 秒 4 文字)	注意	1 秒 4 文字まで。	1 秒 4 文字を超えている字幕を抽出 (※2)
縦字幕の組み文字指定 数字	エラー	縦字幕の半角 2 桁・3 桁の数字は組み文字でなければならない	・縦字幕の半角 2 桁・3 桁の数字は全て組み文字 ・小数点も 1 桁としてカウントする (※3) ・数字以外で考慮するのは小数点のみ ・全角と半角が混ざっている場合は、全角と半角の合計桁数でチェックする (※4)

画面表示内容	動作	Netflix 仕様	チェック項目
縦字幕の全角指定数字	エラー	縦字幕の数字は 1 桁 or 4 桁以上の場合、全角でなければならない	・縦字幕の 1 桁の数字は全角 ・縦字幕の 4 桁以上の数字は全角 ・小数点も 1 桁としてカウントする (※3) ・数字以外で考慮するのは小数点のみ ・全角と半角が混ざっている場合は、全角と半角の合計桁数でチェックする (※4)
横字幕の組文字属性	エラー	横字幕に組文字は設定禁止	横字幕に組文字が設定されていないかを確認する。
字幕番号の有無	エラー	字幕番号が空白もしくはスペース以外	字幕番号が空白もしくはスペースのみになっていないかを確認する。
字幕番号の表記	エラー	全角か半角の数字のみ or 全角か半角の純粋な数字 + 英字 1 文字のみ	・記号・スペースなど他はすべて NG ・全角と半角は混ざっていても OK ・アルファベット 1 文字のみは NG
	エラー	数字は 1 桁～4 桁	数字が 5 桁以上になっていないかを確認する。
	エラー	アルファベットは 1 文字のみ	アルファベットが 2 文字以上ないかを確認する。
	エラー	アルファベットは、数字の字幕番号の末尾のみ	アルファベットと数字が混在する場合、アルファベットが字幕番号の末尾以外に存在していないかを確認する。
自由位置設定使用字幕	エラー	自由位置不可	自由位置が設定されている。
1 文字組み文字	エラー		1 文字だけ組文字が設定されている。
無効な改行コード	エラー		通常とは異なる改行コードが存在。 修正方法は、前文削除し同一の字幕を入力する。コピー＆ペーストは不可。
斜体と正体の混在字幕	警告		一部だけに斜体が設定されている。すべて斜体の場合はチェック対象外。
「!」と「?」に続く空白文字のサイズ	警告		「!」「?」(全角半角共に)の後ろに半角スペースが存在している。全角スペースやそれ以外の任意の文字列の場合はチェック対象外。

※1：SSTG1 の文字カウント設定とは連動せず、全角を 1 文字、半角を 0.5 文字とカウントします。

※2：SSTG1 の文字カウント設定と連動し、文字カウントに設定した通りにカウントします。文字カウントに設定されていない文字は 1 文字とカウントします。

※3：数字と数字の間に挟まれているもののみを小数点とします。数字の前後につく場合は単なる記号とみなします。

例) 「0.1」→3 桁の数字、「1.」→1 桁の数字、「. 0 2」→2 桁の数字

※4：例) 「223」→3 桁の数字だが、半角数字ではないため組み文字チェックにはあてはまらない。

「4. 55」→4 桁の数字のため、全角チェックにあてはまりエラーとなる。

インポートメニュー

《データファイルのインポート》

NetSST G1 は下記のフォーマットをインポートすることができます。

- ・ SST プロジェクト
- ・ 台本(.txt)
- ・ 見直し用リスト (Excel) ファイル

《SSTプロジェクトファイル》

1つの映像を複数に分割して作成し、最後にすべてのファイルを合体させる時に使用します。

下記の手順に従って、SST プロジェクトファイルをインポートすることができます。

1. [インポート] メニューの [SSTプロジェクト]をクリックします。
2. 『SSTプロジェクトファイルのインポート』ダイアログボックスで、[インポートファイル(.sdb)]を選択します。
3. [OK]をクリックします。



映像ファイルを開いている場合、タイムコードの設定は事前に済ませてください。

《台本》

台本（スクリプト）がある場合は、下記の手順に従って台本ウィンドウにインポートすることができます。インポートできるフォーマットはテキストファイル (.txt) です。

1. [インポート] メニューをクリックし、メニューより[台本] を選択します。
2.  パスをクリックし、台本ファイルを選択し、[開く]をクリックします。
3. [詳細設定]の[エンコード種類]をプルダウンリストより選択します。

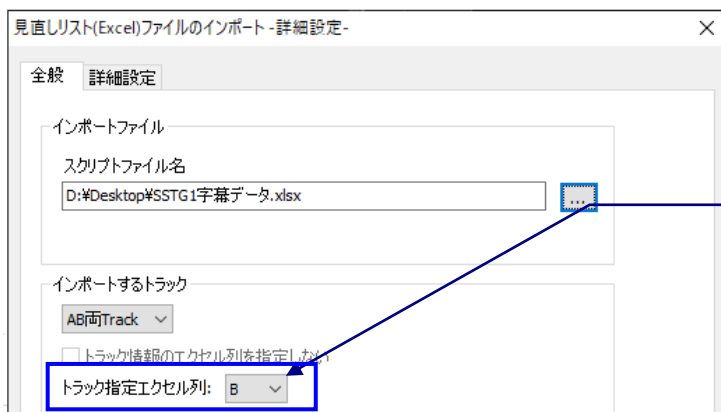
日本語・英語以外の台本をインポートする時は、[UTF8]か[UTF16]を選択します。

4. [OK]をクリックするとインポートが終了し、台本ウィンドウに反映されます。

《見直し用リスト（Excel）ファイル》

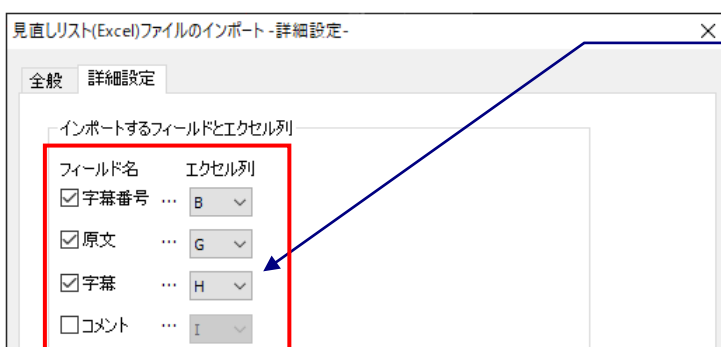
1. [インポート] メニューをクリックし、[見直し用リスト（Excel）] を選択します。
2.  パスをクリックし、インポートファイル（.xls）を選択し、[開く]をクリックします。

エクセルの見直し用リストは、エクスポート時の出力項目の設定により各情報の出力される列が変化しますので、インポートする際に、どの列をどの情報として取り扱うのか指定します。



3. トラック指定エクセル列
を選択します。

【画面①】



4. インポートするフィール
ドとエクセル列を選択しま
す。

【画面②】

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	No.	字幕番号	トラック	表示開始時間	表示終了時間	表示時間	原文	字幕	文字数	斜体
2	1	1	A	00:17:19:11	00:17:23:21	00:00:04:10	An intense spy battle has been	ある企業が開発した	9	
3	2	2	A	00:17:23:24	00:17:24:29	00:00:01:05	An intense spy battle has been	謎のディスクー	8	
4	3	3	A	00:17:25:01	00:17:27:20	00:00:02:19	developed by an unmanned co	コードS”	6	
5	4	4	A	00:17:27:26	00:17:31:22	00:00:03:26	The full truth about the comp	このディスクをめぐる	10	
6	5	5	A	00:17:31:26	00:17:37:02	00:00:05:06	however, several countries	複数の国による	7	
7	6	6	A	00:17:37:15	00:17:40:04	00:00:02:19	The battle lasted for severa	スパイ戦が行われていた	11	
								全容は明らかではなかったが	13	
								各国が火花を散らしー	11	
								攻防は数カ月にとんだ	10	

画面①、画面②の設定に従って、上記赤枠の列のみインポートされます。

読み込む列の指定を変更することで、原文と字幕を入替えたり、他の列に入力した別言語の翻訳テキストをインポートする事も可能です。

※上記のエクセル画面は、見直し用リストで全項目出力した際の配列です。

※画面②でチェックをつけた列のみインポートされます。従って、チェックをつけていない列にエクセル上で変更を加えてインポートしても、変更内容は SST 上に反映されません。

5. [詳細設定]-[ルビ情報]でインポート時のルビの扱いについて、ルビ情報を指定します。

※見直し用リスト（エクセル）をエクスポートする際は、エクセルの仕様に従い、ルビは「ひらがな」もしくは「カタカナ」の何れかに統一して出力されますのでご注意ください。
 ※エクセル上で「ひらがな」と「カタカナ」が混在したルビを付けてインポートした場合は、エクセル同様「ひらがな」と「カタカナ」が混在したルビがインポートされます。

ルビ情報チェックボタンの説明：

No.	名前	説明
①	Excelのふりがなをルビとして採用	インポートする見直し用リスト（Excel）のふりがなをルビとして採用します。
②	プロジェクトのルビを採用 （字幕が同じ場合）	見直し用リスト（Excel）とプロジェクトの字幕が同じ場合（書き直し含む）、プロジェクトのルビを維持します。

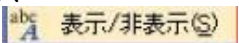
利用ケースにおける使い方：

利用ケース	チェック	注意点
インポートする字幕にルビを付けたくない。 既存のルビも削除したい。	選択しない	インポートした字幕が同じであっても、元のルビは削除されます。
インポートする字幕にはルビを付けたくない。 ただし、字幕が同じ場合、既存のルビは残したい。	②のみ	プロジェクトにルビが付いていない場合、見直し用リスト（Excel）にふりがなを付けていてもルビは付きません。
Excelのふりがなをルビとしてインポートしたい。 既存のルビも置き換えたい。	①のみ	インポートした字幕が同じであっても、すべてExcelのふりがながルビとして適用されます。
Excelのふりがなをルビとしてインポートしたい。 ただし、字幕が同じだった場合、既存のルビは残したい（上書きしたくない）	両方 (① ②)	

○Excel のふりがな確認方法

◇Office2003 の場合

ルビを表示させたいセル範囲を指定し、

[書式] タブ → [ふりがな] →  [表示/非表示]

◇Office2007、Office2010 の場合

ルビを表示させたいセル範囲を指定し、

[ホーム] タブ → [フォント] グループ →  [ふりがなの表示]

または

範囲選択した所で右クリック、[ふりがなの表示]

エクスポートメニュー

《データファイルのエクスポート》

Net SST G1 は、下記のフォーマットをエクスポートすることが可能です。

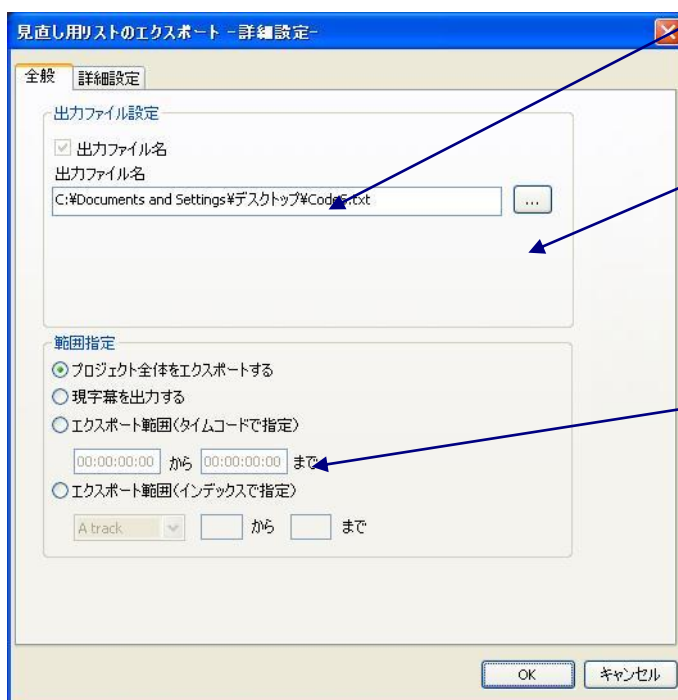
- ・ 見直し用リスト (TXT)
- ・ 見直し用リスト (Excel)
- ・ Avid Sub Cap
- ・ Adobe Encore
- ・ Apple DVD Studio Pro
- ・ SubRip Text
- ・ Nab

 他社のシステムにデータを出力する場合、システムの仕様によって、出力できる情報に制限がある場合があります。その場合はエラーメッセージが表示されます。

《見直し用リスト (TXT) 》

1. [エクスポート]メニューより [見直し用リスト(TXT)] を選択します。

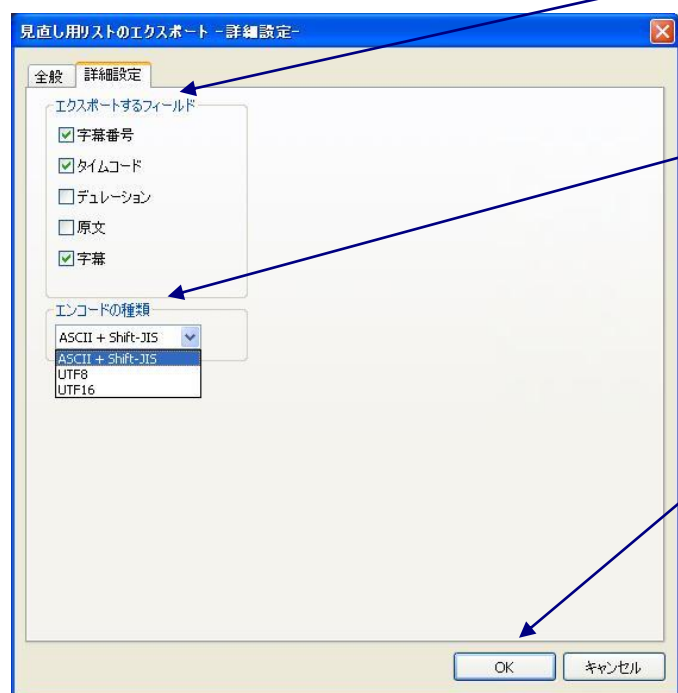
・詳細を設定します。



2. 自動的に表示されます。

ファイル名と保存先を変更する場合は、このボタンをクリックして入力します。

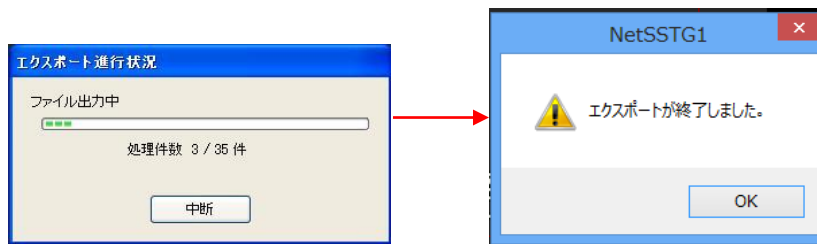
3. 出力範囲を指定します。



4. エクスポートするフィールドにチェックを入れます。

5. [エンコード種類]をプルダウンリストより選択します。日本語・英語以外の言語をエクスポートする場合は、[UTF8]または[UTF16]を選択してください。

6. [OK]をクリックします。



図のようなメッセージが表示された後、エクスポートが終了します。

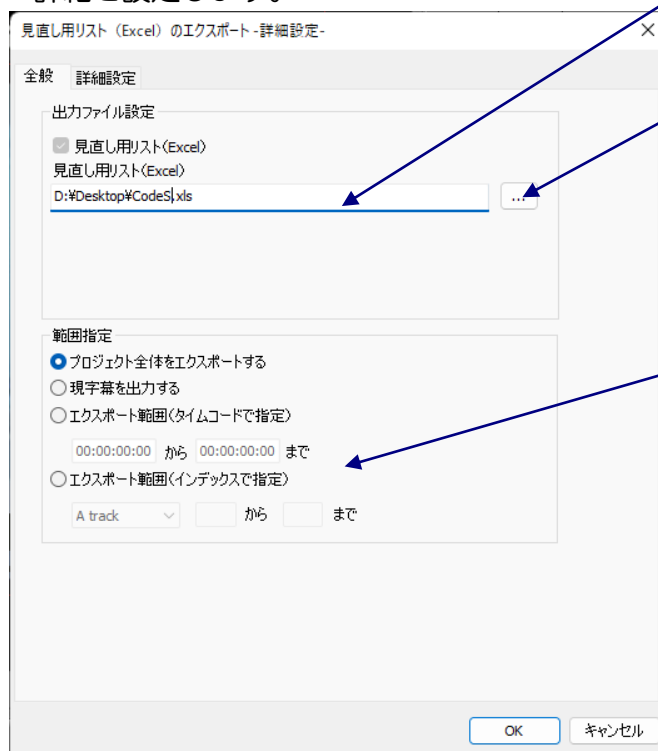
○エクスポートしたテキストデータの例



《見直し用リスト (Excel) 》

1. [エクスポート] メニューより [見直し用リスト(Excel)] を選択します。

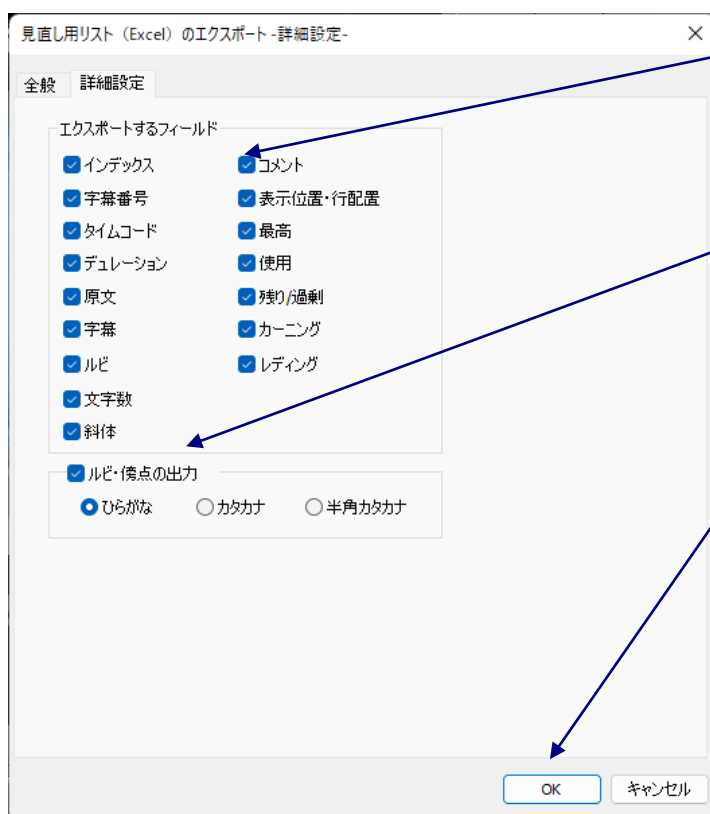
・詳細を設定します。



2. 自動的に表示されます。

ファイル名と保存先を変更する場合は、このボタンをクリックして入力します。

3. 出力範囲を指定します。

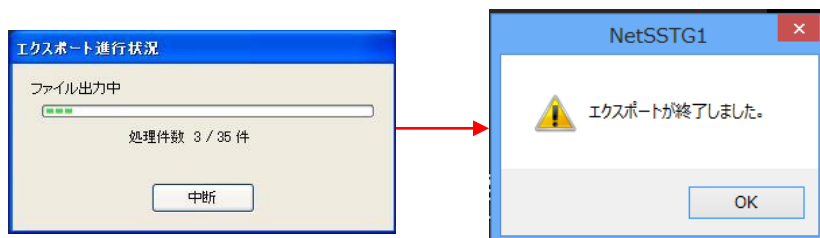


4. エクスポートするフィールドにチェックを入れます。

5. 傍点とルビの表示形式を選択します。

6. [OK]をクリックします。

⚠ Excel の仕様上、ルビにひらがなとカタカナが混在している場合は同時表示ができません。



7. 図のようなメッセージが表示された後、エクスポートが終了します。

○エクスポートしたテキストデータの例

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
16	13	13 A	00:19:11:29	00:19:14:18	00:00:02:14	You seem to be busy even on your holidays.	休日の忙しさに	9						9.9	9.0	0.9
17	14	14 A	00:19:15:01	00:19:18:21	00:00:03:20	Well, actually, I'm in a mall in the neighborhood.	実は近所のデパートに	11			縦左	中横	縦書き	14.7	17.0	2.3
18	8	8 B	00:19:18:29	00:19:21:28	00:00:02:24	Call from my boyfriend. About mission.	"彼氏から電話"	8						11.2	7.0	4.2
19	15	15 A	00:19:19:17	00:19:20:21	00:00:01:04	How does it go?	どうですか?	5			縦左	中横	縦書き	4.5	4.0	0.5
20	16	16 A	00:19:22:08	00:19:24:09	00:00:02:06	Well, actually, I'm leaving soon.	ほかの用事があって	9						3.3	9.0	0.2
21	17	17 A	00:19:24:12	00:19:27:04	00:00:02:22	and there are some details I have to stop by...	そろそろお帰りのため	9		*				10.9	9.0	1.9
22	18	18 A	00:19:28:09	00:19:31:00	00:00:02:21	can you wait for me at the cafe? I'll be there in an hour.	カフェで待っていて	9			縦右	中横	縦書き	10.2	9.0	1.2
23	4	4 B	00:19:29:25	00:19:33:07	00:00:03:12	Your boyfriend? You are on a mission!	"仕事なんだぞ"	7						13.6	6.0	7.6
24	19	19 A	00:19:33:09	00:19:36:21	00:00:03:12	All right. But may say hello to your aunt on the phone?	お母さんへ	5						13.6	13.0	0.6
25	20	20 A	00:19:37:16	00:19:40:18	00:00:02:27	I'm sorry but she's kind of sick today.	悪しいいかな	8						11.6	14.0	2.4

《申し送りリスト》

1. 申し送りリストに出力したい字幕を選択し、ツールバーの  をクリックします。
2. 選択した字幕に  マークがつきます。



3. [エクスポート]メニューより [申し送りリスト] を選択します。
4. [全般]タブで出力ファイル名を設定します。
5. [詳細]タブでエクスポートするフィールド・ルビ・傍点の出力を設定します。
6. [OK]をクリックすると  マークがついた字幕のみが申し送りリストとして Excel ファイルに出力されます。

《Avid Sub Cap》

Avid 社のノンリニア編集機（Sub Cap 対応機種）に読み込むためのフォーマット(.txt)をエクスポートします。

1. [エクスポート]メニューをクリックし、[Avid Sub Cap]をクリックします。
2. [Avid Sub Cap のエクスポート -詳細設定-][全般]タブの[出力ファイル設定]より、出力する場所とファイル名を指定します。
3. [OK]をクリックします。

 Sub Cap の仕様により、縦書き、ルビ、組み文字等の機能は使えません。
使用出来ない設定が含まれている場合は、データエクスポート時にキャンセルされます。

《Adobe Encore》

Adobe 社の DVD および Blu-ray のオーサリングシステム Encore に読み込むためのフォーマットをエクスポートします。

1. [エクスポート]メニューをクリックし、[Adobe Encore]をクリックします。
2. [Adobe Encoreファイルのエクスポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブの[出力ファイル設定]内で出力するファイルを指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. 「配色設定」タブの[配色設定]内を入力します。
5. [詳細設定]タブの[イメージファイル設定]で[全画面]か[クロップ]かを指定します。
6. [OK]をクリックします。

 Encore の仕様により、文字の画像にアンチエイリアスを使用する事はできません。

《Apple DVD Studio Pro》

Apple 社の DVD オーサリングシステム DVD Studio Pro に読み込むためのフォーマットをエクスポートします。

1. [エクスポート]メニューをクリックし、[DVD Studio Pro]をクリックします。
2. [DVD Studio Proファイルのエクスポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブの[出力ファイル設定]内で出力するファイルを指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. 「配色設定」タブの[配色設定]内を入力します。
5. 「配色設定」タブの[配色設定の保存/読み込み]内に名前を入力し、[保存]を押し、[配色設定]の数値を保存します。リストから[配色設定]を選択することにより、簡単に[配色設定]の値を変更することができます。
6. [詳細設定]タブより、[イメージファイル設定]を指定し、[OK]をクリックします。

《SubRip Text》

下記の手順に従って SubRip Text ファイルをエクスポートすることができます。

[エクスポート] メニューをクリックし、[SubRip Text]をクリックします。

1. エクスポート画面

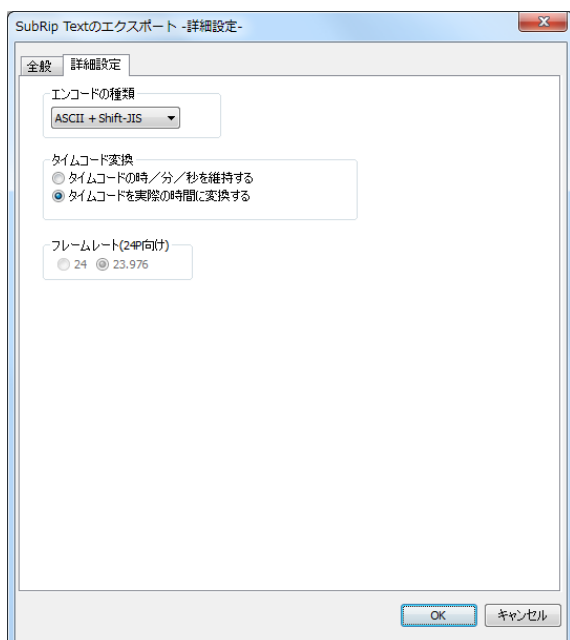
全般画面

見直しリスト(txt)のエクスポートと同様に、出力先のファイル名および出力対象の範囲を選択します。



詳細設定画面

出力する文字コードの種類/タイムコード/フレームレートを選択し、[OK]をクリックします。



2. データ仕様

次のような形式のデータが出力されます。

1	← ① 字幕番号
00:17:19,400 --> 00:17:23,700	← ② 字幕区間
ある企業が開発した	← ③ 字幕データ
謎のディスクー	← ④ 区切り改行
2	
00:17:23,800 --> 00:17:24,966	
“コードS”	

番号	概要	説明										
①	字幕番号	字幕番号です。連続した番号が付与されます。										
②	字幕区間	字幕が表示される時間です。 <i>開始時間-->終了時間</i> の形式で出力されます。 開始時間および終了時間は、字幕のフレーム番号がフレームタイプに応じた時間形式に変換され出力されます。 時間形式：hh:mm:ss:MMM の形式で出力されます。 <table><tr><th>記号</th><th>内容</th></tr><tr><td>hh</td><td>時</td></tr><tr><td>mm</td><td>分</td></tr><tr><td>ss</td><td>秒</td></tr><tr><td>mm</td><td>ミリ秒</td></tr></table> ・タイムコードの時／分／秒を維持する タイムコードの時／分／秒はそのまま、フレーム単位のみ 1/1000 表記で出力します。 ・タイムコードを実際の時間に変換する タイムコードを実時間に変換して出力します。 例／29.97 ノンドロップのタイムコード 01:00:00:00 ＝ エクスポートされた srt ファイルのタイミング情報 01:00:03:600 ※仕様上、タイムコード上の 00:00:00:00 を srt ファイル上の 00:00:00:000 というタイミングでエクスポートする仕様となっているので、01:00:00:00 のタイムコードは「01:00:03:600」となります。	記号	内容	hh	時	mm	分	ss	秒	mm	ミリ秒
記号	内容											
hh	時											
mm	分											
ss	秒											
mm	ミリ秒											
③	字幕データ	字幕データです。複数行存在する場合は複数行出力されます。										
④	区切り改行	次の字幕との区切りとして改行コードが出力されます。										

《WebVTT》

下記の手順に従って **WebVTT** ファイルをエクスポートすることができます。

1. [エクスポート] メニューの[WebVTT]をクリックします。
2. [WebVTTのエクスポート -詳細設定-]ダイアログボックスの[全般]タブの[出力ファイル設定]内で出力するファイルを指定します。
3. [全般]タブの[範囲指定] からエクスポートする範囲を指定します。
4. [詳細設定]タブより、[エンコードの種類]を指定します。
5. [詳細設定]タブより、[タイムコードの種類]を指定します。
タイムコードの種類の仕様については、前ページSubRip Textの②をご参照ください。
6. 24Pプロジェクトの場合、[詳細設定]タブより、[フレームレート]を指定します。
7. [OK]をクリックします。

《放送用字幕制作ソフト用ファイル（NAB）》

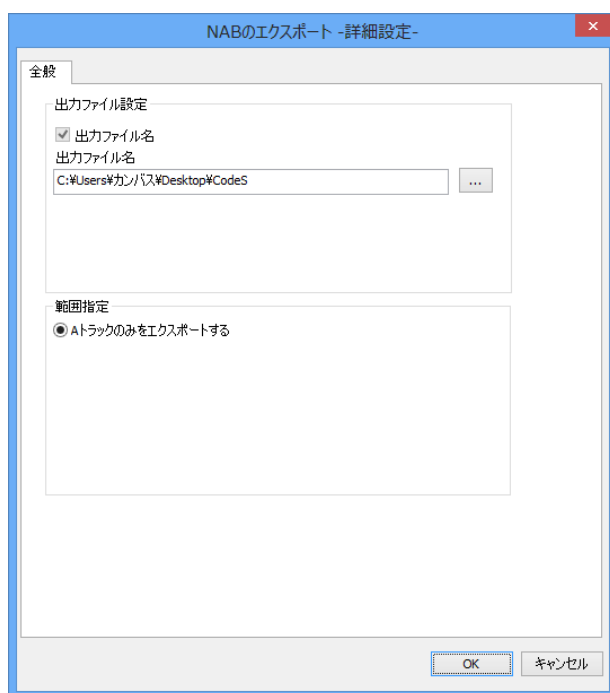
下記の手順に従って **NAB ファイル**をエクスポートすることができます。

[エクスポート] メニューをクリックし、[放送用字幕制作ソフト用ファイル（NAB）]をクリックします。

1. エクスポート画面

全般画面

出力先のファイル名を選択し、[OK]をクリックします。



2. 注意点

エクスポートされる放送用字幕制作ソフト用ファイル（NAB）はあくまでも簡易形式のデータです。正式な NAB データを作成する際は、本データを入力データとして、semdec 等の放送字幕専用のアプリケーションを用いて作成してください。

なお、エクスポートされるデータには以下の制限があります。

- ・エクスポートの対象は A トラックのみです。
- ・ルビは出力されません。
- ・字幕のレイアウトは左寄せ／下寄せとして出力されます。
- ・背景色はグレーの半輝色のみが出力されます。
- ・1 行あたり 15.5 文字までしか有効となりません。これを超えた分は削除されます。

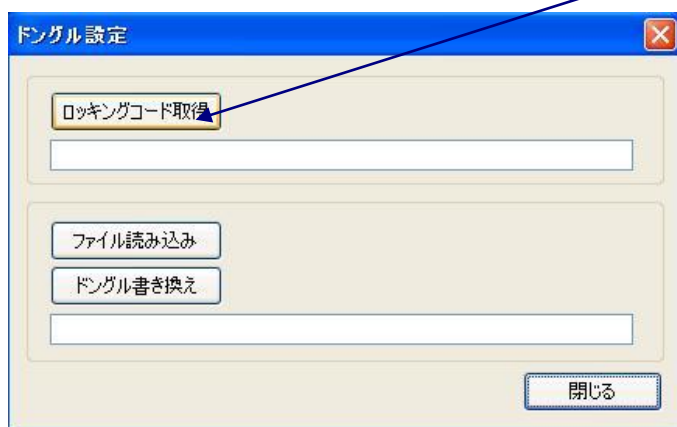
ヘルプメニュー

《dongle 設定》

オプション追加の時等に使用します。

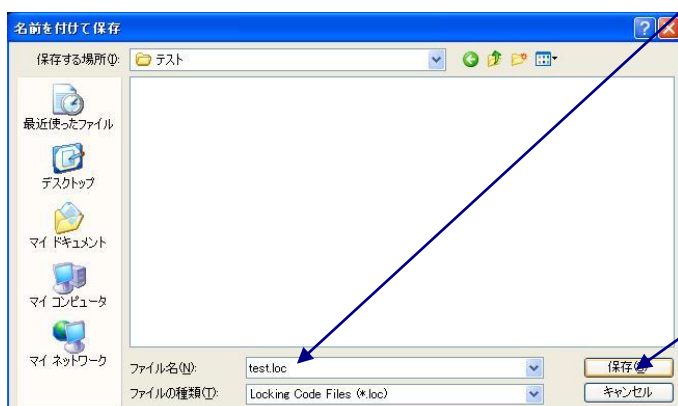
dongle をさした状態で作業してください。

1. NetSST G1 をダブルクリックして立ち上げます。
2. [ヘルプ] メニューの [dongle 設定] をクリックします。



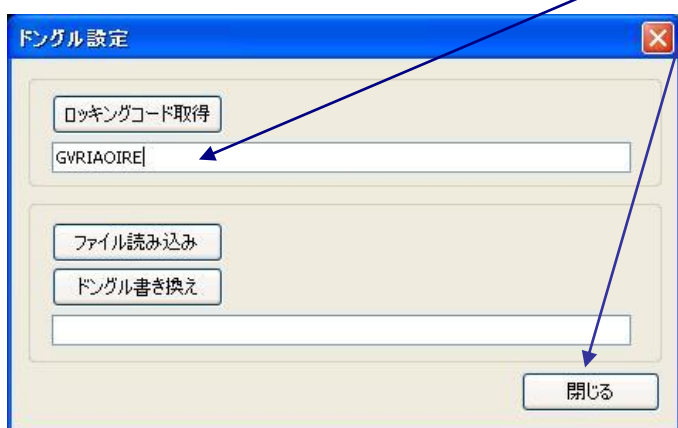
3. [Locking Code Acquisition] をクリックします。

4. [ロッキングコードファイルを作成しますか?]&メッセージが出るので、[はい]をクリックします。



5. Dongle 番号 (ライセンス証に記載された 4 桁の Dongle シリアル No.) をファイル名として入力し、保存先を指定してください。

6. [保存] をクリックします。



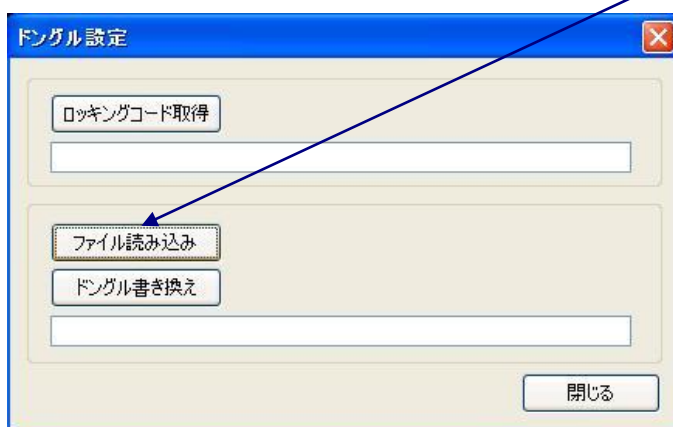
7. コードが入っていることを確認し、[閉じる] をクリックします。



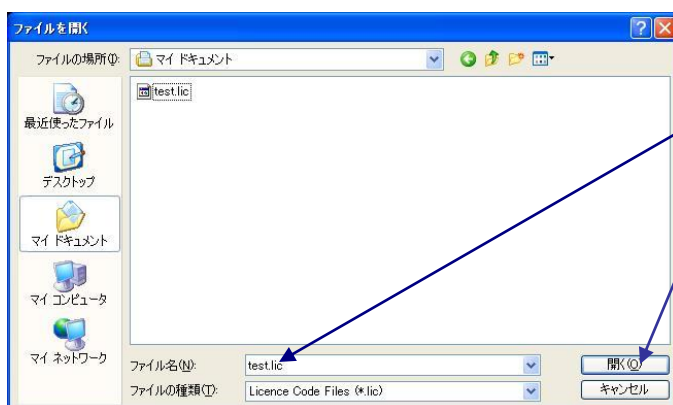
8. 保存先に loc ファイルができます。このファイルを添付して株式会社カンバス宛にメールしてください。

【メールアドレス】
sales@canvass.co.jp

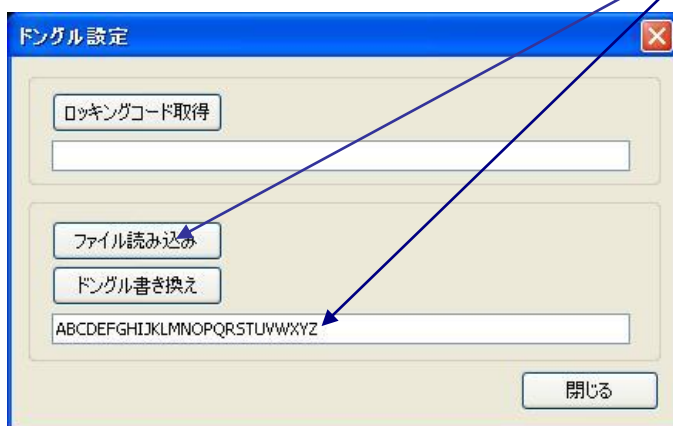
9. 株式会社カンバスから .lic ファイルを添付したメールが送付されます。このファイルをパソコン上に保存してください。



10. 2を参考に、[dongle 設定]のダイアログボックスを表示し、[ファイル読み込み]をクリックします。



11. lic ファイルを選択し、[開く]をクリックします。



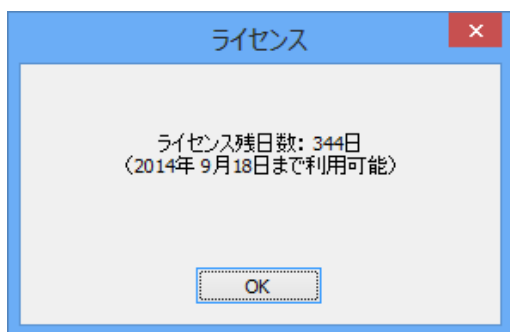
12. コードが入っていることを確認して、[dongle 書き換え]をクリックします。

13. dongle の書き換えが完了しました。

《ライセンス》

NetSST G1 を利用可能な期間を確認することができます。

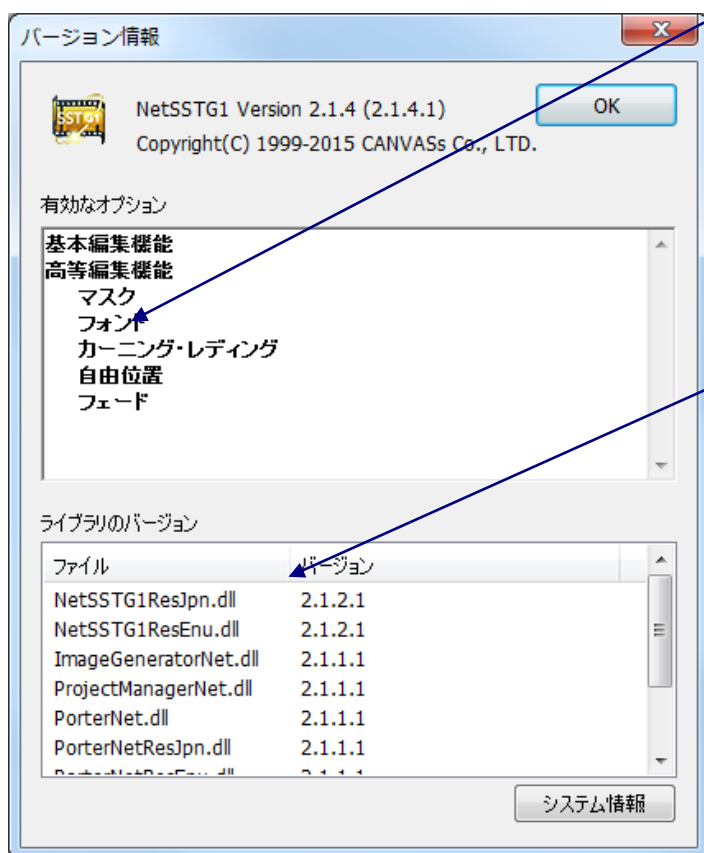
1. [ヘルプ] メニューの [ライセンス] をクリックします。



《バージョン情報》

NetSST G1 のバージョン情報を確認することができます。

1. [ヘルプ] メニューの [バージョン情報] をクリックします。



[有効なオプション]のリストで、NetSST G1 で使用できるオプションの情報が表示されます。使用できる機能は、太字で表示されます。

[ライブラリのバージョン]で、ライブラリファイルとそのバージョンの一覧を表示します。

Memo:

●お問い合わせ



 **株式会社 カンバス**
CANVASS E-mail ・ sales@canvass.co.jp

CANVASS
E-mail : sales@canvass.co.jp

<https://canvass.co.jp/>

NetSSTG1 Ver.3.1.21